

来館回数について〈全体〉は、平成26年度の「初めて」は28.7%と平成25年度より3.0ポイント高くなっている。「20回目以上」は14.1%と前年度より5.4ポイント低くなっている。展覧会別にみると、「初めて」が最も高いのは『美少女の美術史』の30.3%、次いで『アニマルワールド』29.8%、『静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学』24.0%の順となっている。

評価指標 4

新規来館者の割合

美術館カルテ 2

リピート率

		新規来館者の割合	リピート率
平成26年度	アニマルワールド	29.8	70.2
	美少女の美術史	30.3	69.7
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	24.0	76.0
経年	平成26年度全体	28.7	71.3
	平成25年度全体	25.7	74.3
平成25年度	富士山の絵画	25.0	75.0
	二見彰一展	24.0	76.0
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	28.0	72.0

単位：%

② 来館人数

全体

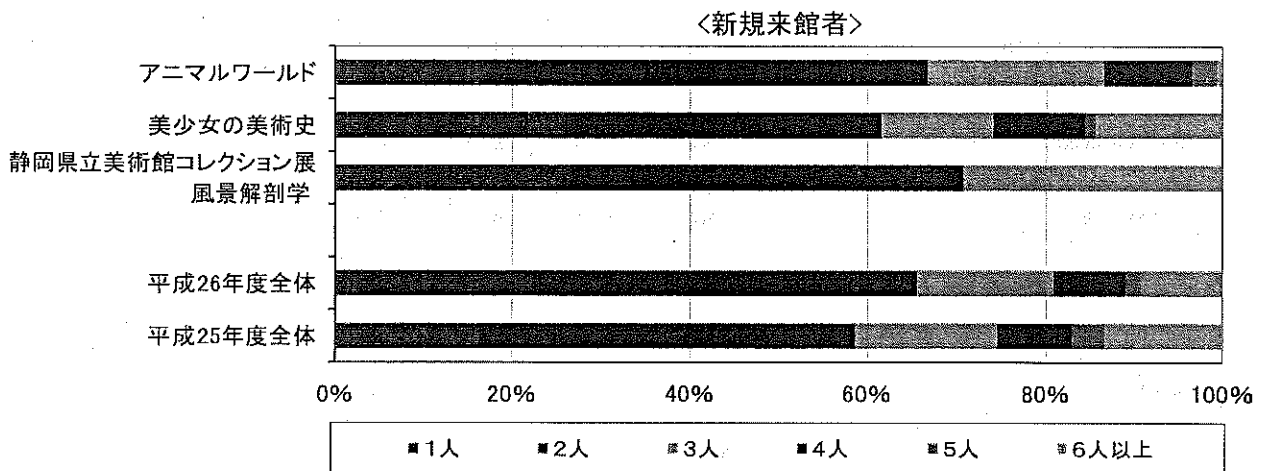
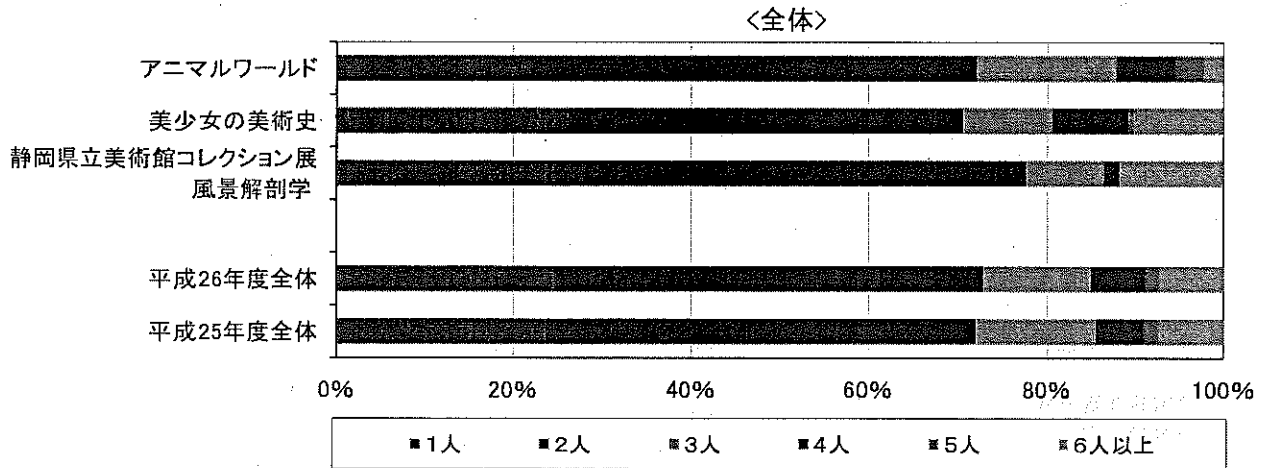
		件数 (件)	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人 以上
平成 26 年度	アニマルワールド	601	22.0	50.2	15.6	6.8	3.2	2.2
	美少女の美術史	508	26.2	44.5	9.8	8.7	0.6	10.2
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	331	28.1	49.5	8.8	1.8	0.0	11.8
経 年	平成 26 年度全体		24.9	48.1	12.0	6.3	1.5	7.2
	平成 25 年度全体		23.7	48.4	13.4	5.5	1.6	7.4
平成 25 年度	富士山の絵画	314	17.8	56.4	16.2	4.1	0.3	5.1
	二見彰一展	258	26.4	49.2	12.8	4.3	1.6	5.8
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	294	27.6	39.1	10.9	8.2	3.1	11.2

単位：%

新規来館者

		件数 (件)	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人 以上
平成 26 年度	アニマルワールド	178	17.4	49.4	19.7	10.1	2.8	0.6
	美少女の美術史	154	26.0	35.7	12.3	10.4	1.3	14.3
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	79	26.6	44.3	10.1	0.0	0.0	19.0
経 年	平成 26 年度全体		22.4	43.3	15.1	8.3	1.7	9.2
	平成 25 年度全体		16.4	42.3	11.8	8.6	3.6	17.3
平成 25 年度	富士山の絵画	78	17.9	52.6	16.7	1.3	0.0	11.5
	二見彰一展	60	13.3	48.3	10.0	10.0	3.3	15.0
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	82	17.1	28.0	8.5	14.6	7.3	24.4

単位：%



来館人数について〈全体〉は、平成26年度は「2人」が48.1%と最も高くなっている。次いで「1人」24.9%、「3人」12.0%の順となっている。『静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学』では「1人」28.1%と高くなっている。「6人以上」では、『静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学』11.8%、『美少女の美術史』10.2%と高くなっている。

〈新規来館者〉でも、平成26年度は「2人」が43.3%と最も高くなっている。次いで「1人」22.4%、「3人」15.1%の順になっている。『美少女の美術史』、『静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学』では「1人」での来館が高くなっている。

③ 来館時の同伴者

全体

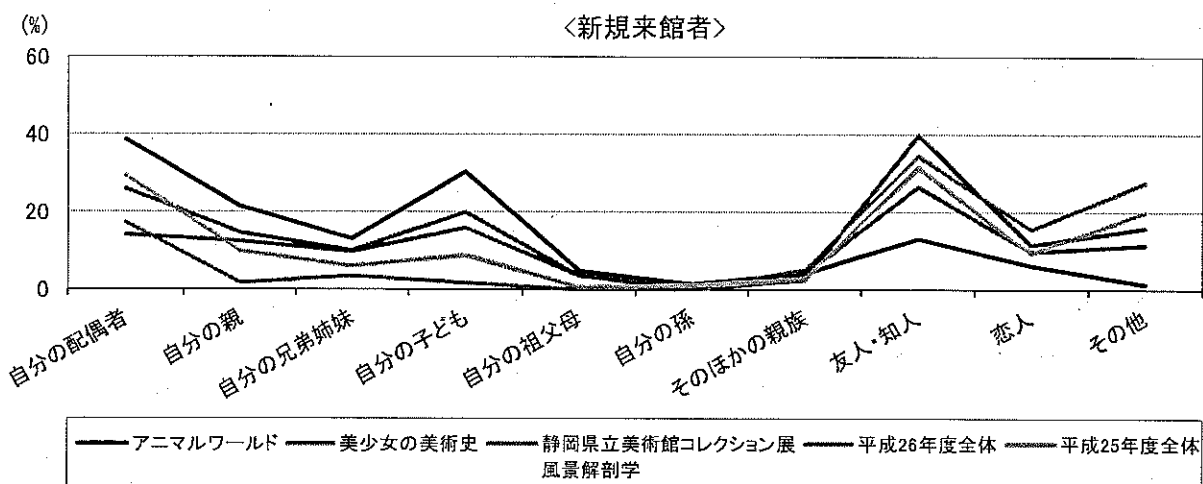
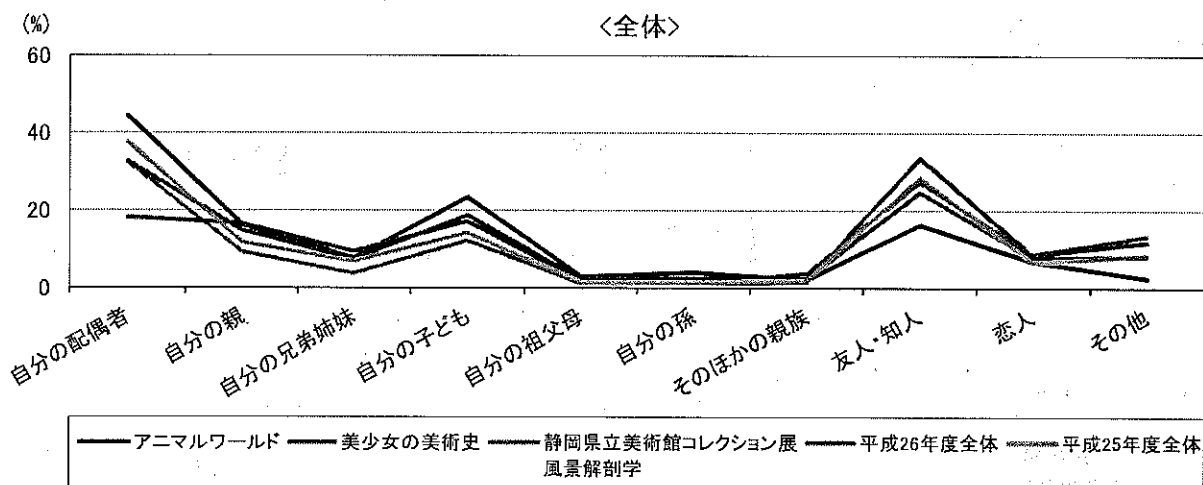
		件数 (件)	自分の 配偶者	自分の 親	姉妹 自分の 兄弟	自分の 子ども	自分の 祖父母	自分の 孫	親族 そのほかの	友人・ 知人	恋人	その他
平成 26 年度	アニマルワールド	466	44.4	16.3	7.7	23.4	3.0	4.1	2.1	16.3	6.9	2.6
	美少女の美術史	373	18.2	16.6	9.4	17.2	1.9	1.3	1.6	33.5	8.6	11.8
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	238	32.4	9.2	3.8	12.2	1.3	1.3	3.8	27.3	8.8	13.4
経 年	平成 26 年度全体		32.7	14.9	7.4	18.8	2.2	2.5	2.3	24.7	7.9	8.2
	平成 25 年度全体		37.5	11.7	6.9	14.2	1.5	1.4	2.0	28.5	6.6	8.5
平成 25 年度	富士山の絵画	256	52.0	9.0	3.5	14.5	0.8	1.6	1.6	23.8	4.7	4.7
	二見彰一展	187	31.6	15.0	10.7	13.9	1.6	1.1	4.3	31.6	8.0	5.3
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	213	25.4	12.2	7.5	14.1	2.3	1.4	0.5	31.5	7.5	16.0

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	自分の 配偶者	自分の 親	姉妹 自分の 兄弟	自分の 子ども	自分の 祖父母	自分の 孫	親族 そのほかの	友人・ 知人	恋人	その他
平成 26 年度	アニマルワールド	145	38.6	21.4	13.1	30.3	4.8	1.4	4.1	13.1	6.2	1.4
	美少女の美術史	113	14.2	12.4	9.7	15.9	3.5	0.0	2.7	39.8	11.5	15.9
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	58	17.2	1.7	3.4	1.7	0.0	0.0	5.2	34.5	15.5	27.6
経 年	平成 26 年度全体		25.9	14.6	10.1	19.9	3.5	0.6	3.8	26.6	9.8	11.4
	平成 25 年度全体		29.3	9.9	6.1	8.8	0.6	1.1	2.8	31.5	9.4	19.9
平成 25 年度	富士山の絵画	63	50.8	4.8	0.0	4.8	0.0	1.6	1.6	25.4	9.5	14.3
	二見彰一展	50	22.0	14.0	10.0	8.0	2.0	2.0	8.0	38.0	10.0	10.0
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	68	14.7	11.8	8.8	13.2	0.0	0.0	0.0	32.4	8.8	32.4

単位：％



来館時の同伴者について〈全体〉は、平成26年度は「自分の配偶者」32.7%、次いで「友人・知人」24.7%、「自分の子ども」18.8%の順となっている。『アニマルワールド』では、「自分の配偶者」44.4%が他の展覧会と比較して高くなっている。

〈新規来館者〉は、「友人・知人」26.6%が最も高く、次いで「自分の配偶者」25.9%、「自分の子ども」19.9%の順となっている。『アニマルワールド』では「自分の子ども」が高くなっている。

美術館カルテ 54

2・3世代で一緒に観覧に来ている割合

平成26年度	アニマルワールド	42.5
	美少女の美術史	35.1
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	21.0
経年	平成26年度全体	35.2
	平成25年度全体	28.8
平成25年度	富士山の絵画	25.9
	二見彰一展	31.6
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	30.0

単位：%

④ 来館のきっかけ

全体

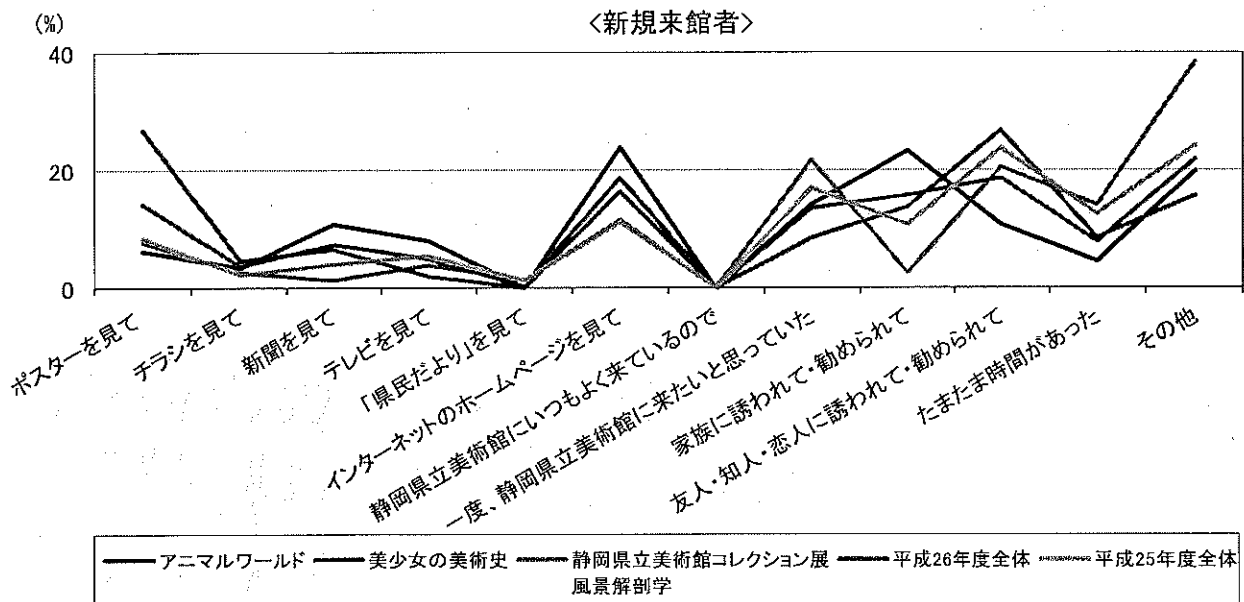
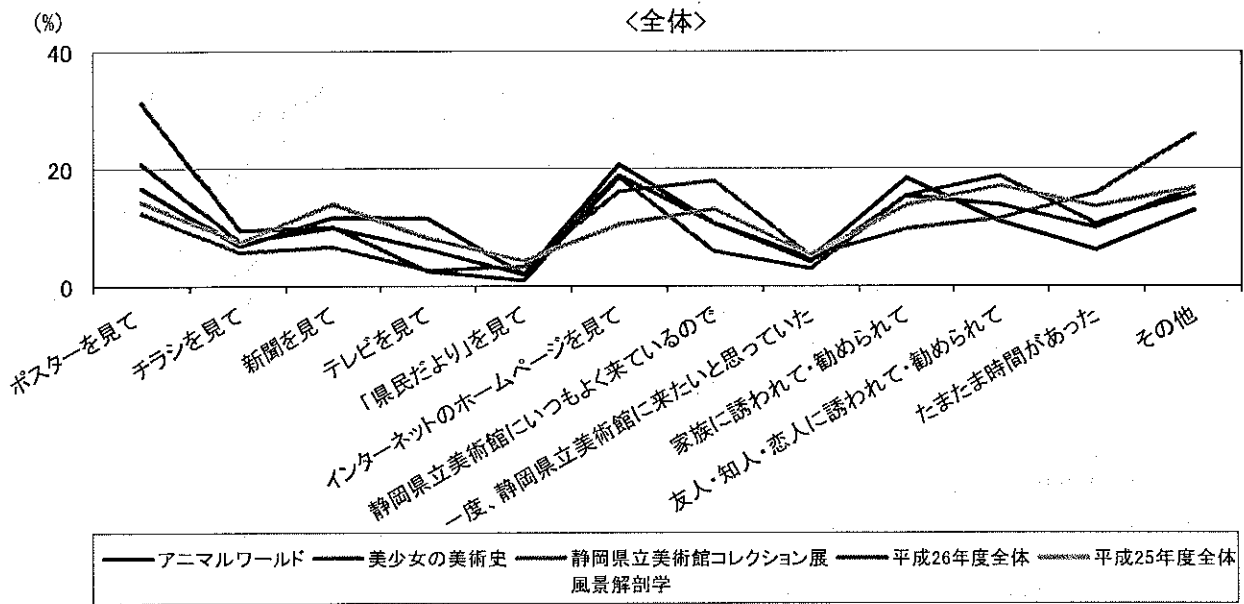
		件数(件)	ポスターを見て	チラシを見て	新聞を見て	テレビを見て	「県民だより」を見て	ホームページを見て	インターネットのホームページを見て	静岡県立美術館にいつもよく来ているので	一度、静岡県立美術館にきたいと思っていた	家族に誘われて・勧められて	友人・知人・恋人に誘われて・勧められて	たまたま時間があった	その他
平成26年度	アニマルワールド	599	16.7	6.8	11.7	11.5	2.0	20.7	10.7	4.7	18.4	11.0	6.2	12.9	
	美少女の美術史	507	31.2	9.5	10.1	2.6	1.0	18.5	5.9	3.0	15.4	18.7	10.7	15.6	
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	329	12.5	5.8	6.7	2.7	3.3	16.1	17.9	5.2	9.7	11.6	15.8	25.8	
経年	平成26年度全体		20.8	7.5	10.0	6.3	2.0	18.9	10.7	4.2	15.3	13.9	10.0	16.8	
	平成25年度全体		14.3	7.5	14.0	8.2	4.3	10.5	13.1	5.3	13.7	17.1	13.6	16.7	
平成25年度	富士山の絵画	321	14.6	6.9	28.7	19.0	9.0	9.7	10.9	5.0	14.3	12.8	12.8	11.5	
	二見彰一展	261	12.6	7.7	5.4	1.1	1.1	11.1	14.6	6.1	15.7	17.2	18.8	14.2	
	グループ「幻触」と石子順造1966-1971	294	15.3	8.2	5.8	2.7	2.0	10.9	14.3	4.8	11.2	21.8	9.9	24.5	

単位：%

新規来館者

		件数(件)	ポスターを見て	チラシを見て	新聞を見て	テレビを見て	「県民だより」を見て	ホームページを見て	インターネットのホームページを見て	静岡県立美術館にいつもよく来ているので	一度、静岡県立美術館にきたいと思っていた	家族に誘われて・勧められて	友人・知人・恋人に誘われて・勧められて	たまたま時間があった	その他
平成26年度	アニマルワールド	176	6.3	3.4	10.8	8.0	0.0	23.9	0.0	14.2	23.3	10.8	4.5	19.9	
	美少女の美術史	153	26.8	4.6	6.5	2.0	0.0	16.3	0.0	8.5	13.7	26.8	8.5	15.7	
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	78	7.7	2.6	1.3	3.8	1.3	11.5	0.0	21.8	2.6	20.5	14.1	38.5	
経年	平成26年度全体		14.3	3.7	7.4	4.9	0.2	18.7	0.0	13.5	15.7	18.7	7.9	21.9	
	平成25年度全体		8.5	2.2	4.0	5.4	1.3	11.2	0.0	17.0	10.8	23.8	12.6	24.2	
平成25年度	富士山の絵画	79	11.4	1.3	10.1	10.1	3.8	12.7	0.0	17.7	15.2	17.7	15.2	11.4	
	二見彰一展	62	3.2	3.2	0.0	0.0	0.0	11.3	0.0	19.4	8.1	24.2	16.1	27.4	
	グループ「幻触」と石子順造1966-1971	82	9.8	2.4	1.2	4.9	0.0	9.8	0.0	14.6	8.5	29.3	7.3	34.1	

単位：%



来館のきっかけについて〈全体〉は、平成26年度は「ポスターを見て」20.8%と最も高く、次いで「インターネットのホームページを見て」18.9%、「その他」16.8%、「家族に誘われて・勧められて」15.3%の順になっている。展覧会別にみると、『アニマルワールド』は「インターネットのホームページを見て」20.7%と最も高く、『美少女の美術史』は「ポスターを見て」31.2%、『静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学』は「その他」25.8%となっている。特に、「新聞を見て」「テレビを見て」は展覧会により差が大きく、『アニマルワールド』23.2%、『美少女の美術史』12.7%、『静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学』9.4%となっている。

〈新規来館者〉は、平成26年度は〈全体〉は、「その他」が21.9%と最も高く、次いで「インターネットのホームページを見て」「友人・知人・恋人に誘われて・勧められて」18.7%、「家族に誘われて・勧められて」15.7%の順になっている。展覧会別にみると、『アニマルワールド』は「インターネットのホームページを見て」23.9%と最も高く、『美少女の美術史』は「ポスターを見て」「友人・知人・恋人に誘われて・勧められて」26.8%、『静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学』は「その他」38.5%となっている。『アニマルワールド』は、「新聞を見て」「テレビを見て」は18.8%と他の展覧会と比較し高くなっている。

来館時期別来館のきっかけ

展覧会	件数(件)			ポスターを見て			チラシを見て			新聞を見て			テレビを見て		
	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*
全体	599	507	329	16.7	31.2	12.5	6.8	9.5	5.8	11.7	10.1	6.7	11.5	2.6	2.7
序盤	187	176	104	14.4	29.5	7.7	5.3	12.5	4.8	9.6	10.8	8.7	3.2	2.3	1.0
中盤	203	184	124	15.8	31.0	13.7	6.4	6.0	4.0	8.9	10.9	4.0	11.3	1.6	5.6
終盤	209	147	101	19.6	33.3	15.8	8.6	10.2	8.9	16.3	8.2	7.9	19.1	4.1	1.0
	「県民だより」を見て			インターネットのホームページを見て			静岡県立美術館にいつもよく来ているので			一度、静岡県立美術館に来たいと思っていた			家族に誘われて・勧められて		
展覧会	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*
全体	2.0	1.0	3.3	20.7	18.5	16.1	10.7	5.9	17.9	4.7	3.0	5.2	18.4	15.4	9.7
序盤	2.1	1.1	2.9	22.5	18.8	12.5	7.0	4.5	22.1	4.3	0.6	8.7	14.4	16.5	2.9
中盤	2.5	1.1	0.8	26.1	21.2	18.5	10.8	6.5	9.7	6.9	4.3	4.8	23.2	16.8	6.5
終盤	1.4	0.7	6.9	13.9	15.0	16.8	13.9	6.8	23.8	2.9	4.1	2.0	17.2	12.2	20.8
	友人・知人・恋人に誘われて・勧められて			たまたま時間があつた			その他								
展覧会	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*						
全体	11.0	18.7	11.6	6.2	10.7	15.8	12.9	15.6	25.8						
序盤	13.4	13.6	18.3	9.1	11.4	18.3	21.4	14.2	19.2						
中盤	8.9	21.2	8.9	4.4	11.4	11.3	9.4	9.8	37.1						
終盤	11.0	21.8	7.9	5.3	8.8	18.8	8.6	24.5	18.8						

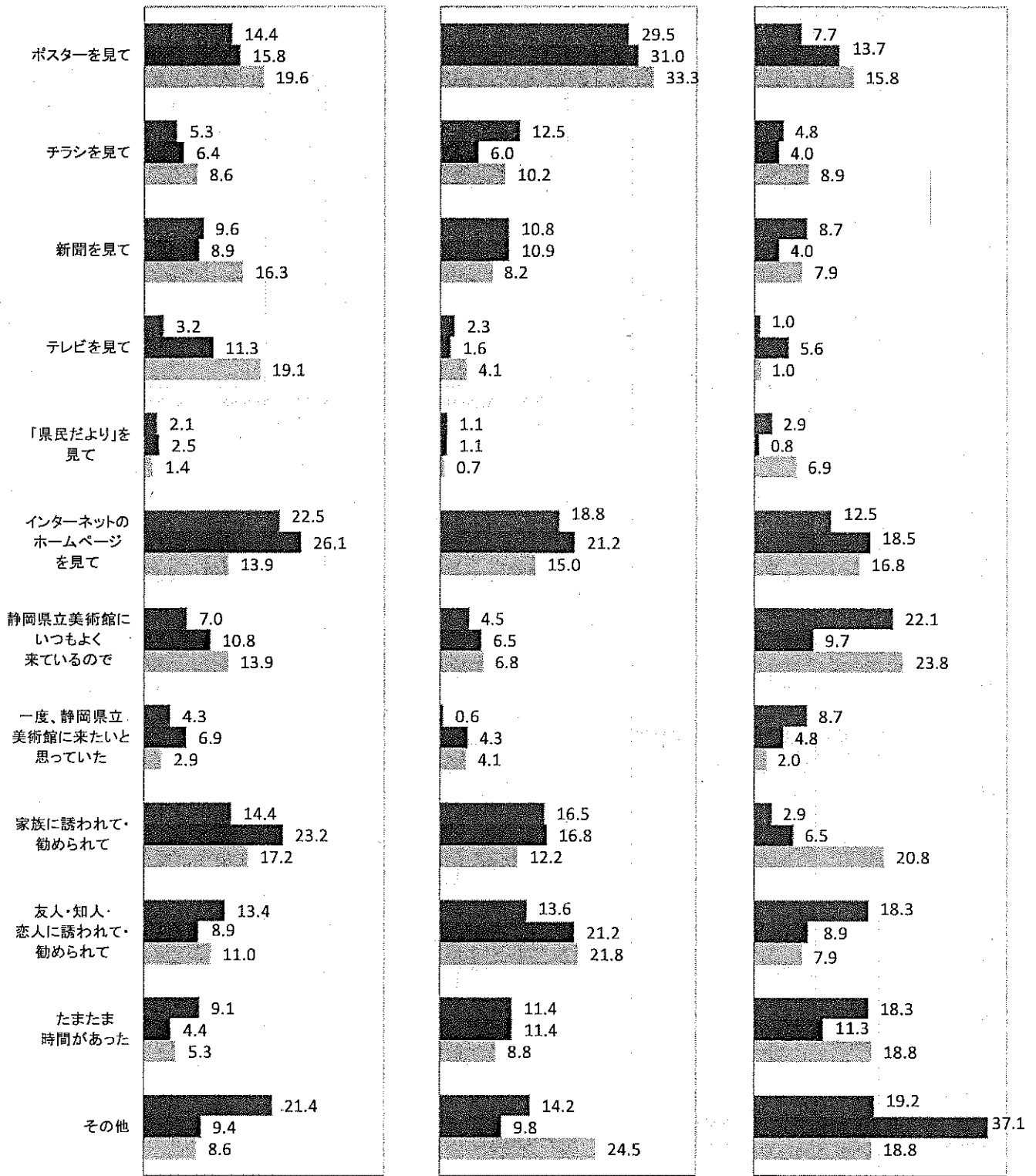
単位：%

- *) 展覧会 A・・・アニマルワールド
 展覧会 B・・・美少女の美術史
 展覧会 C・・・静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学

<アニマルワールド>

<美少女の美術史>

<静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学>



■序盤 ■中盤 ■終盤

来館時期別来館のきっかけについては、『アニマルワールド』では「インターネットのホームページを見て」が<全体>20.7%と最も高く、<序盤>22.5%、<中盤>26.1%、<終盤>13.9%となっている。『美少女の美術史』では、「ポスターを見て」が<全体>31.2%と最も高く、<序盤>29.5%、<中盤>31.0%、<終盤>33.3%となっている。『静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学』では、「その他」が<全体>25.8%と最も高く、<序盤>19.2%、<中盤>37.1%、<終盤>18.8%となっている。

④ 来館を誘われた手段

全体

		件数 (件)	直接会 つて	電話 で	SNS など	携帯 メール	eメール (パ ソコン)	そ の 他
平成 26 年度	アニマルワールド	169	82.2	4.7	4.7	5.9	0.6	4.1
	美少女の美術史	169	79.3	4.1	13.6	5.3	0.6	1.8
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	65	81.5	13.8	4.6	1.5	1.5	6.2
経 年	平成 26 年度全体		80.9	6.0	8.4	5.0	0.7	3.5
	平成 25 年度全体		75.4	10.4	3.5	7.7	1.5	5.4
平成 25 年度	富士山の絵画	84	78.6	11.9	2.4	6.0	1.2	4.8
	二見彰一展	83	71.1	12.0	4.8	10.8	0.0	3.6
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	93	76.3	7.5	3.2	6.5	3.2	7.5

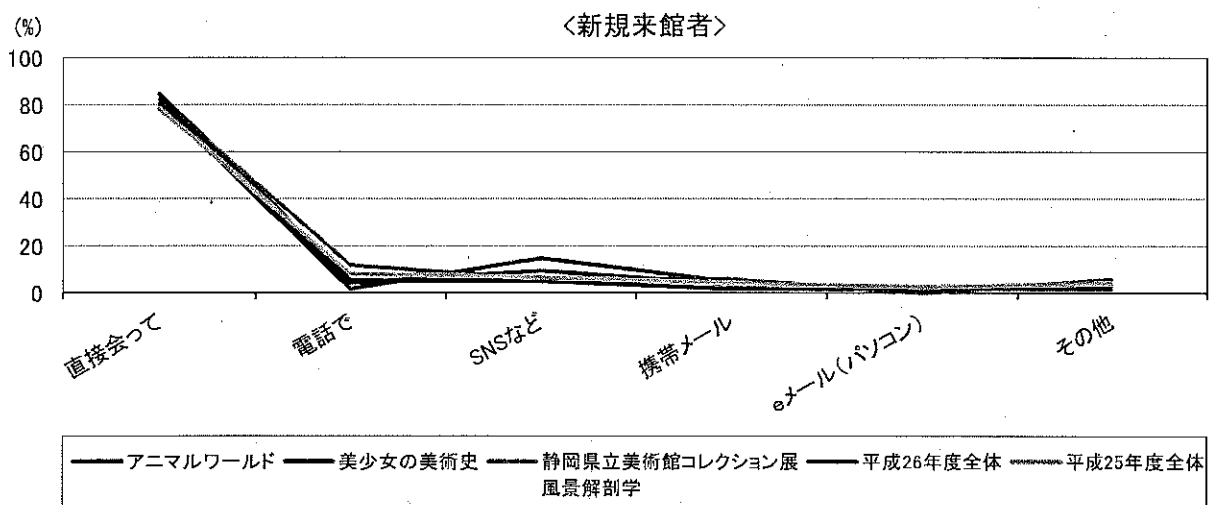
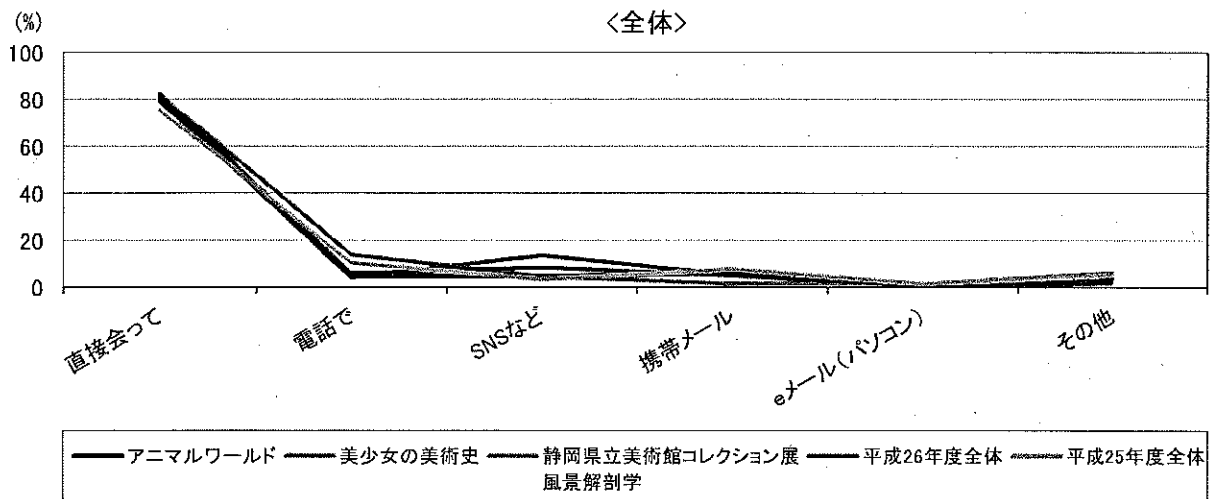
単位：%

新規来館者

		件数 (件)	直接会 つて	電話 で	SNS など	携帯 メール	eメール (パ ソコン)	そ の 他
平成 26 年度	アニマルワールド	58	84.5	5.2	5.2	1.7	1.7	1.7
	美少女の美術史	61	80.3	1.6	14.8	4.9	1.6	1.6
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	17	82.4	11.8	5.9	5.9	0.0	5.9
経 年	平成 26 年度全体		82.4	4.4	9.6	3.7	1.5	2.2
	平成 25 年度全体		78.4	8.1	6.8	4.1	2.7	4.1
平成 25 年度	富士山の絵画	25	88.0	8.0	4.0	0.0	0.0	4.0
	二見彰一展	19	63.2	15.8	10.5	10.5	0.0	0.0
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	30	80.0	3.3	6.7	3.3	6.7	6.7

単位：%

※SNS などは SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) LINE・facebook・twitter・mixi などを示す。



来館を誘われた手段について〈全体〉は、平成 26 年度は「直接会って」80.9%と最も高く、次いで「SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）LINE・facebook・twitter・mixi など」8.4%、「電話で」6.0%の順になっている。

〈新規来館者〉は、平成 26 年度は〈全体〉同様、「直接会って」82.4%と最も高く、次いで「SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）LINE・facebook・twitter・mixi など」9.6%、「電話で」4.4%の順になっている。

(4) 展覧会の評価

① 作品やテーマについての興味・関心の深まり

全体

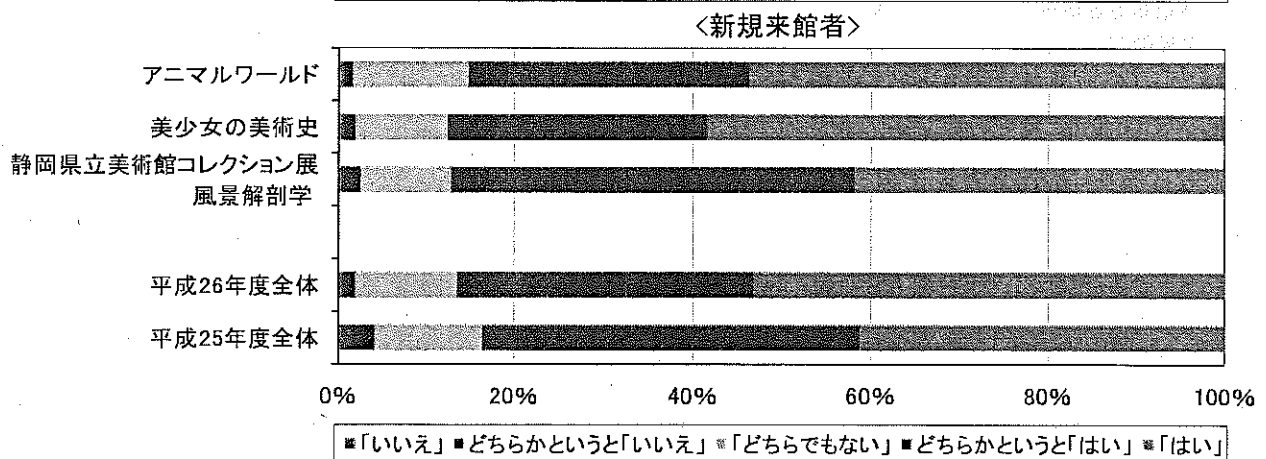
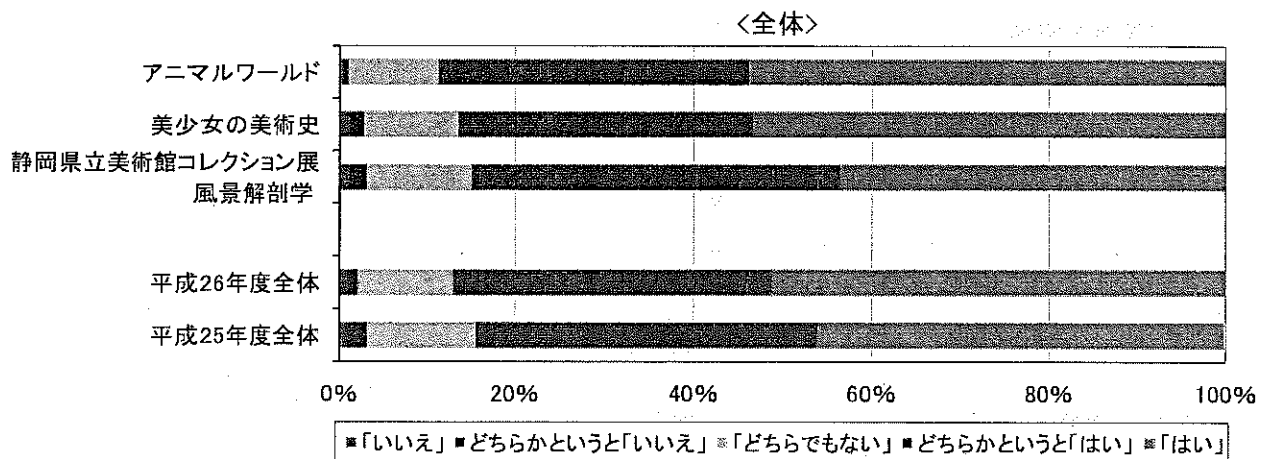
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 26 年度	アニマルワールド	593	0.3	0.7	10.1	35.1	53.8
	美少女の美術史	506	1.2	1.6	10.7	33.2	53.4
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	327	1.2	1.8	11.9	41.6	43.4
経 年	平成26年度全体		0.8	1.3	10.7	35.9	51.3
	平成25年度全体		0.9	2.2	12.4	38.5	45.9
平成 25 年度	富士山の絵画	316	0.6	0.6	9.8	36.7	52.2
	二見彰一展	257	1.2	3.1	11.3	40.5	44.0
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	289	1.0	3.1	16.3	38.8	40.8

単位：%

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 26 年度	アニマルワールド	177	0.6	1.1	13.0	31.6	53.7
	美少女の美術史	154	0.6	1.3	10.4	29.2	58.4
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	79	0.0	2.5	10.1	45.6	41.8
経 年	平成26年度全体		0.5	1.5	11.5	33.4	53.2
	平成25年度全体		1.4	2.7	12.2	42.5	41.2
平成 25 年度	富士山の絵画	79	1.3	0.0	7.6	46.8	44.3
	二見彰一展	61	1.6	8.2	13.1	42.6	34.4
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	81	1.2	1.2	16.0	38.3	43.2

単位：%



作品やテーマについての興味・関心の深まりについて〈全体〉は、平成26年度は「どちらかという」と「はい」「はい」を合わせた肯定的評価が87.2%となっている。肯定的評価は『アニマルワールド』88.9%、『美少女の美術史』86.6%、『静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学』85.0%の順になっている。一方、「いいえ」「どちらかという」と「いいえ」を合わせた否定的評価は2.1%となっている。

〈新規来館者〉は、平成26年度は肯定的評価が86.6%となっている。肯定的評価は『美少女の美術史』87.6%、『静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学』87.4%、『アニマルワールド』85.3%の順になっている。否定的評価は2.0%となっている。

評価指標 3

作品やテーマに興味を持った人の割合

平成26年度	アニマルワールド	88.9
	美少女の美術史	86.6
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	85.0
経年	平成26年度全体	87.2
	平成25年度全体	84.4
平成25年度	富士山の絵画	88.9
	二見彰一展	84.5
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	79.6

単位：%

② 展覧会の会場で心地よく観覧できたか

全体

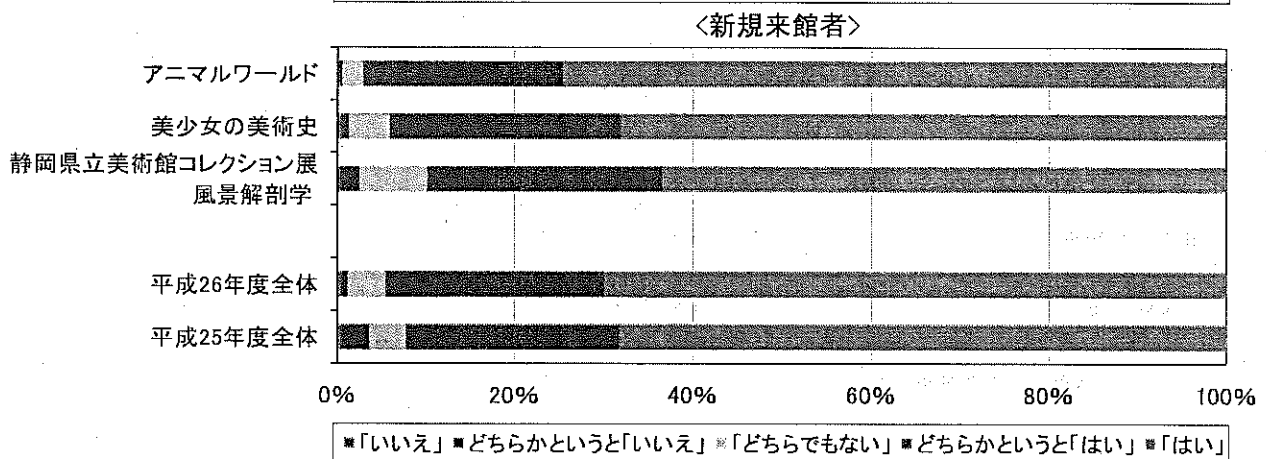
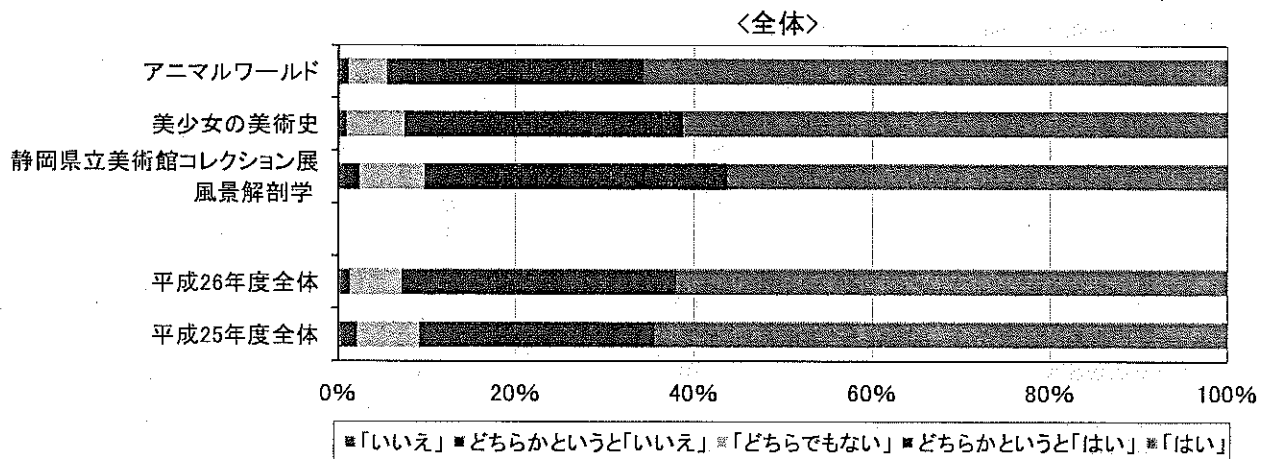
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 26 年度	アニマルワールド	597	0.0	1.2	4.4	28.8	65.7
	美少女の美術史	508	0.6	0.4	6.5	31.3	61.2
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	329	0.6	1.8	7.3	34.0	56.2
経 年	平成 26 年度全体		0.3	1.0	5.8	30.9	61.9
	平成 25 年度全体		0.2	2.0	6.9	26.6	64.3
平成 25 年度	富士山の絵画	318	0.3	2.8	4.7	25.2	67.0
	二見彰一展	260	0.4	1.2	7.3	28.8	62.3
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	293	0.0	1.7	8.9	26.3	63.1

単位：%

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 26 年度	アニマルワールド	177	0.0	0.6	2.3	22.6	74.6
	美少女の美術史	154	1.3	0.0	4.5	26.0	68.2
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	79	0.0	2.5	7.6	26.6	63.3
経 年	平成 26 年度全体		0.5	0.7	4.1	24.6	70.0
	平成 25 年度全体		0.5	3.2	4.1	23.9	68.5
平成 25 年度	富士山の絵画	79	0.0	5.1	1.3	22.8	70.9
	二見彰一展	62	1.6	3.2	6.5	29.0	59.7
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	81	0.0	1.2	4.9	21.0	72.8

単位：%



展覧会の会場で心地よく観覧できたかについて〈全体〉は、平成26年度は「どちらかという「はい」「はい」を合わせた肯定的評価が92.8%となっている。肯定的評価は『アニマルワールド』94.5%、『美少女の美術史』92.5%、『静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学』90.2%の順になっている。一方、「いいえ」「どちらかという「いいえ」」を合わせた否定的評価は1.3%となっている。

〈新規来館者〉は、平成26年度は肯定的評価が94.6%となっている。肯定的評価は『アニマルワールド』97.2%、『美少女の美術史』94.2%、『静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学』89.9%の順になっている。否定的評価は1.2%となっている。

美術館カルテ 32

鑑賞環境に対する満足度

平成26年度	アニマルワールド	94.5
	美少女の美術史	92.5
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	90.2
経年	平成26年度全体	92.8
	平成25年度全体	90.9
平成25年度	富士山の絵画	92.2
	二見彰一展	91.1
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	89.4

単位：%

③ スタッフの対応は適切であったか

全体

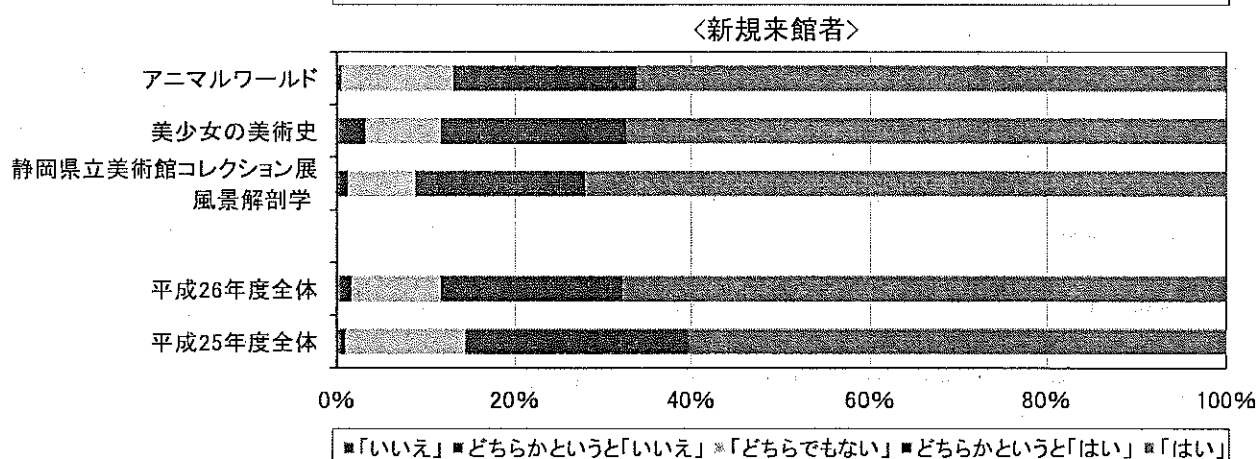
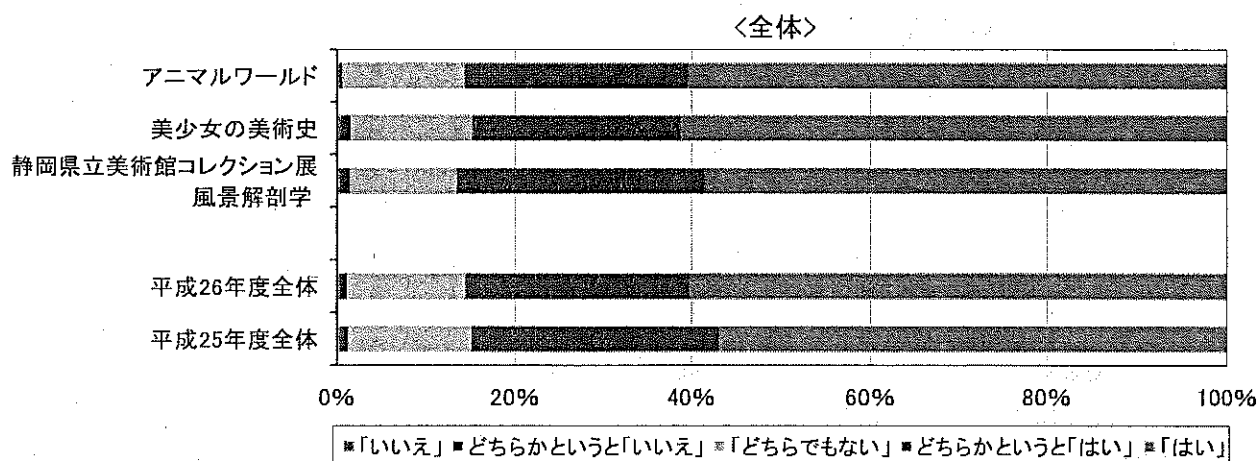
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 26 年度	アニマルワールド	591	0.2	0.5	13.7	25.2	60.4
	美少女の美術史	505	0.4	1.2	13.7	23.6	61.2
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	325	0.3	1.2	12.0	28.0	58.5
経 年	平成 26 年度全体		0.3	0.9	13.3	25.3	60.2
	平成 25 年度全体		0.7	0.6	13.9	28.0	56.8
平成 25 年度	富士山の絵画	317	0.3	0.6	16.4	28.1	54.6
	二見彰一展	259	1.2	0.4	13.9	32.8	51.7
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	293	0.7	0.7	11.3	23.5	63.8

単位：%

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 26 年度	アニマルワールド	175	0.6	0.0	12.6	20.6	66.3
	美少女の美術史	153	0.7	2.6	8.5	20.9	67.3
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	79	0.0	1.3	7.6	19.0	72.2
経 年	平成 26 年度全体		0.5	1.2	10.1	20.4	67.8
	平成 25 年度全体		0.5	0.5	13.5	25.2	60.4
平成 25 年度	富士山の絵画	79	0.0	0.0	20.3	24.1	55.7
	二見彰一展	62	1.6	1.6	11.3	32.3	53.2
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	81	0.0	0.0	8.6	21.0	70.4

単位：%



スタッフの対応は適切であったかについて〈全体〉は、平成26年度は「どちらかというとはい」「はい」を合わせた肯定的評価が85.5%となっている。肯定的評価は『静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学』86.5%、『アニマルワールド』85.6%、『美少女の美術史』84.8%の順になっている。一方、「いいえ」「どちらかというといいえ」を合わせた否定的評価は1.2%となっている。

〈新規来館者〉は、平成26年度は肯定的評価が88.2%となっている。肯定的評価は『静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学』91.2%、『美少女の美術史』88.2%、『アニマルワールド』86.9%の順になっている。否定的評価は1.7%となっている。

美術館カルテ 29

美術館スタッフの対応に満足した人の割合

平成 26 年 度	アニマルワールド	85.6
	美少女の美術史	84.8
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	86.5
経 年	平成26年度全体	85.5
	平成25年度全体	84.8
平成 25 年 度	富士山の絵画	82.7
	二見彰一展	84.5
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	87.3

単位：%

④ この展覧会のことを誰かに伝え、来館を勧めたいか

全体

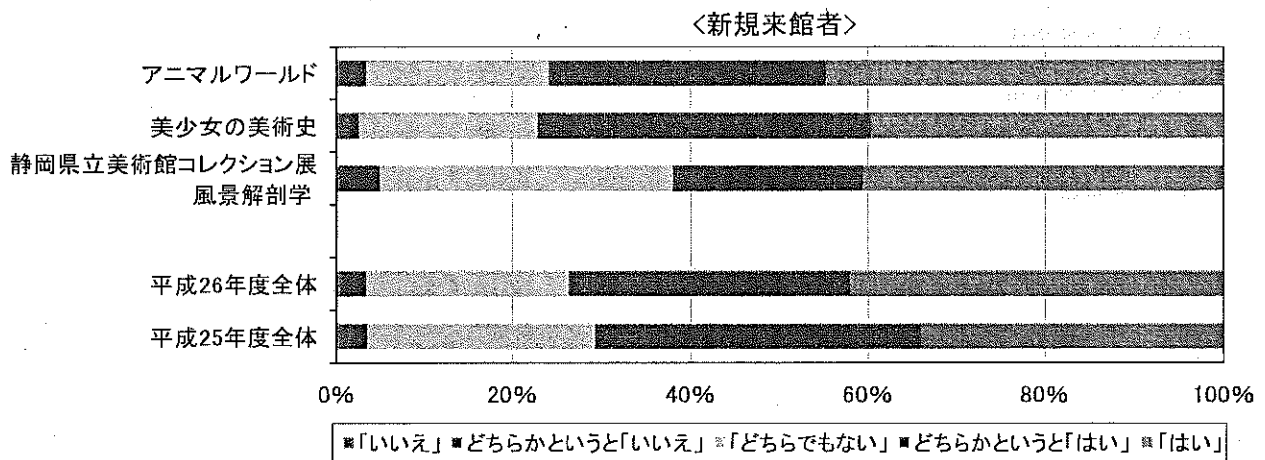
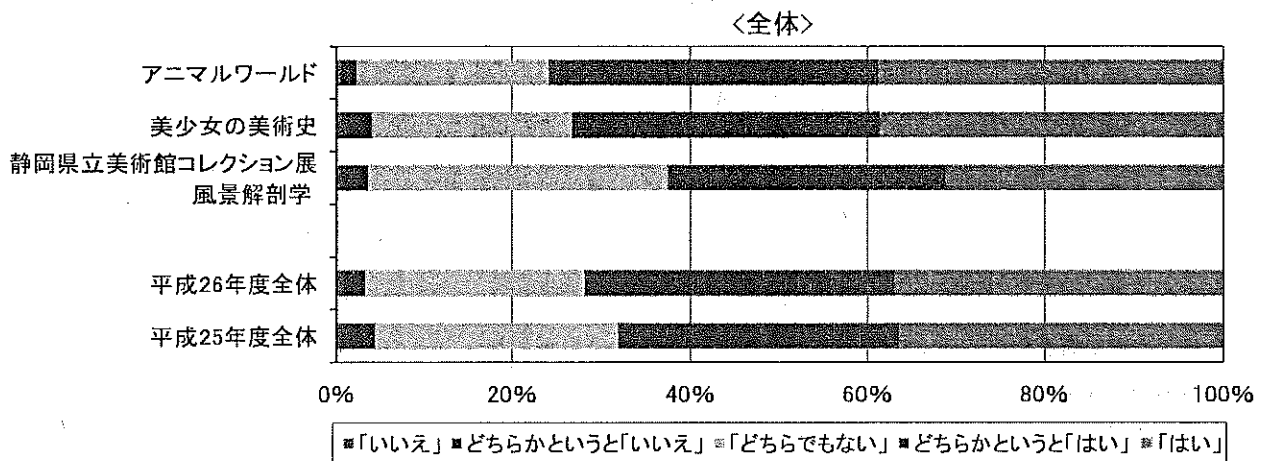
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 26 年度	アニマルワールド	591	0.5	1.9	21.7	37.2	38.7
	美少女の美術史	507	1.2	3.0	22.5	34.7	38.7
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	326	0.6	3.1	33.7	31.3	31.3
経 年	平成 26 年度全体		0.8	2.5	24.7	35.0	37.0
	平成 25 年度全体		1.4	3.1	27.3	31.7	36.5
平成 25 年度	富士山の絵画	315	1.3	1.6	22.9	33.3	41.0
	二見彰一展	258	1.9	3.9	27.1	32.6	34.5
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	292	1.0	4.1	32.2	29.1	33.6

単位：%

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 26 年度	アニマルワールド	175	0.0	3.4	20.6	31.4	44.6
	美少女の美術史	154	1.3	1.3	20.1	37.7	39.6
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	79	0.0	5.1	32.9	21.5	40.5
経 年	平成 26 年度全体		0.5	2.9	22.8	31.9	41.9
	平成 25 年度全体		1.8	1.8	25.5	36.8	34.1
平成 25 年度	富士山の絵画	78	2.6	0.0	26.9	34.6	35.9
	二見彰一展	61	0.0	6.6	23.0	37.7	32.8
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	81	2.5	0.0	25.9	38.3	33.3

単位：%



この展覧会のことを誰かに伝え、来館を勧めたいかについて〈全体〉は、平成26年度は「どちらかという はい」「はい」を合わせた肯定的評価が72.0%となっている。肯定的評価は『アニマルワールド』75.9%、『美少女の美術史』73.4%、『静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学』62.6%の順になっている。一方、「いいえ」「どちらかという いいえ」を合わせた否定的評価は3.3%となっている。

〈新規来館者〉は、平成26年度は肯定的評価が73.8%となっている。肯定的評価は『美少女の美術史』77.3%、『アニマルワールド』76.0%、『静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学』62.0%の順になっている。否定的評価は3.4%となっている。

⑤ 当美術館に関する情報は入手しやすいか

全体

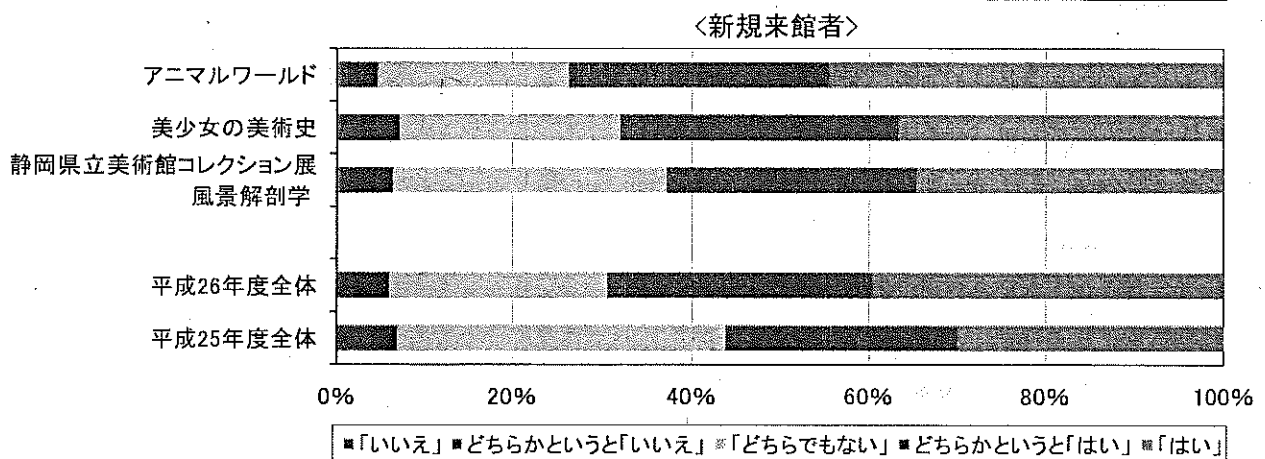
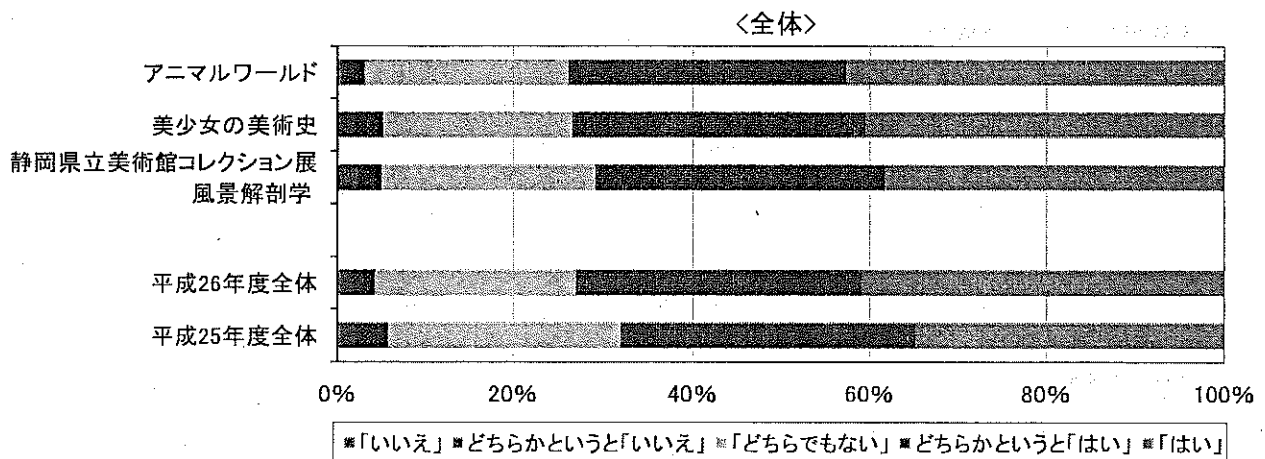
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 26 年度	アニマルワールド	581	0.9	2.2	23.1	31.2	42.7
	美少女の美術史	503	2.0	3.2	21.5	32.8	40.6
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	319	2.2	2.8	24.1	32.6	38.2
経 年	平成 26 年度全体		1.6	2.7	22.7	32.1	40.9
	平成 25 年度全体		1.9	3.9	26.2	33.2	34.8
平成 25 年度	富士山の絵画	312	1.9	1.9	23.1	35.3	37.8
	二見彰一展	253	0.8	5.9	30.8	28.9	33.6
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	279	2.9	4.3	25.4	34.8	32.6

単位：%

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 26 年度	アニマルワールド	171	1.2	3.5	21.6	29.2	44.4
	美少女の美術史	153	2.6	4.6	24.8	31.4	36.6
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	78	1.3	5.1	30.8	28.2	34.6
経 年	平成 26 年度全体		1.7	4.2	24.6	29.9	39.6
	平成 25 年度全体		3.7	3.2	36.9	26.3	30.0
平成 25 年度	富士山の絵画	78	3.8	0.0	33.3	30.8	32.1
	二見彰一展	61	1.6	8.2	44.3	18.0	27.9
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	78	5.1	2.6	34.6	28.2	29.5

単位：%



当美術館に関する情報は入手しやすいかについて〈全体〉は、平成26年度は「どちらかという」と「はい」「はい」を合わせた肯定的評価が73.0%となっている。肯定的評価は『アニマルワールド』73.9%、『美少女の美術史』73.4%、『静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学』70.8%の順になっている。一方、「いいえ」「どちらかという」と「いいえ」を合わせた否定的評価は4.3%となっている。

〈新規来館者〉は、平成26年度は肯定的評価が69.5%となっている。肯定的評価は『アニマルワールド』73.6%、『美少女の美術史』68.0%、『静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学』62.8%の順になっている。否定的評価は5.9%となっている。

評価指標 24

当館に関する情報が入手しやすいとする人の割合

平成26年度	アニマルワールド	73.9
	美少女の美術史	73.4
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	70.8
経年	平成26年度全体	73.0
	平成25年度全体	68.0
平成25年度	富士山の絵画	73.1
	二見彰一展	62.5
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	67.4

単位：%

⑥-1 利用交通機関

全体

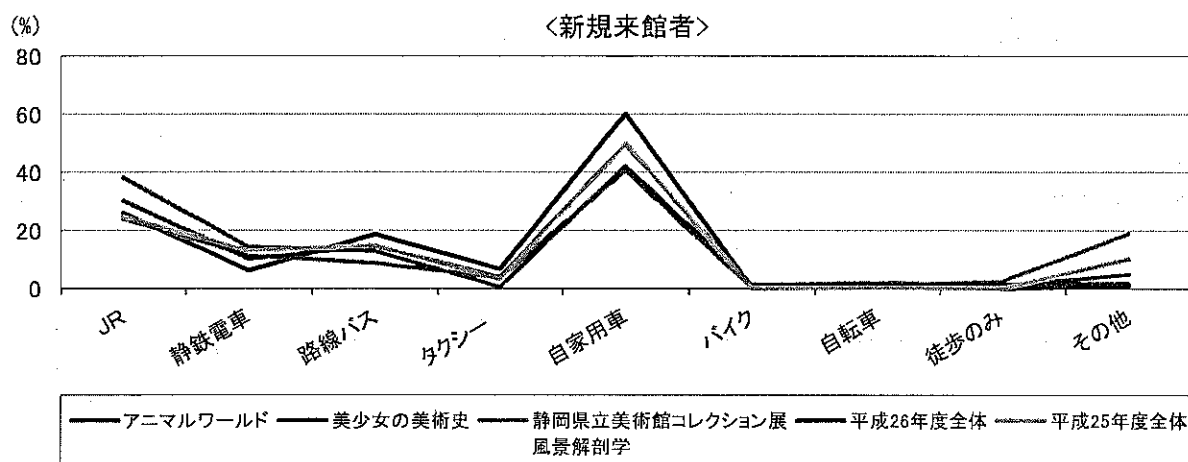
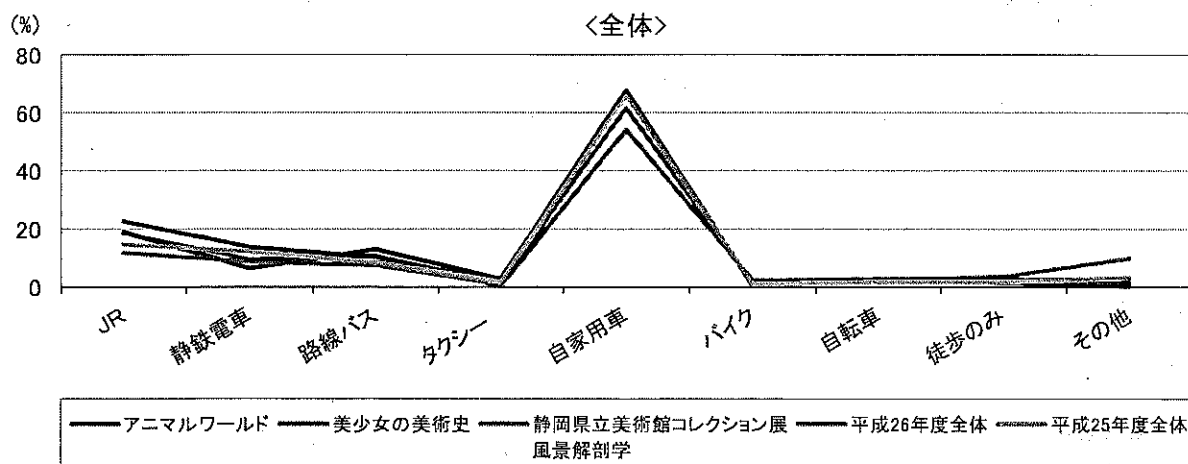
		件数 (件)	J R	静 鉄 電 車	路 線 バ ス	タ ク シ ー	自 家 用 車	バ イ ク	自 転 車	徒 歩 の み	そ の 他
平成 26 年度	アニマルワールド	599	19.0	6.5	13.0	2.8	67.8	0.3	2.8	1.5	0.3
	美少女の美術史	508	22.6	13.8	10.2	0.4	54.1	2.4	2.8	2.8	1.6
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	331	11.8	8.8	7.6	0.9	61.6	1.2	2.7	3.6	10.0
経 年	平成 26 年度全体		18.6	9.6	10.8	1.5	61.5	1.3	2.8	2.4	3.0
	平成 25 年度全体		14.7	12.2	8.4	1.8	65.9	0.9	1.8	1.7	3.4
平成 25 年度	富士山の絵画	318	10.7	9.4	8.2	1.6	73.3	0.3	2.2	0.9	2.8
	二見彰一展	260	14.2	13.5	7.7	1.9	63.1	1.2	1.2	1.5	5.8
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	294	19.4	13.9	9.2	2.0	60.5	1.4	2.0	2.7	2.0

単位：%

新規来館者

		件数 (件)	J R	静 鉄 電 車	路 線 バ ス	タ ク シ ー	自 家 用 車	バ イ ク	自 転 車	徒 歩 の み	そ の 他
平成 26 年度	アニマルワールド	176	26.1	6.3	18.8	6.8	60.2	0.0	0.6	0.0	1.1
	美少女の美術史	154	38.3	14.3	13.0	0.6	42.2	1.3	1.9	1.3	1.9
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	79	24.1	11.4	8.9	3.8	40.5	0.0	1.3	2.5	19.0
経 年	平成 26 年度全体		30.3	10.3	14.7	3.9	49.6	0.5	1.2	1.0	4.9
	平成 25 年度全体		24.9	13.1	14.9	3.2	49.8	0.0	0.5	0.0	10.4
平成 25 年度	富士山の絵画	78	15.4	9.0	16.7	1.3	59.0	0.0	0.0	0.0	10.3
	二見彰一展	61	21.3	11.5	6.6	3.3	42.6	0.0	1.6	0.0	23.0
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	82	36.6	18.3	19.5	4.9	46.3	0.0	0.0	0.0	1.2

単位：%



利用交通機関について〈全体〉は、平成26年度は「自家用車」が61.5%と最も高く、次いで「JR」18.6%、「路線バス」10.8%の順になっている。

〈新規来館者〉は、平成26年度は「自家用車」が49.6%と最も高く、次いで「JR」30.3%、「路線バス」14.7%の順になっている。

⑥-2 公共交通機関の利用はスムーズであったか

全体

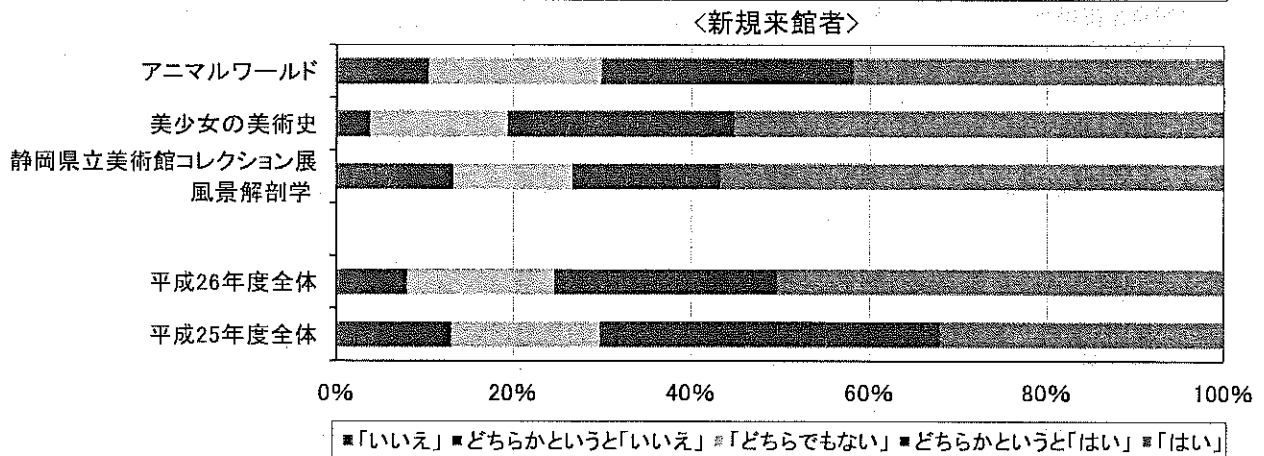
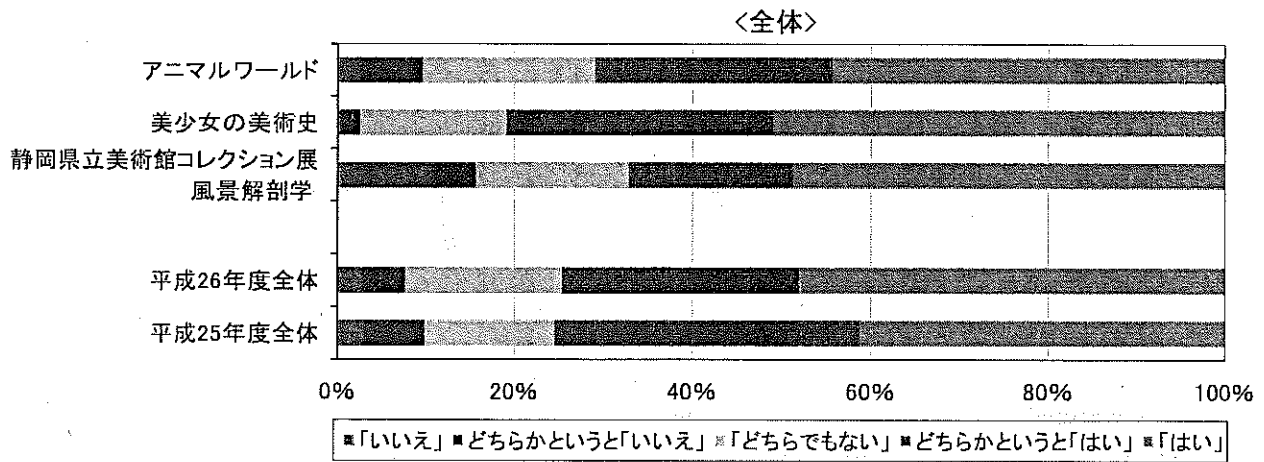
		件数 (件)	「スムーズ」	「どちらかとい うと」「スムーズ」	「どちらで もない」	「どちらかとい うと」「はい」	「はい」
平成 26 年度	アニマルワールド	165	2.4	7.3	19.4	26.7	44.2
	美少女の美術史	189	0.0	2.6	16.4	30.2	50.8
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	76	10.5	5.3	17.1	18.4	48.7
経 年	平成 26 年度全体		2.8	4.9	17.7	26.7	47.9
	平成 25 年度全体		3.0	6.9	14.6	34.3	41.2
平成 25 年度	富士山の絵画	70	2.9	4.3	11.4	31.4	50.0
	二見彰一展	71	4.2	4.2	16.9	35.2	39.4
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	92	2.2	10.9	15.2	35.9	35.9

単位：%

新規来館者

		件数 (件)	「スムーズ」	「どちらかとい うと」「スムーズ」	「どちらで もない」	「どちらかとい うと」「はい」	「はい」
平成 26 年度	アニマルワールド	67	4.5	6.0	19.4	28.4	41.8
	美少女の美術史	78	0.0	3.8	15.4	25.6	55.1
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	30	6.7	6.7	13.3	16.7	56.7
経 年	平成 26 年度全体		2.9	5.1	16.6	25.1	50.3
	平成 25 年度全体		4.8	8.3	16.7	38.1	32.1
平成 25 年度	富士山の絵画	24	8.3	4.2	4.2	25.0	58.3
	二見彰一展	19	5.3	5.3	26.3	47.4	15.8
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	41	2.4	12.2	19.5	41.5	24.4

単位：%



公共交通機関の利用はスムーズであったかについて〈全体〉は、平成26年度は「どちらかというとはい」「はい」を合わせた肯定的評価が74.6%となっている。肯定的評価は『美少女の美術史』81.0%、『アニマルワールド』70.9%、『静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学』67.1%の順になっている。一方、「いいえ」「どちらかというといいえ」を合わせた否定的評価は7.7%となっている。

〈新規来館者〉は、平成26年度は肯定的評価が75.4%となっている。肯定的評価は『美少女の美術史』80.7%、『静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学』73.4%、『アニマルワールド』70.2%の順になっている。否定的評価は8.0%となっている。

評価指標 35

公共交通機関で来館した人のアクセス満足度

美術館カルテ 26

公共交通機関で来館した人のアクセス満足度

平成 26 年 度	アニマルワールド	70.9
	美少女の美術史	81.0
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	67.1
経 年	平成26年度全体	74.6
	平成25年度全体	75.5
平成 25 年 度	富士山の絵画	81.4
	二見彰一展	74.6
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	71.8

単位：%

⑥-3 自家用車の利用はスムーズであったか

全体

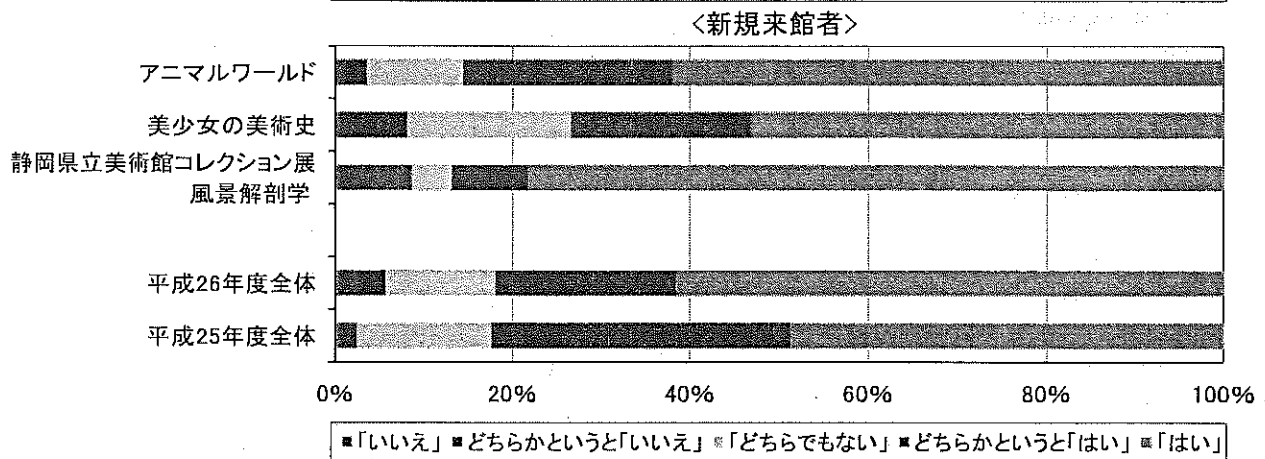
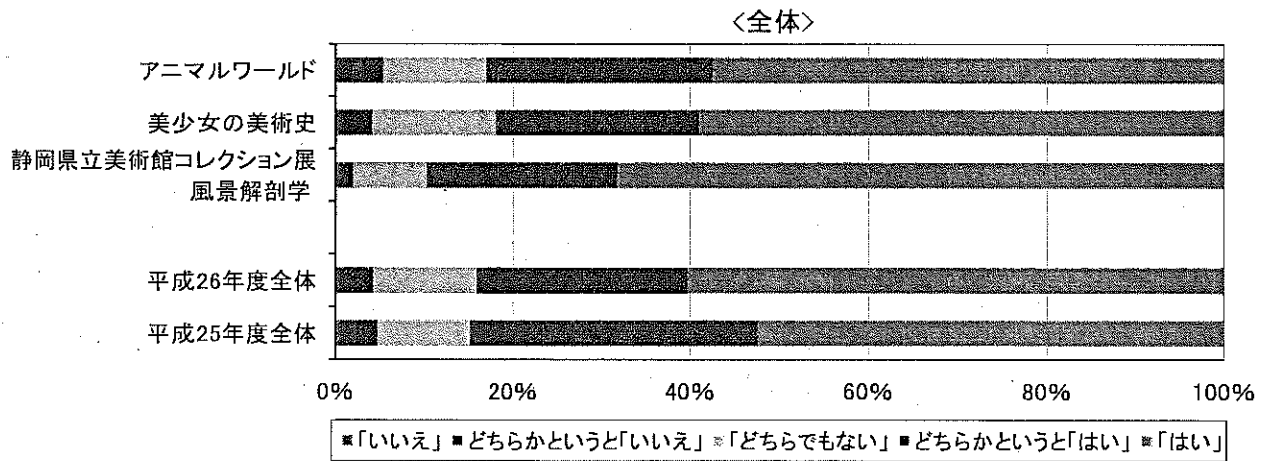
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 26 年度	アニマルワールド	315	2.9	2.5	11.4	25.7	57.5
	美少女の美術史	217	0.9	3.2	13.8	23.0	59.0
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	145	1.4	0.7	8.3	21.4	68.3
経 年	平成 26 年度全体		1.9	2.4	11.5	23.9	60.3
	平成 25 年度全体		2.3	2.5	10.2	32.6	52.4
平成 25 年度	富士山の絵画	164	1.2	2.4	9.8	33.5	53.0
	二見彰一展	132	3.8	3.0	11.4	34.8	47.0
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	137	2.2	2.2	9.5	29.2	56.9

単位：%

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 26 年度	アニマルワールド	84	1.2	2.4	10.7	23.8	61.9
	美少女の美術史	49	2.0	6.1	18.4	20.4	53.1
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	23	8.7	0.0	4.3	8.7	78.3
経 年	平成 26 年度全体		2.6	3.2	12.2	20.5	61.5
	平成 25 年度全体		2.5	0.0	15.0	33.8	48.8
平成 25 年度	富士山の絵画	36	2.8	0.0	19.4	33.3	44.4
	二見彰一展	16	0.0	0.0	18.8	50.0	31.3
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	28	3.6	0.0	7.1	25.0	64.3

単位：%



自家用車の利用はスムーズであったかについて〈全体〉は、平成26年度は「どちらかという」「はい」「はい」を合わせた肯定的評価が84.2%となっている。肯定的評価は『静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学』89.7%、『アニマルワールド』83.2%、『美少女の美術史』82.0%の順になっている。一方、「いいえ」「どちらかという」「いいえ」を合わせた否定的評価は4.3%となっている。

〈新規来館者〉は、平成26年度は肯定的評価が82.0%となっている。肯定的評価は『静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学』87.0%、『アニマルワールド』85.7%、『美少女の美術史』73.5%の順になっている。否定的評価は5.8%となっている。

評価指標 35

自家用車で来館した人のアクセス満足度

美術館カルテ 27

自家用車で来館した人のアクセス満足度

平成26年度	アニマルワールド	83.2
	美少女の美術史	82.0
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	89.7
経年	平成26年度全体	84.2
	平成25年度全体	85.0
平成25年度	富士山の絵画	86.5
	二見彰一展	81.8
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	86.1

単位：%

⑦ 全体的に見て、今回の来館は満足いただけたか（総合満足度）

全体

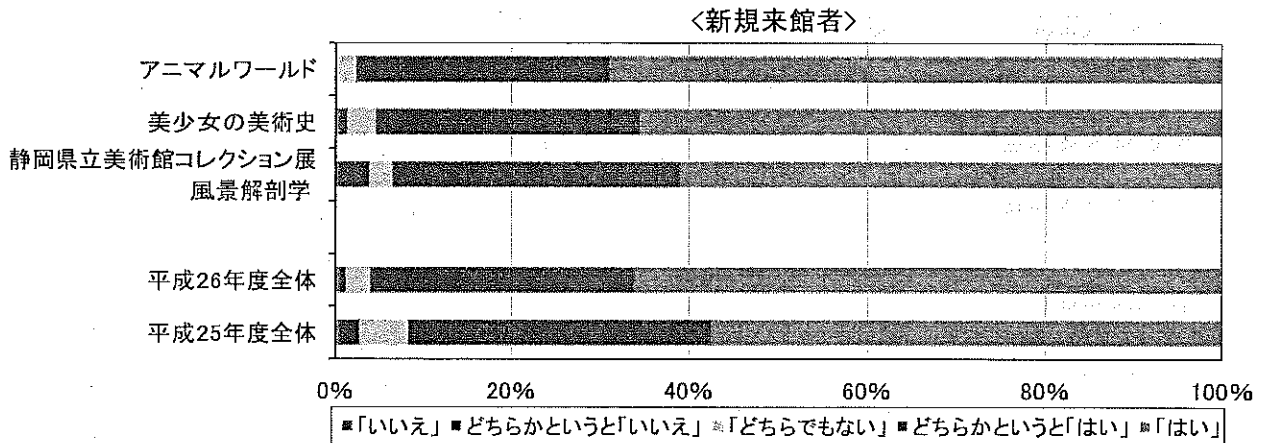
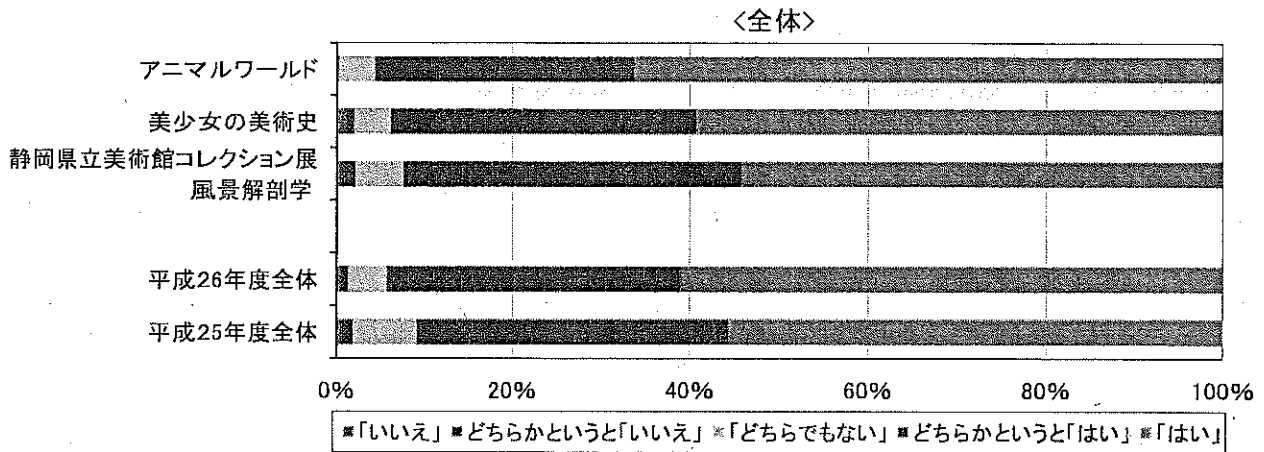
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 26 年度	アニマルワールド	596	0.0	0.3	4.0	29.4	66.3
	美少女の美術史	503	1.0	1.0	4.2	34.6	59.2
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	328	0.3	1.8	5.5	38.1	54.3
経 年	平成 26 年度全体		0.4	0.9	4.4	33.2	61.0
	平成 25 年度全体		0.5	1.4	7.2	35.2	55.8
平成 25 年度	富士山の絵画	315	0.6	1.0	5.1	34.6	58.7
	二見彰一展	256	0.4	2.7	5.9	37.1	53.9
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	288	0.3	0.7	10.8	34.0	54.2

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」
平成 26 年度	アニマルワールド	177	0.0	0.0	2.3	28.8	68.9
	美少女の美術史	154	1.3	0.0	3.2	29.9	65.6
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	77	0.0	3.9	2.6	32.5	61.0
経 年	平成 26 年度全体		0.5	0.7	2.7	29.9	66.2
	平成 25 年度全体		0.5	2.3	5.5	34.2	57.5
平成 25 年度	富士山の絵画	76	0.0	1.3	6.6	32.9	59.2
	二見彰一展	61	1.6	6.6	3.3	36.1	52.5
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	82	0.0	0.0	6.1	34.1	59.8

単位：％



総合満足度について〈全体〉は、平成26年度は「どちらかという はい」「はい」を合わせた肯定的評価が94.2%となっている。肯定的評価は『アニマルワールド』95.7%、『美少女の美術史』93.8%、『静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学』92.4%の順になっている。一方、「いいえ」「どちらかという いいえ」を合わせた否定的評価は1.3%となっている。

〈新規来館者〉は、平成26年度は肯定的評価が96.1%となっている。肯定的評価は『アニマルワールド』97.7%、『美少女の美術史』95.5%、『静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学』93.5%の順になっている。否定的評価は1.2%となっている。

美術館カルテ5

展覧会の満足度

美術館カルテ52

展覧会における新規観覧者の満足度

		展覧会の満足度	展覧会の満足度 (新規来館者)
平成26年度	アニマルワールド	95.7	97.7
	美少女の美術史	93.8	95.5
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	92.4	93.5
経年	平成26年度全体	94.2	96.1
	平成25年度全体	91.0	91.7
平成25年度	富士山の絵画	93.3	92.1
	二見彰一展	91.0	88.6
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	88.2	93.9

単位：%

⑧ 「風景の美術館」であることを知っているか

全体

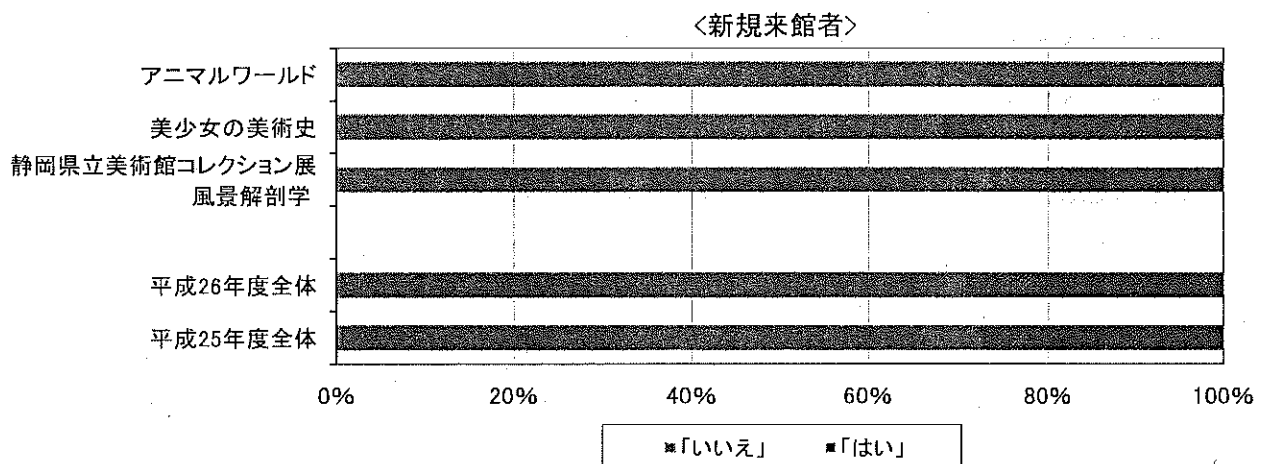
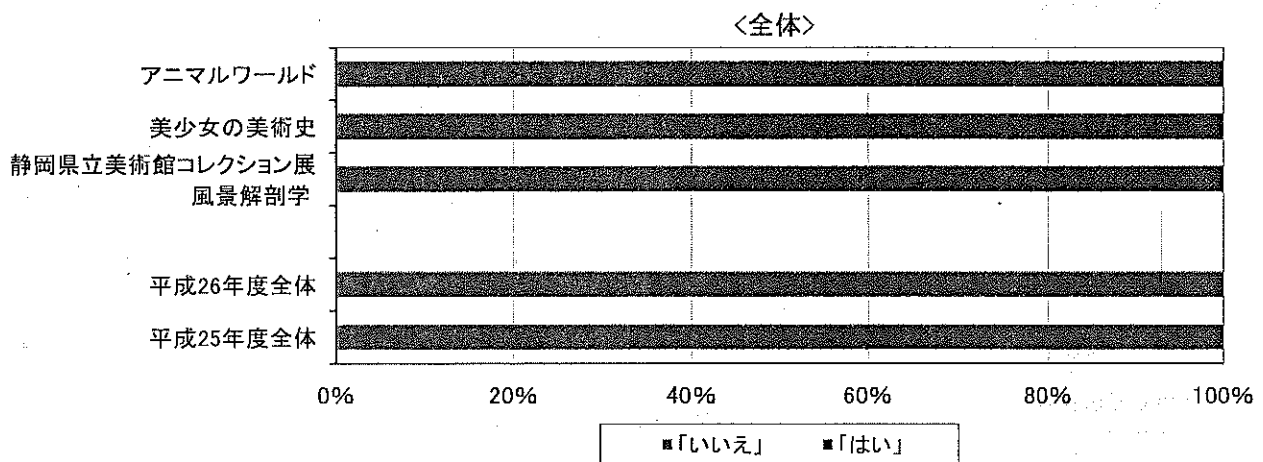
		件数 (件)	「いいえ」	「はい」
平成 26 年度	アニマルワールド	598	33.9	66.1
	美少女の美術史	504	35.7	64.3
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	329	37.4	62.6
経 年	平成 26 年度全体		35.4	64.6
	平成 25 年度全体		33.2	66.8
平成 25 年度	富士山の絵画	318	32.4	67.6
	二見彰一展	261	31.8	68.2
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	292	35.3	64.7

単位：%

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	「はい」
平成 26 年度	アニマルワールド	178	71.9	28.1
	美少女の美術史	154	68.2	31.8
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	79	73.4	26.6
経 年	平成 26 年度全体		70.8	29.2
	平成 25 年度全体		72.5	27.5
平成 25 年度	富士山の絵画	78	75.6	24.4
	二見彰一展	62	67.7	32.3
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	82	73.2	26.8

単位：%



「風景とロダンの美術館」の認知について〈全体〉は、平成26年度は「はい」64.6%、「いいえ」35.4%となっている。

〈新規来館者〉は、平成26年度は「はい」29.2%、「いいえ」70.8%となっている。

美術館カルテ 23

風景の美術館としての認知度

平成 26 年 度	アニマルワールド	66.1
	美少女の美術史	64.3
	静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	62.6
経 年	平成26年度全体	64.6
	平成25年度全体	66.8
平成 25 年 度	富士山の絵画	67.6
	二見彰一展	68.2
	グループ「幻触」と石子順造 1966-1971	64.7

単位：%

5 レストランアンケート結果

(1) 実施数 (回答数)

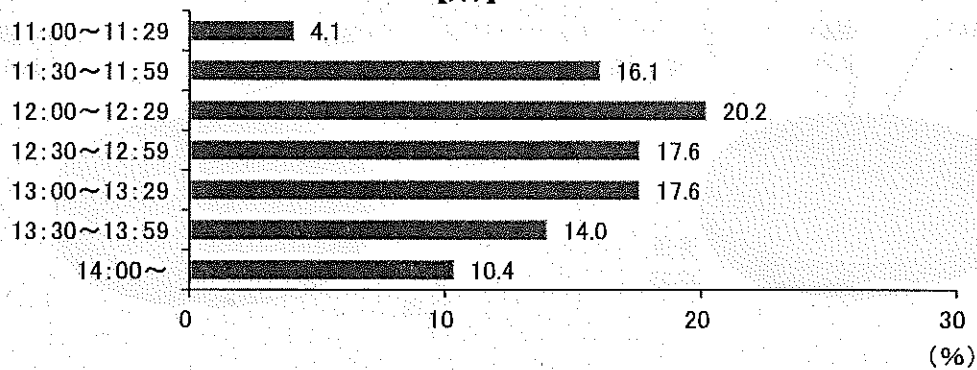
アニマルワールド	69 件
美少女の美術史	56 件
静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	68 件
合計	193 件

(2) アンケート結果

A1 入店時刻

		全 体	11:00 ~11:29	11:30 ~11:59	12:00 ~12:29	12:30 ~12:59	13:00 ~13:29	13:30 ~13:59	14:00 ~
平成 26年度	回答数 (件)	193	8	31	39	34	34	27	20
	割合 (%)	100.0	4.1	16.1	20.2	17.6	17.6	14.0	10.4
平成 25年度	回答数 (件)	180	12	34	55	27	24	14	14
	割合 (%)	100.0	6.7	18.9	30.6	15.0	13.3	7.8	7.8

【A1】



A2 注文内容

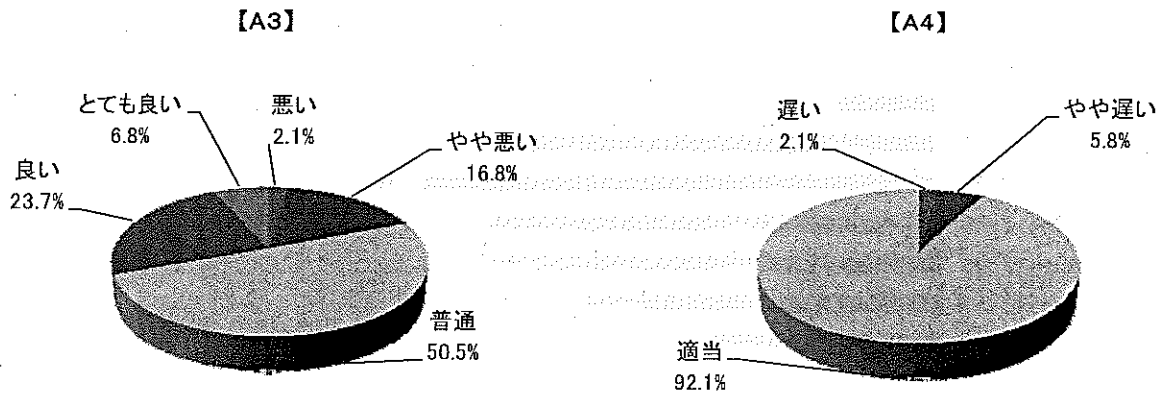
注文した料理	回答数 (件)	注文した料理	回答数 (件)
エスタセット	111 件	バルバリ一種鴨脚肉のコンフィ	2 件
ロダンセット	44 件	富士山サーモンのムニエル	2 件
本日のパスタ	10 件	本日のパスタセット	2 件
コーヒー	7 件	季節の地場野菜彩りサラダ	1 件
ミュゼスペシャリテ	6 件	ケーキ	1 件
お子様ランチ	4 件	本日の鮮魚のアクアパッツァ	1 件
エスタ特製海老・カニクリームコロツケとオムライス	4 件	アイスティー	1 件
静岡県産牛肉の赤ワイン煮込み	4 件	アイスコーヒー	1 件
有頭海老のカダイフ巻きと帆立貝柱の炙り	3 件	ドリンク	1 件
静岡牛ランプ肉のグリル	2 件	ワイン	1 件

A3 案内表示のわかりやすさ

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い
平成 26年度	回答数(件)	190	4	32	96	45	13
	割合(%)	100.0	2.1	16.8	50.5	23.7	6.8
平成 25年度	回答数(件)	175	1	20	89	43	22
	割合(%)	100.0	0.6	11.4	50.9	24.6	12.6

A4 席に案内するまでの時間

		全体	遅い	やや遅い	適当
平成 26年度	回答数(件)	190	4	11	175
	割合(%)	100.0	2.1	5.8	92.1
平成 25年度	回答数(件)	175	1	3	171
	割合(%)	100.0	0.6	1.7	97.7



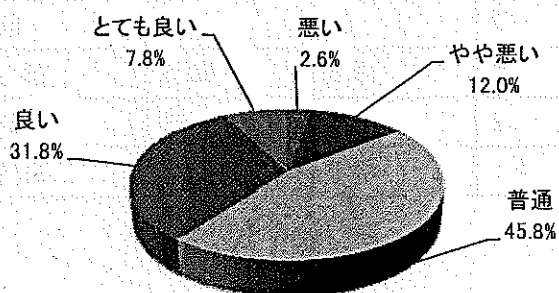
A5 メニューの種類

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い
平成 26年度	回答数(件)	192	5	23	88	61	15
	割合(%)	100.0	2.6	12.0	45.8	31.8	7.8
平成 25年度	回答数(件)	176	1	23	92	44	16
	割合(%)	100.0	0.6	13.1	52.3	25.0	9.1

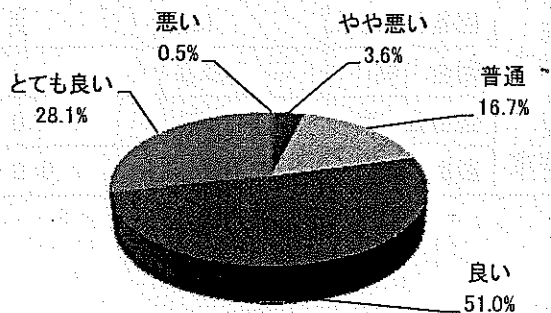
A6 味

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い
平成 26年度	回答数(件)	192	1	7	32	98	54
	割合(%)	100.0	0.5	3.6	16.7	51.0	28.1
平成 25年度	回答数(件)	176	2	3	27	71	73
	割合(%)	100.0	1.1	1.7	15.3	40.3	41.5

【A5】



【A6】



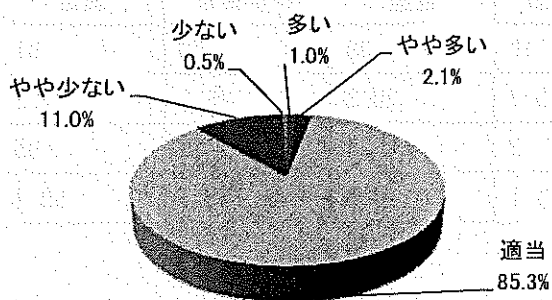
A7 量

		全体	多い	やや多い	適当	やや少ない	少ない
平成 26年度	回答数 (件)	191	2	4	163	21	1
	割合 (%)	100.0	1.0	2.1	85.3	11.0	0.5
平成 25年度	回答数 (件)	170	1	6	140	20	3
	割合 (%)	100.0	0.6	3.5	82.4	11.8	1.8

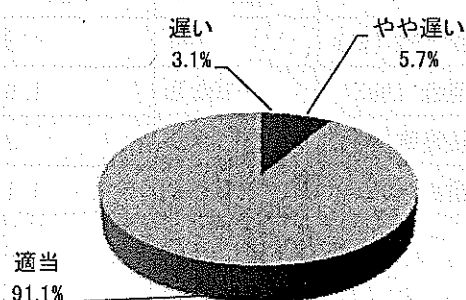
A8 料理が出るまでの時間

		全体	遅い	やや遅い	適当
平成 26年度	回答数 (件)	192	6	11	175
	割合 (%)	100.0	3.1	5.7	91.1
平成 25年度	回答数 (件)	178	0	9	169
	割合 (%)	100.0	0.0	5.1	94.9

【A7】



【A8】

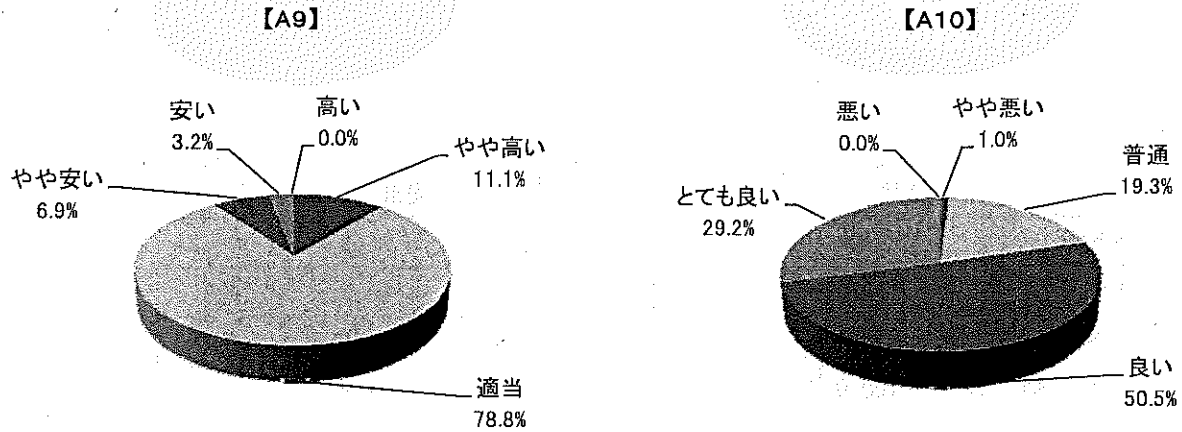


A9 値段

		全体	高い	やや高い	適当	やや安い	安い
平成 26年度	回答数 (件)	189	0	21	149	13	6
	割合 (%)	100.0	0.0	11.1	78.8	6.9	3.2
平成 25年度	回答数 (件)	179	2	21	134	19	3
	割合 (%)	100.0	1.1	11.7	74.9	10.6	1.7

A10 店の雰囲気、清潔さ

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い
平成 26年度	回答数(件)	192	0	2	37	97	56
	割合(%)	100.0	0.0	1.0	19.3	50.5	29.2
平成 25年度	回答数(件)	180	0	2	25	92	61
	割合(%)	100.0	0.0	1.1	13.9	51.1	33.9

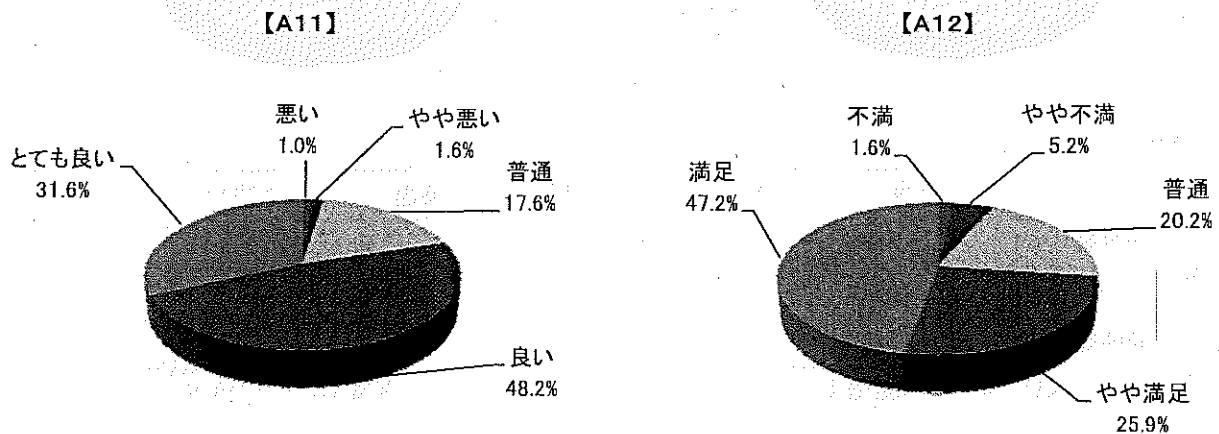


A11 従業員の言葉遣いや態度

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い
平成 26年度	回答数(件)	193	2	3	34	93	61
	割合(%)	100.0	1.0	1.6	17.6	48.2	31.6
平成 25年度	回答数(件)	180	0	1	36	84	59
	割合(%)	100.0	0.0	0.6	20.0	46.7	32.8

A12 満足度

		全体	不満	やや不満	普通	やや満足	満足
平成 26年度	回答数(件)	193	3	10	39	50	91
	割合(%)	100.0	1.6	5.2	20.2	25.9	47.2
平成 25年度	回答数(件)	179	2	2	34	46	95
	割合(%)	100.0	1.1	1.1	19.0	25.7	53.1



A13 不満や改善点 (略)

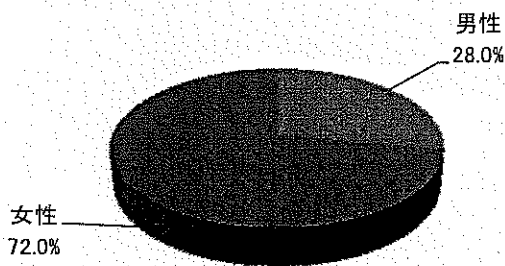
B1 性別

		全体	男性	女性
平成 26年度	回答数(件)	193	54	139
	割合(%)	100.0	28.0	72.0
平成 25年度	回答数(件)	180	43	137
	割合(%)	100.0	23.9	76.1

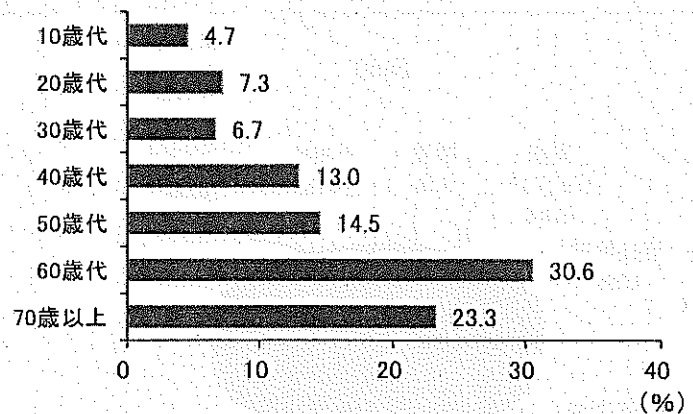
B2 年齢

		全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
平成 26年度	回答数(件)	193	9	14	13	25	28	59	45
	割合(%)	100.0	4.7	7.3	6.7	13.0	14.5	30.6	23.3
平成 25年度	回答数(件)	180	5	7	7	25	31	55	50
	割合(%)	100.0	2.8	3.9	3.9	13.9	17.2	30.6	27.8

【B1】



【B2】

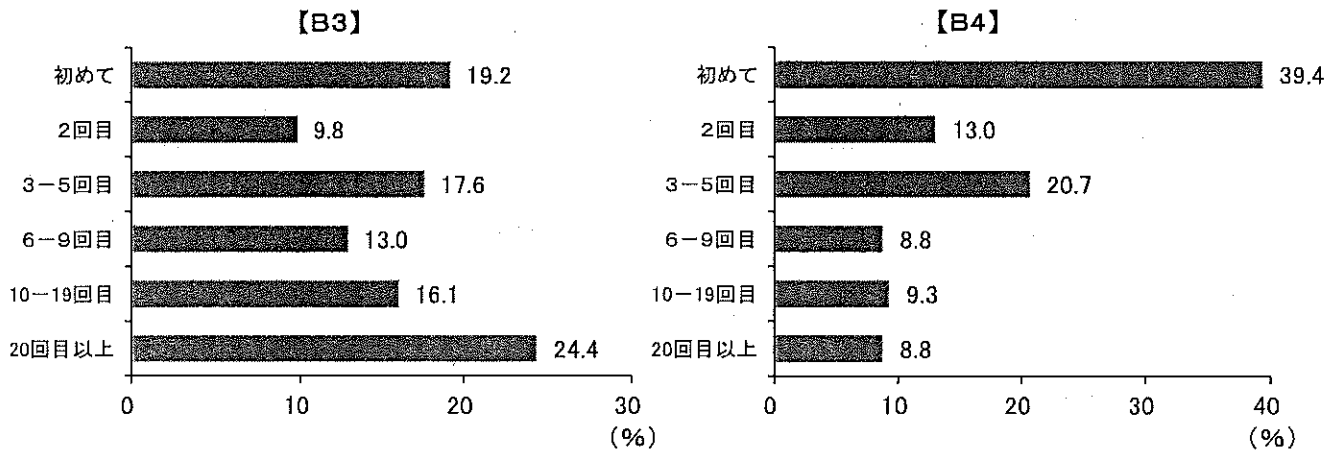


B3 来館回数

		全体	初めて	2回目	3-5回目	6-9回目	10-19回目	20回目以上
平成 26年度	回答数(件)	193	37	19	34	25	31	47
	割合(%)	100.0	19.2	9.8	17.6	13.0	16.1	24.4
平成 25年度	回答数(件)	180	16	7	35	28	31	63
	割合(%)	100.0	8.9	3.9	19.4	15.6	17.2	35.0

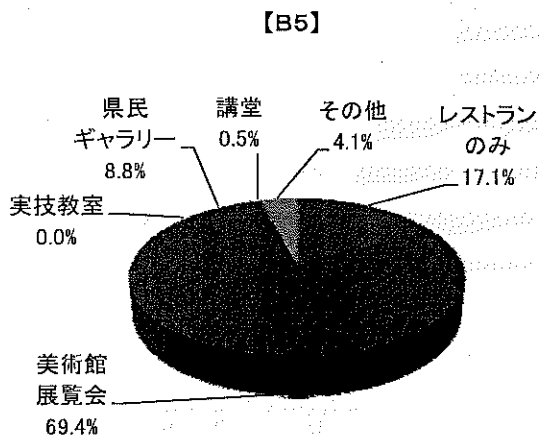
B4 レストランの利用回数

		全体	初めて	2回目	3-5回目	6-9回目	10-19回目	20回目以上
平成 26年度	回答数(件)	193	76	25	40	17	18	17
	割合(%)	100.0	39.4	13.0	20.7	8.8	9.3	8.8
平成 25年度	回答数(件)	180	44	22	38	26	20	30
	割合(%)	100.0	24.4	12.2	21.1	14.4	11.1	16.7



B5 主な来館目的

		全体	レストランのみ	美術館 展覧会	実技教室	県民ギャ ラリー	講堂	その他
平成 26年度	回答数(件)	193	33	134	0	17	1	8
	割合(%)	100.0	17.1	69.4	0.0	8.8	0.5	4.1
平成 25年度	回答数(件)	180	52	94	3	20	1	10
	割合(%)	100.0	28.9	52.2	1.7	11.1	0.6	5.6



6 カフェアンケート結果

(1) 実施数 (回答数)

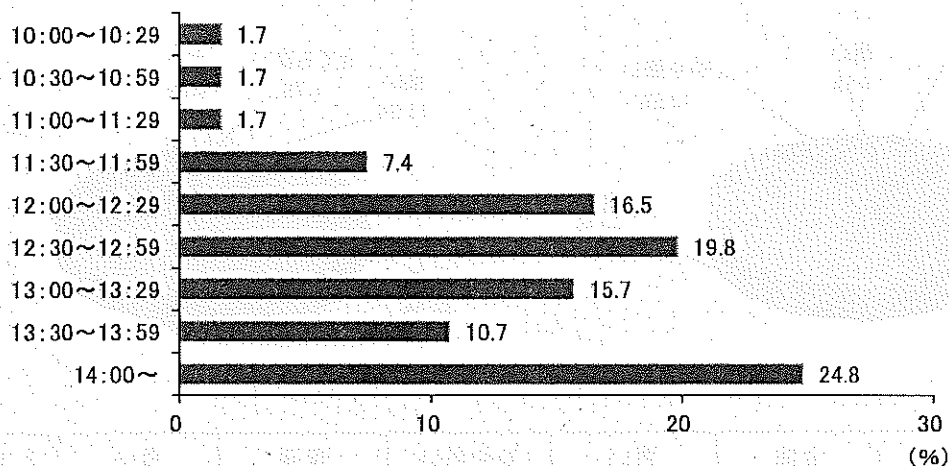
アニマルワールド	40件
美少女の美術史	40件
静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	41件
合計	121件

(2) アンケート結果

A1 入店時刻

		全体	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00
			~ 10:29	~ 10:59	~ 11:29	~ 11:59	~ 12:29	~ 12:59	~ 13:29	~ 13:59	~
平成 26年度	回答数(件)	121	2	2	2	9	20	24	19	13	30
	割合(%)	100.0	1.7	1.7	1.7	7.4	16.5	19.8	15.7	10.7	24.8
平成 25年度	回答数(件)	120	4	4	8	14	13	8	15	12	42
	割合(%)	100.0	3.3	3.3	6.7	11.7	10.8	6.7	12.5	10.0	35.0

【A1】



A2 注文内容

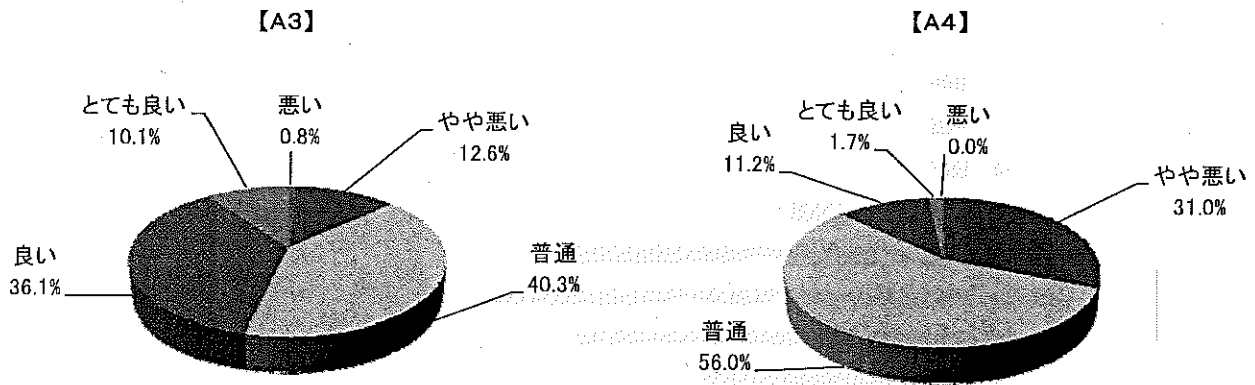
注文した料理	回答数(件)	注文した料理	回答数(件)
コーヒー	53件	静岡県産豚のリエット	3件
ホットプレスサンド	32件	アイ스티ー	3件
ドリンクセット	15件	ミネラルウォーター	2件
ケーキ	15件	あんぱん	2件
サンドイッチ	11件	ラスク	2件
お茶のシフォンケーキ	11件	ジュース	2件
カフェオレ	9件	オレンジジュース	2件
ツナホットプレスサンド	7件	アイスミルクティー	1件
アイスコーヒー	6件	アイスカフェオレ	1件
とろけるプリン	5件	ベーグル	1件
紅茶	5件	ミルクティプリン	1件
ペッパーポークホットプレスサンド	5件	メロンパン	1件
ミックスサンドイッチ	4件	クロワッサン	1件
かぼちゃプリン	4件		

A3 案内表示のわかりやすさ

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い
平成 26年度	回答数(件)	119	1	15	48	43	12
	割合(%)	100.0	0.8	12.6	40.3	36.1	10.1
平成 25年度	回答数(件)	120	1	11	57	40	11
	割合(%)	100.0	0.8	9.2	47.5	33.3	9.2

A4 メニューの種類

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い
平成 26年度	回答数(件)	116	0	36	65	13	2
	割合(%)	100.0	0.0	31.0	56.0	11.2	1.7
平成 25年度	回答数(件)	115	3	22	68	19	3
	割合(%)	100.0	2.6	19.1	59.1	16.5	2.6

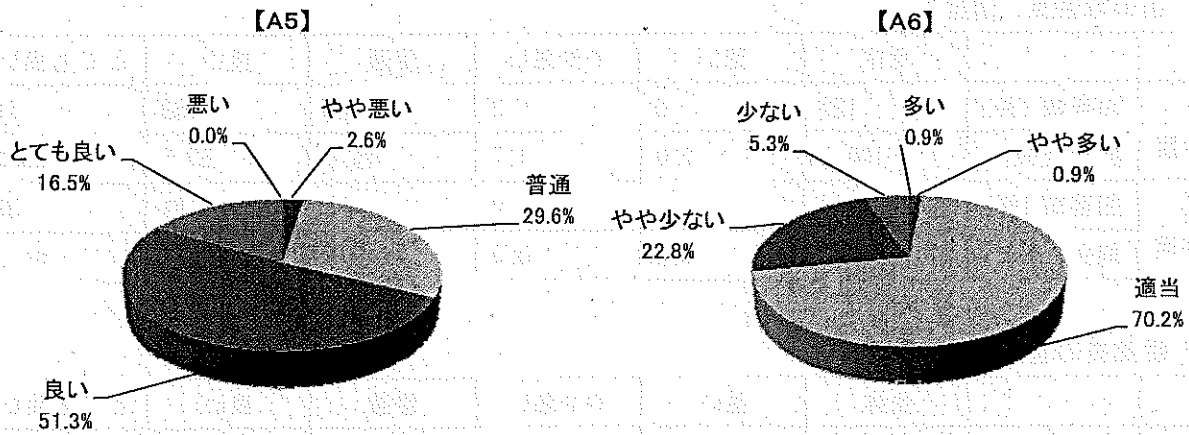


A5 味

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い
平成 26年度	回答数(件)	115	0	3	34	59	19
	割合(%)	100.0	0.0	2.6	29.6	51.3	16.5
平成 25年度	回答数(件)	120	1	4	42	51	22
	割合(%)	100.0	0.8	3.3	35.0	42.5	18.3

A6 量

		全体	多い	やや多い	適当	やや少ない	少ない
平成 26年度	回答数(件)	114	1	1	80	26	6
	割合(%)	100.0	0.9	0.9	70.2	22.8	5.3
平成 25年度	回答数(件)	117	1	4	90	20	2
	割合(%)	100.0	0.9	3.4	76.9	17.1	1.7

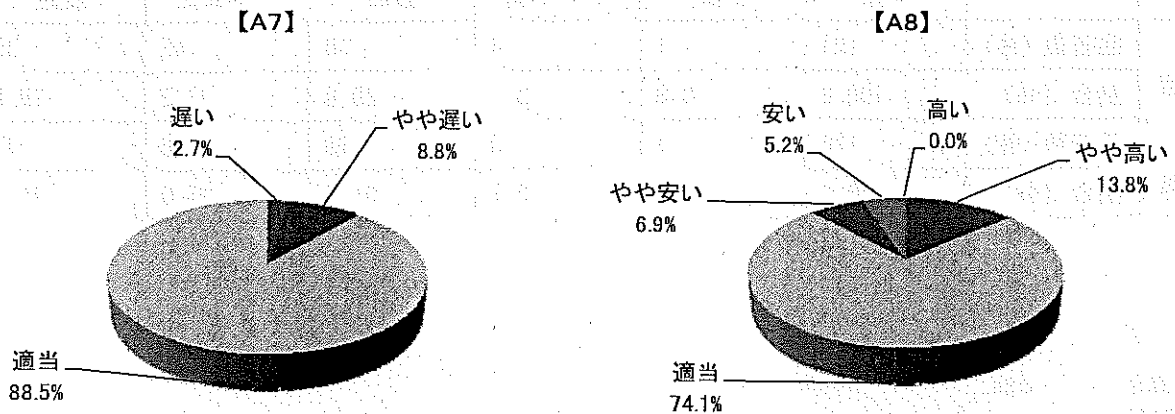


A 7 料理が出るまでの時間

		全体	遅い	やや遅い	適当
平成 26年度	回答数(件)	113	3	10	100
	割合(%)	100.0	2.7	8.8	88.5
平成 25年度	回答数(件)	113	0	6	107
	割合(%)	100.0	0.0	5.3	94.7

A 8 値段

		全体	高い	やや高い	適当	やや安い	安い
平成 26年度	回答数(件)	116	0	16	86	8	6
	割合(%)	100.0	0.0	13.8	74.1	6.9	5.2
平成 25年度	回答数(件)	118	1	13	93	8	3
	割合(%)	100.0	0.8	11.0	78.8	6.8	2.5



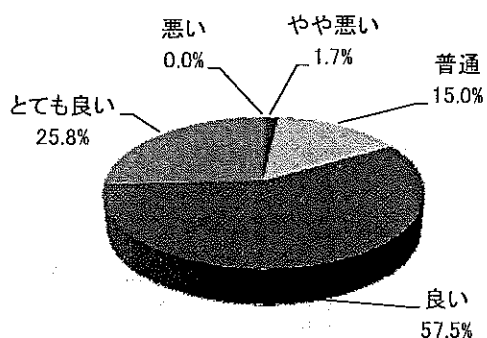
A9 店の雰囲気、清潔さ

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い
平成 26年度	回答数(件)	120	0	2	18	69	31
	割合(%)	100.0	0.0	1.7	15.0	57.5	25.8
平成 25年度	回答数(件)	120	0	0	21	61	38
	割合(%)	100.0	0.0	0.0	17.5	50.8	31.7

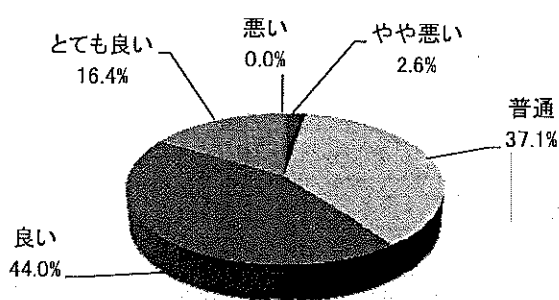
A10 従業員の言葉遣いや態度

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い
平成 26年度	回答数(件)	116	0	3	43	51	19
	割合(%)	100.0	0.0	2.6	37.1	44.0	16.4
平成 25年度	回答数(件)	118	0	3	29	56	30
	割合(%)	100.0	0.0	2.5	24.6	47.5	25.4

【A9】



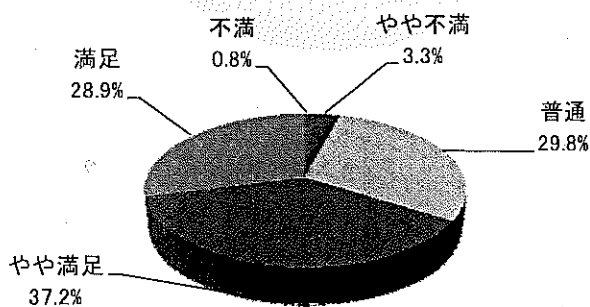
【A10】



A11 満足度

		全体	不満	やや不満	普通	やや満足	満足
平成 26年度	回答数(件)	121	1	4	36	45	35
	割合(%)	100.0	0.8	3.3	29.8	37.2	28.9
平成 25年度	回答数(件)	120	2	3	38	30	47
	割合(%)	100.0	1.7	2.5	31.7	25.0	39.2

【A11】



A12 不満や改善点(略)

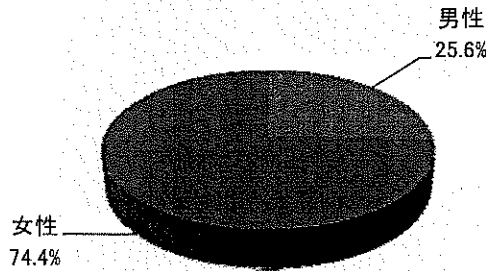
B 1 性別

		全体	男性	女性
平成 26年度	回答数(件)	121	31	90
	割合(%)	100.0	25.6	74.4
平成 25年度	回答数(件)	120	49	71
	割合(%)	100.0	40.8	59.2

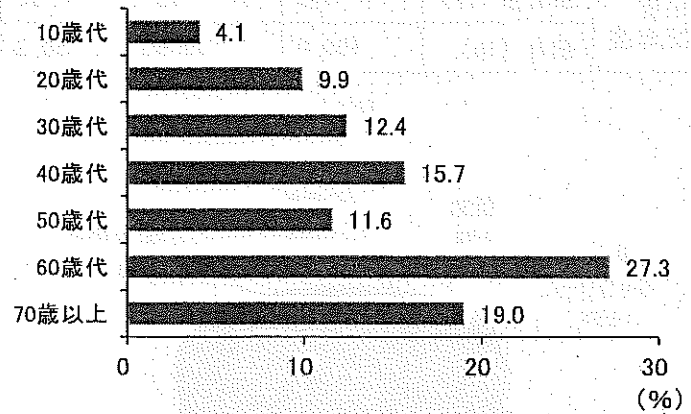
B 2 年齢

		全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
平成 26年度	回答数(件)	121	5	12	15	19	14	33	23
	割合(%)	100.0	4.1	9.9	12.4	15.7	11.6	27.3	19.0
平成 25年度	回答数(件)	120	6	9	11	23	21	33	17
	割合(%)	100.0	5.0	7.5	9.2	19.2	17.5	27.5	14.2

【B1】



【B2】



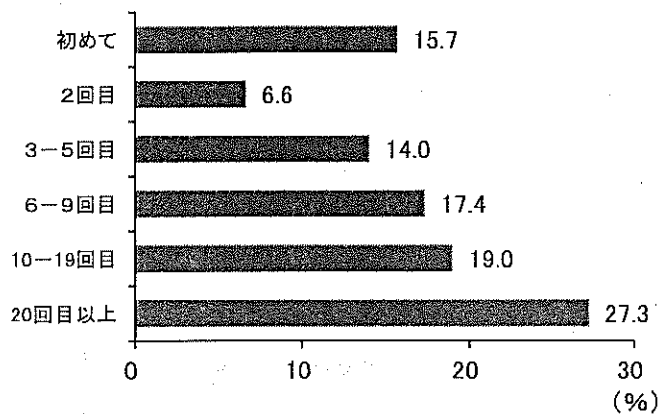
B 3 来館回数

		全体	初めて	2回目	3-5回目	6-9回目	10-19回目	20回目以上
平成 26年度	回答数(件)	121	19	8	17	21	23	33
	割合(%)	100.0	15.7	6.6	14.0	17.4	19.0	27.3
平成 25年度	回答数(件)	119	20	9	26	14	20	30
	割合(%)	100.0	16.8	7.6	21.8	11.8	16.8	25.2

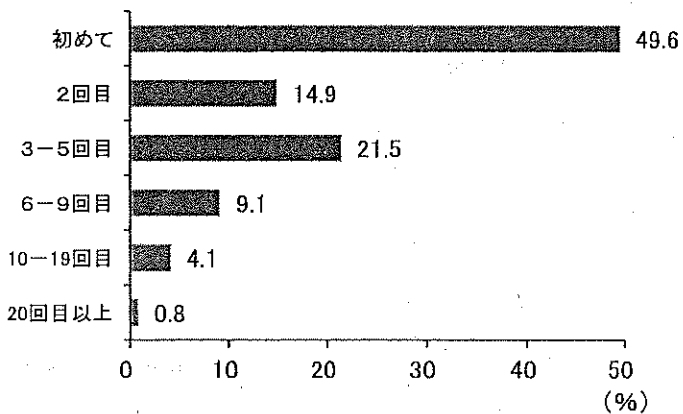
B 4 カフェの利用回数

		全体	初めて	2回目	3-5回目	6-9回目	10-19回目	20回目以上
平成 26年度	回答数(件)	121	60	18	26	11	5	1
	割合(%)	100.0	49.6	14.9	21.5	9.1	4.1	0.8
平成 25年度	回答数(件)	120	66	4	25	9	7	9
	割合(%)	100.0	55.0	3.3	20.8	7.5	5.8	7.5

【B3】



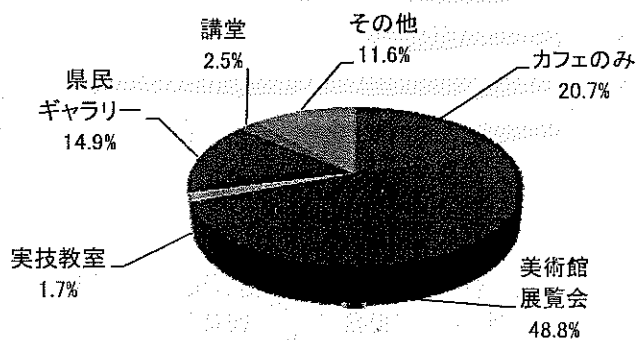
【B4】



B5 主な来館目的

		全体	カフェのみ	美術館 展覧会	実技教室	県民ギャ ラリー	講堂	その他
		平成 26年度	回答数(件)	121	25	59	2	18
	割合 (%)	100.0	20.7	48.8	1.7	14.9	2.5	11.6
平成 25年度	回答数(件)	120	15	70	5	16	3	11
	割合 (%)	100.0	12.5	58.3	4.2	13.3	2.5	9.2

【B5】



7 ミュージアム・ショップアンケート結果

(1) 実施数 (回答数)

アニマルワールド	97件
美少女の美術史	61件
静岡県立美術館コレクション展 風景解剖学	33件
合計	191件

(2) アンケート結果

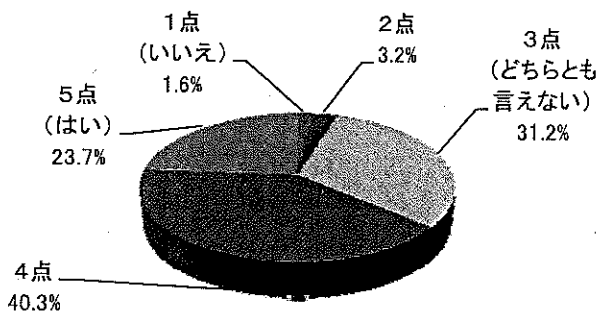
A1 品揃えの充実

		全体	1点 (いいえ)	2点	3点 (どちらとも 言えない)	4点	5点 (はい)
平成 26年度	回答数(件)	186	3	6	58	75	44
	割合(%)	100.0	1.6	3.2	31.2	40.3	23.7
平成 25年度	回答数(件)	164	4	11	45	52	52
	割合(%)	100.0	2.4	6.7	27.4	31.7	31.7

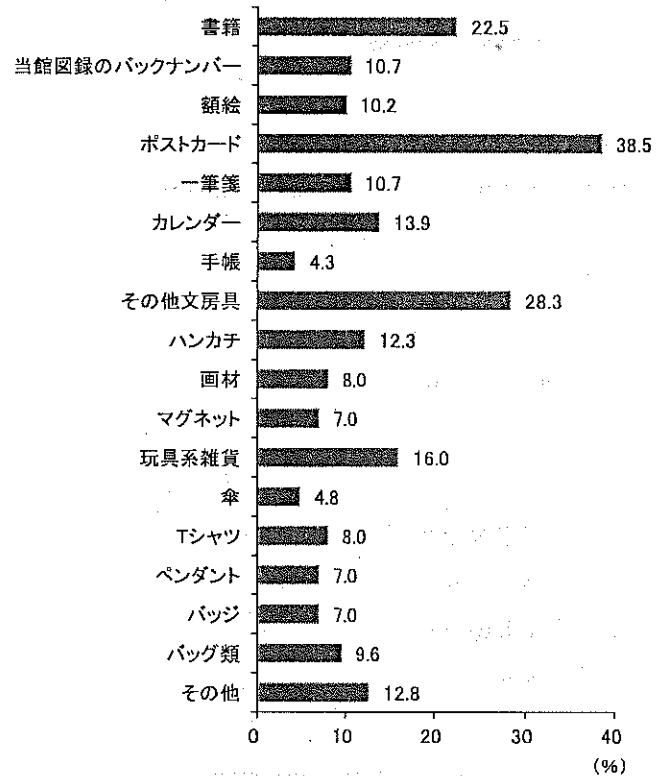
A2 充実してほしい商品 (複数回答)

		全体	書籍	当館図録 のバック ナンバー	額絵	ポストカ ード	一筆箋	カレンダ ー
平成 26年度	回答数(件)	187	42	20	19	72	20	26
	割合(%)	100.0	22.5	10.7	10.2	38.5	10.7	13.9
平成 25年度	回答数(件)	165	40	15	36	61	32	32
	割合(%)	100.0	24.2	9.1	21.8	37.0	19.4	19.4
		手帳	その他文 房具	ハンカチ	画材	マグネッ ト	玩具系雑 貨	傘
平成 26年度	回答数(件)	8	53	23	15	13	30	9
	割合(%)	4.3	28.3	12.3	8.0	7.0	16.0	4.8
平成 25年度	回答数(件)	19	54	17	16	10	32	4
	割合(%)	11.5	32.7	10.3	9.7	6.1	19.4	2.4
		Tシャツ	ペンダント	バッジ	バッグ類	その他		
平成 26年度	回答数(件)	15	13	13	18	24		
	割合(%)	8.0	7.0	7.0	9.6	12.8		
平成 25年度	回答数(件)	7	10	5	11	16		
	割合(%)	4.2	6.1	3.0	6.7	9.7		

【A1】



【A2】



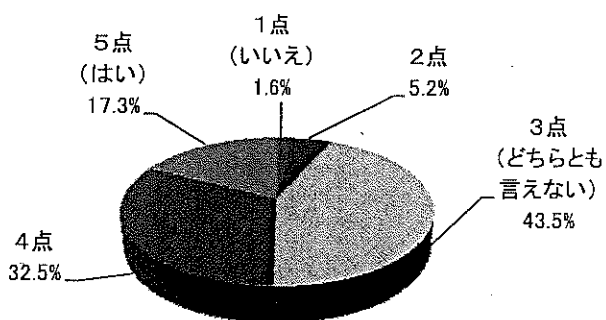
A3 価格は適当か

		全体	1点 (いいえ)	2点	3点 (どちらとも言えない)	4点	5点 (はい)
平成26年度	回答数(件)	191	3	10	83	62	33
	割合(%)	100.0	1.6	5.2	43.5	32.5	17.3
平成25年度	回答数(件)	169	1	8	70	43	47
	割合(%)	100.0	0.6	4.7	41.4	25.4	27.8

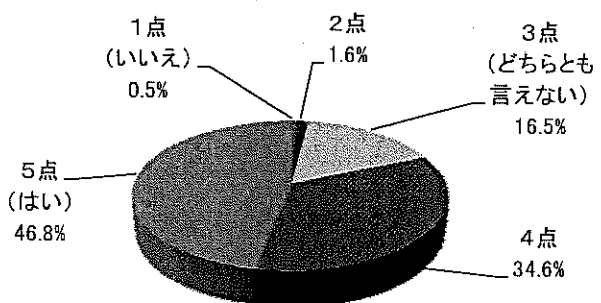
A4 従業員の対応

		全体	1点 (いいえ)	2点	3点 (どちらとも言えない)	4点	5点 (はい)
平成26年度	回答数(件)	188	1	3	31	65	88
	割合(%)	100.0	0.5	1.6	16.5	34.6	46.8
平成25年度	回答数(件)	169	2	2	34	44	87
	割合(%)	100.0	1.2	1.2	20.1	26.0	51.5

【A3】



【A4】



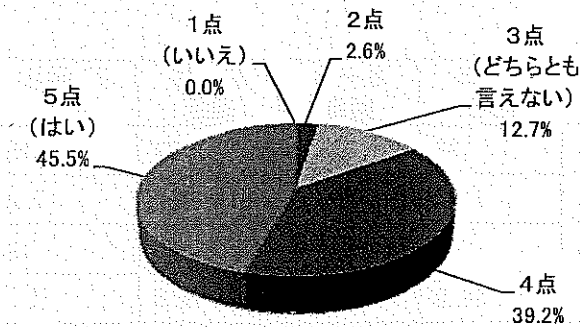
A 5 静岡県立美術館にふさわしい雰囲気か

		全体	1点 (いいえ)	2点	3点 (どちらとも 言えない)	4点	5点 (はい)
平成 26年度	回答数(件)	189	0	5	24	74	86
	割合(%)	100.0	0.0	2.6	12.7	39.2	45.5
平成 25年度	回答数(件)	167	2	8	23	48	86
	割合(%)	100.0	1.2	4.8	13.8	28.7	51.5

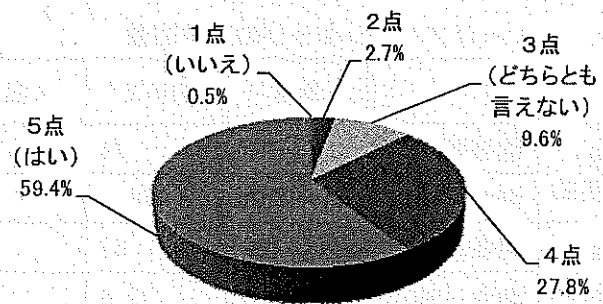
A 6 次回も来店したいか(満足度)

		全体	1点 (いいえ)	2点	3点 (どちらとも 言えない)	4点	5点 (はい)
平成 26年度	回答数(件)	187	1	5	18	52	111
	割合(%)	100.0	0.5	2.7	9.6	27.8	59.4
平成 25年度	回答数(件)	158	1	3	18	46	90
	割合(%)	100.0	0.6	1.9	11.4	29.1	57.0

【A5】



【A6】



A 7 ご意見・ご感想(略)

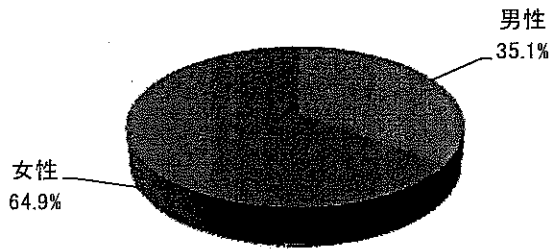
B 1 性別

		全体	男性	女性
平成 26年度	回答数(件)	191	67	124
	割合(%)	100.0	35.1	64.9
平成 25年度	回答数(件)	169	61	108
	割合(%)	100.0	36.1	63.9

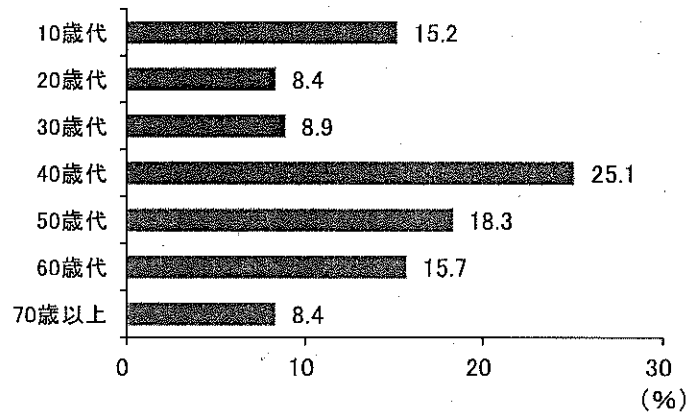
B 2 年齢

		全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
平成 26年度	回答数(件)	191	29	16	17	48	35	30	16
	割合(%)	100.0	15.2	8.4	8.9	25.1	18.3	15.7	8.4
平成 25年度	回答数(件)	169	10	10	18	30	31	38	32
	割合(%)	100.0	5.9	5.9	10.7	17.8	18.3	22.5	18.9

【B1】



【B2】



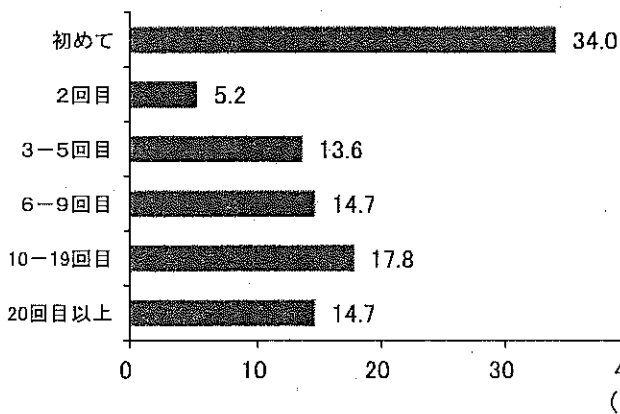
B3 来館回数

		全体	初めて	2回目	3-5回目	6-9回目	10-19回目	20回目以上
		平成26年度	回答数(件)	191	65	10	26	28
	割合(%)	100.0	34.0	5.2	13.6	14.7	17.8	14.7
平成25年度	回答数(件)	169	41	20	26	26	21	35
	割合(%)	100.0	24.3	11.8	15.4	15.4	12.4	20.7

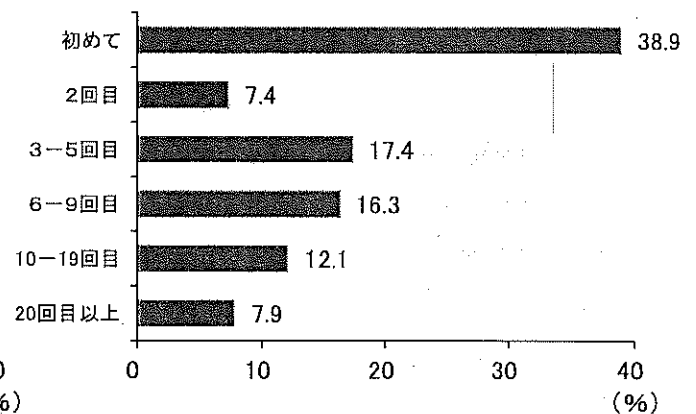
B4 ミュージアム・ショップの利用回数

		全体	初めて	2回目	3-5回目	6-9回目	10-19回目	20回目以上
		平成26年度	回答数(件)	190	74	14	33	31
	割合(%)	100.0	38.9	7.4	17.4	16.3	12.1	7.9
平成25年度	回答数(件)	169	67	15	44	14	16	13
	割合(%)	100.0	39.6	8.9	26.0	8.3	9.5	7.7

【B3】



【B4】



8 美術館ホームページアンケート結果

(1) 実施数 (回答数)

189 件

(2) アンケート結果

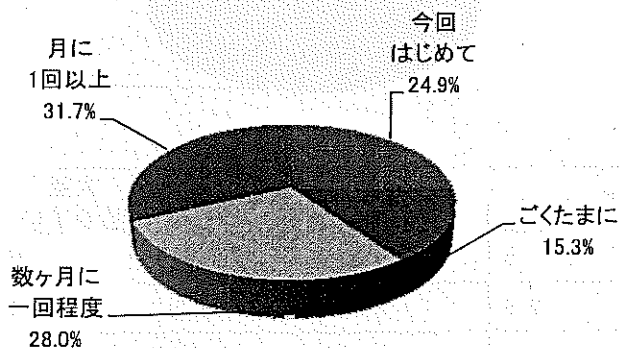
問1. 当ホームページをどのくらいの頻度でご覧になりますか？

		全体	今回 はじめて	ごくたまに	数ヶ月に 1回程度	月に1回 以上
平成 26年度	回答数 (件)	189	47	29	53	60
	割合 (%)	100.0	24.9	15.3	28.0	31.7
平成 25年度	回答数 (件)	188	58	37	51	42
	割合 (%)	100.0	30.9	19.7	27.1	22.3

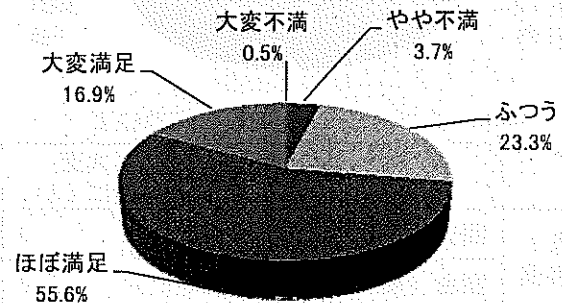
問2. 当ホームページの情報内容について

		全体	大変不満	やや不満	ふつう	ほぼ満足	大変満足
平成 26年度	回答数 (件)	189	1	7	44	105	32
	割合 (%)	100.0	0.5	3.7	23.3	55.6	16.9
平成 25年度	回答数 (件)	188	0	4	45	108	31
	割合 (%)	100.0	0.0	2.1	23.9	57.4	16.5

【問1】



【問2】



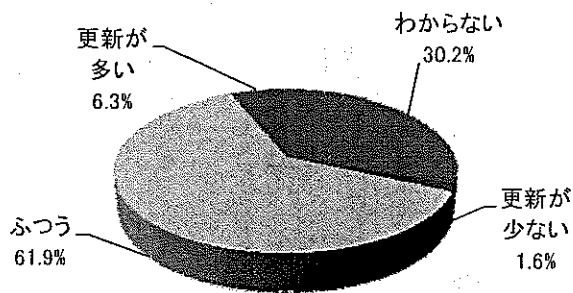
問3. 当ホームページの更新頻度について

		全体	わからない	更新が少ない	ふつう	更新が多い
平成 26年度	回答数(件)	189	57	3	117	12
	割合(%)	100.0	30.2	1.6	61.9	6.3
平成 25年度	回答数(件)	188	68	6	107	7
	割合(%)	100.0	36.2	3.2	56.9	3.7

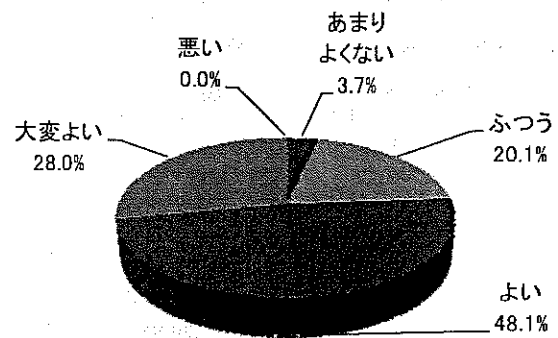
問4. 当ホームページのデザインについて

		全体	悪い	あまり よくない	ふつう	よい	大変よい
平成 26年度	回答数(件)	189	0	7	38	91	53
	割合(%)	100.0	0.0	3.7	20.1	48.1	28.0
平成 25年度	回答数(件)	188	0	4	19	106	59
	割合(%)	100.0	0.0	2.1	10.1	56.4	31.4

【問3】



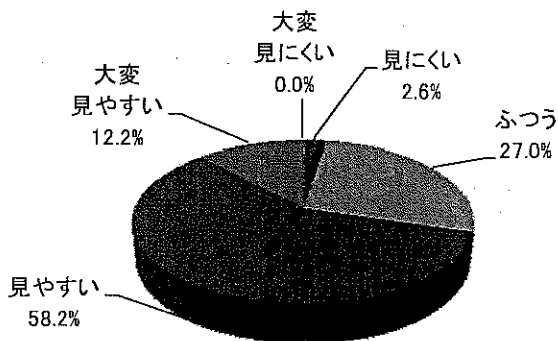
【問4】



問5. 当ホームページの見やすさについて

		全体	大変 見にくい	見にくい	ふつう	見やすい	大変 見やすい
平成 26年度	回答数(件)	189	0	5	51	110	23
	割合(%)	100.0	0.0	2.6	27.0	58.2	12.2
平成 25年度	回答数(件)	188	0	6	47	107	28
	割合(%)	100.0	0.0	3.2	25.0	56.9	14.9

【問5】



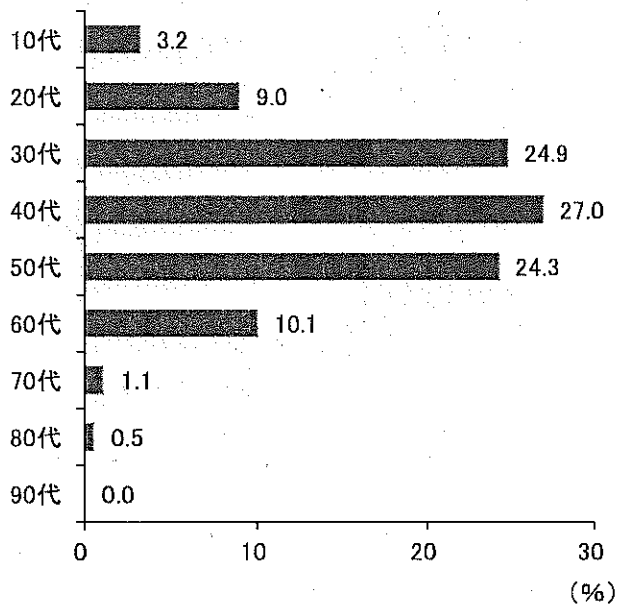
※1 年齢

		全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
平成 26年度	回答数(件)	189	6	17	47	51	46	19	2	1	0
	割合(%)	100.0	3.2	9.0	24.9	27.0	24.3	10.1	1.1	0.5	0.0
平成 25年度	回答数(件)	188	3	28	53	59	28	17	0	0	0
	割合(%)	100.0	1.6	14.9	28.2	31.4	14.9	9.0	0.0	0.0	0.0

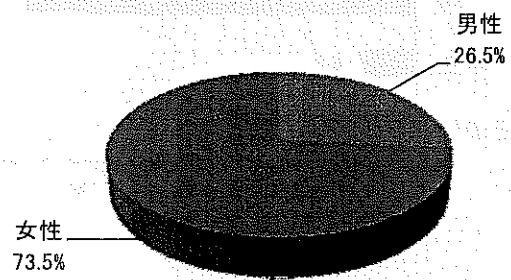
※2 性別

		全体	男性	女性
平成 26年度	回答数(件)	189	50	139
	割合(%)	100.0	26.5	73.5
平成 25年度	回答数(件)	188	51	137
	割合(%)	100.0	27.1	72.9

【※1】



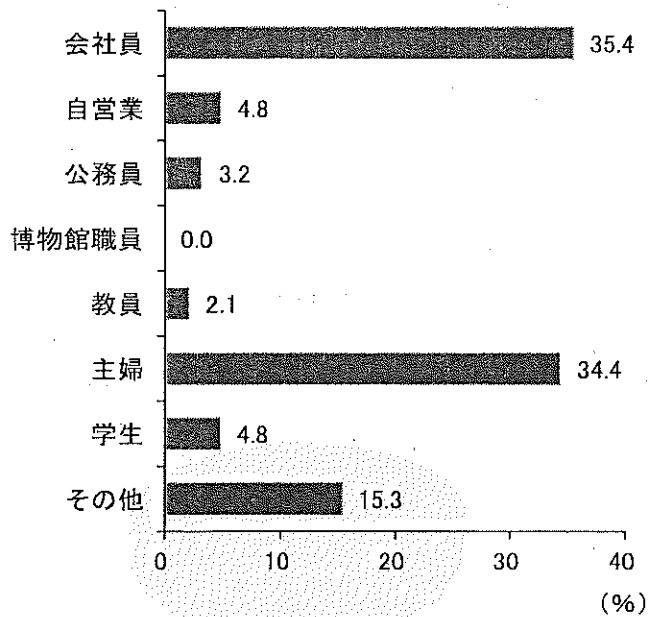
【※2】



※3 職業

		全体	会社員	自営業	公務員	博物館職員	教員	主婦	学生	その他
平成26年度	回答数(件)	189	67	9	6	0	4	65	9	29
	割合(%)	100.0	35.4	4.8	3.2	0.0	2.1	34.4	4.8	15.3
平成25年度	回答数(件)	188	81	8	2	0	3	55	8	31
	割合(%)	100.0	43.1	4.3	1.1	0.0	1.6	29.3	4.3	16.5

【※3】



9 自由意見

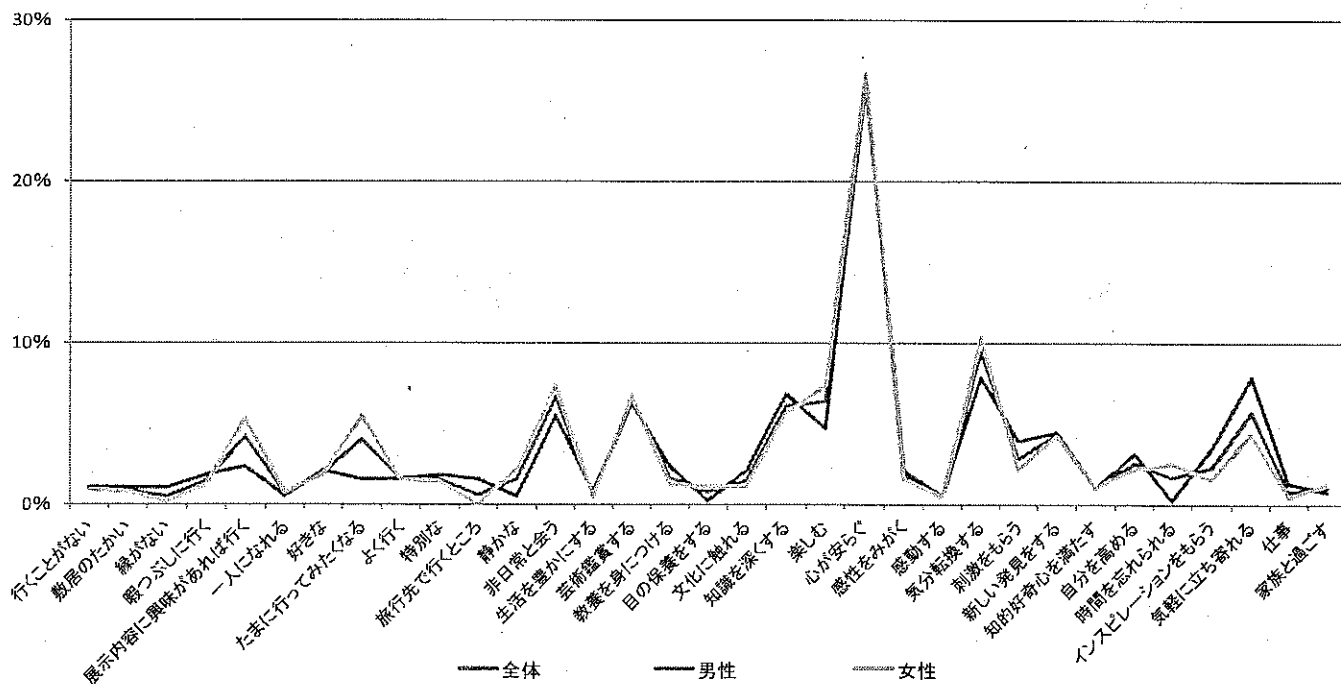
(1) 生活において「美術館」の存在・位置付け

あなたの生活において「美術館」はどのような存在・位置付けですか。とたずねたところ、1,017件の自由意見があり、主要なキーワードを元に分類した。74項目の分類の内、少数回答を除いた33項目について集計し掲載する。

<性別による比較>

分類	全体	男性	女性
件数 (件)	1,017	380	637
行くことがない	1.0	1.1	0.9
敷居のたかい	0.9	1.1	0.8
縁がない	0.5	1.1	0.2
暇つぶしに行く	1.5	1.8	1.3
展示内容に興味があれば行く	4.2	2.4	5.3
一人になれる	0.7	0.5	0.8
好きな	2.0	2.1	1.9
たまに行ってみたくなる	4.0	1.6	5.5
よく行く	1.6	1.6	1.6
特別な	1.6	1.8	1.4
旅行先で行くところ	0.6	1.6	0.0
静かな	1.6	0.5	2.2
非日常と会う	6.7	5.5	7.4
生活を豊かにする	0.6	0.8	0.5
芸術鑑賞する	6.6	6.3	6.8
教養を身につける	1.7	2.4	1.3
目の保養をする	0.8	0.3	1.1
文化に触れる	1.5	2.1	1.1
知識を深くする	6.1	6.8	5.7
楽しむ	6.4	4.7	7.4
心が安らぐ	26.5	26.3	26.7
感性をみがく	1.8	2.1	1.6
感動する	0.5	0.5	0.5
気分転換する	9.4	7.9	10.4
刺激をもらう	2.9	3.9	2.2
新しい発見をする	4.3	4.5	4.2
知的好奇心を満たす	1.1	1.1	1.1
自分を高める	2.6	3.2	2.2
時間を忘れられる	1.7	0.3	2.5
インスピレーションをもらう	2.3	3.4	1.6
気軽に立ち寄れる	5.7	7.9	4.4
仕事	0.8	1.3	0.5
家族と過ごす	1.1	0.8	1.3

単位：%



順位	全体		男性		女性	
	活動	割合 (%)	活動	割合 (%)	活動	割合 (%)
1位	心が安らぐ	26.5	心が安らぐ	26.3	心が安らぐ	26.7
2位	気分転換する	9.4	気軽に立ち寄れる	7.9	気分転換する	10.4
3位	非日常と会う	6.7	気分転換する		楽しむ	7.4
4位	芸術鑑賞する	6.6	知識を深くする	6.8	非日常と会う	
5位	楽しむ	6.4	芸術鑑賞する	6.3	芸術鑑賞する	6.8

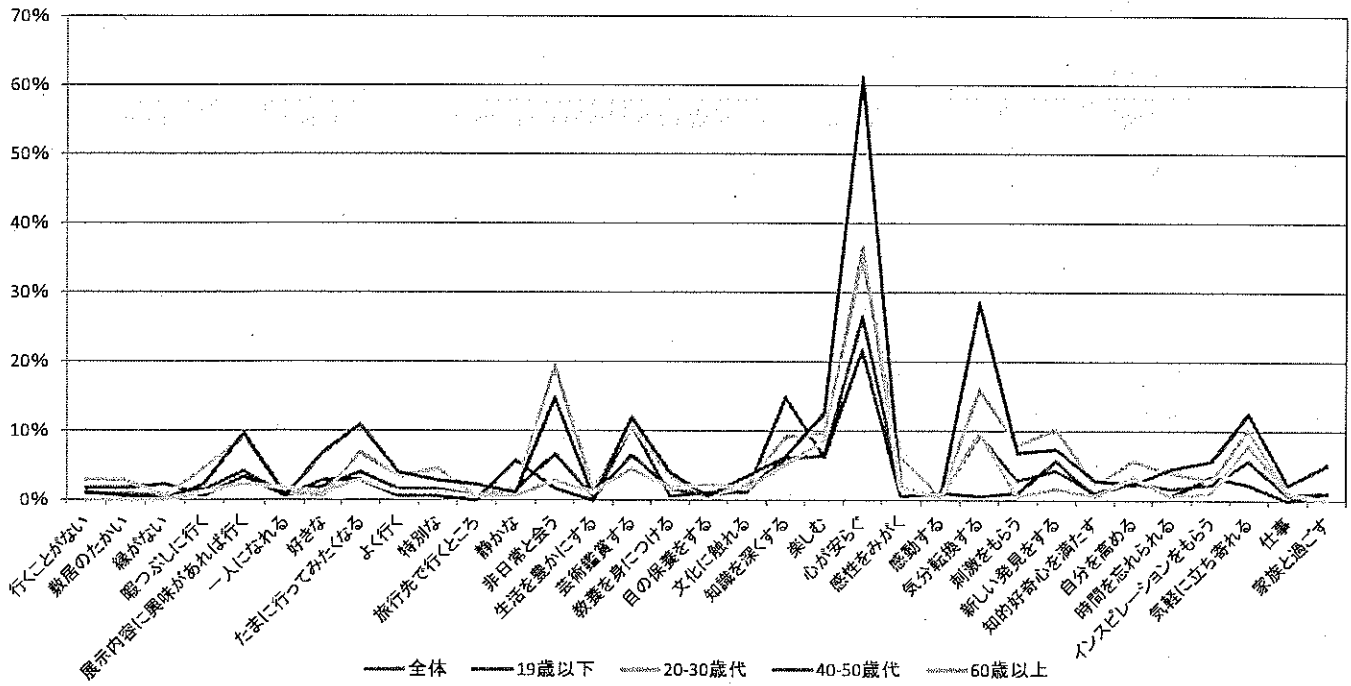
単位：%

性別による比較は、<男性>では、「心が安らぐ」26.3%、「気軽に立ち寄れる」「気分転換する」7.9%、「知識を深くする」6.8%、「芸術鑑賞する」6.3%の順になっている。<女性>では、「心が安らぐ」26.7%、「気分転換する」10.4%、「楽しむ」「非日常と会う」7.4%、「芸術鑑賞する」6.8%の順になっている。<全体>との差異は、<男性>では2位「気軽に立ち寄れる」7.9%、4位「知識を深くする」6.8%となっている。<女性>では、3位「楽しむ」7.4%となっている。

<年齢層による比較>

分類	全体	19歳以下	20-30歳代	40-50歳代	60歳以上
件数(件)	1,017	175	307	365	170
行くことがない	1.0	1.7	2.9	1.1	0.0
敷居のたかい	0.9	1.7	2.9	0.6	0.0
縁がない	0.5	2.3	0.6	0.0	0.0
暇つぶしに行く	1.5	0.6	4.6	2.3	1.1
展示内容に興味があれば行く	4.2	3.4	9.1	9.7	2.3
一人になれる	0.7	0.6	1.1	0.6	1.7
好きな	2.0	2.9	0.6	6.9	1.1
たまに行ってみたくなる	4.0	2.9	6.9	10.9	2.9
よく行く	1.6	0.6	3.4	4.0	1.1
特別な	1.6	0.6	4.6	2.9	1.1
旅行先で行くところ	0.6	0.0	0.6	2.3	0.6
静かな	1.6	5.7	1.7	1.1	0.6
非日常と会う	6.7	1.7	19.4	14.9	2.9
生活を豊かにする	0.6	0.0	1.7	0.6	1.1
芸術鑑賞する	6.6	10.9	10.9	12.0	4.6
教養を身につける	1.7	0.6	3.4	4.0	1.7
目の保養をする	0.8	1.1	0.6	0.6	2.3
文化に触れる	1.5	1.1	2.3	3.4	1.7
知識を深くする	6.1	14.9	9.1	6.3	5.1
楽しむ	6.4	6.3	9.7	12.6	8.6
心が安らぐ	26.5	21.7	34.9	61.1	36.6
感性をみがく	1.8	0.6	6.3	1.7	1.7
感動する	0.5	1.1	0.6	0.6	0.6
気分転換する	9.4	0.6	16.0	28.6	9.7
刺激をもらう	2.9	1.1	8.0	6.9	0.6
新しい発見をする	4.3	5.7	10.3	7.4	1.7
知的好奇心を満たす	1.1	0.6	2.3	2.9	0.6
自分を高める	2.6	3.4	5.7	2.3	3.4
時間を忘れられる	1.7	0.6	4.0	4.6	0.6
インスピレーションをもらう	2.3	3.4	2.9	5.7	1.1
気軽に立ち寄れる	5.7	2.3	10.3	12.6	8.0
仕事	0.8	0.0	1.1	2.3	1.1
家族と過ごす	1.1	1.1	0.0	5.1	0.0

単位：%



	全体		19歳以下		20-30歳代		40-50歳代		60歳以上	
1位	心が安らぐ	26.5	心が安らぐ	21.7	心が安らぐ	34.9	心が安らぐ	61.1	心が安らぐ	36.6
2位	気分転換する	9.4	知識を深くする	14.9	非日常と会う	19.4	気分転換する	28.6	気分転換する	9.7
3位	非日常と会う	6.7	芸術鑑賞する	10.9	気分転換する	16.0	非日常と会う	14.9	楽しむ	8.6
4位	芸術鑑賞する	6.6	楽しむ	6.3	芸術鑑賞する	10.9	楽しむ	12.6	気軽に立ち寄れる	8.0
5位	楽しむ	6.4	静かな 新しい発見をする	5.7	新しい発見をする 気軽に立ち寄れる	10.3	気軽に立ち寄れる		知識を深くする	5.1

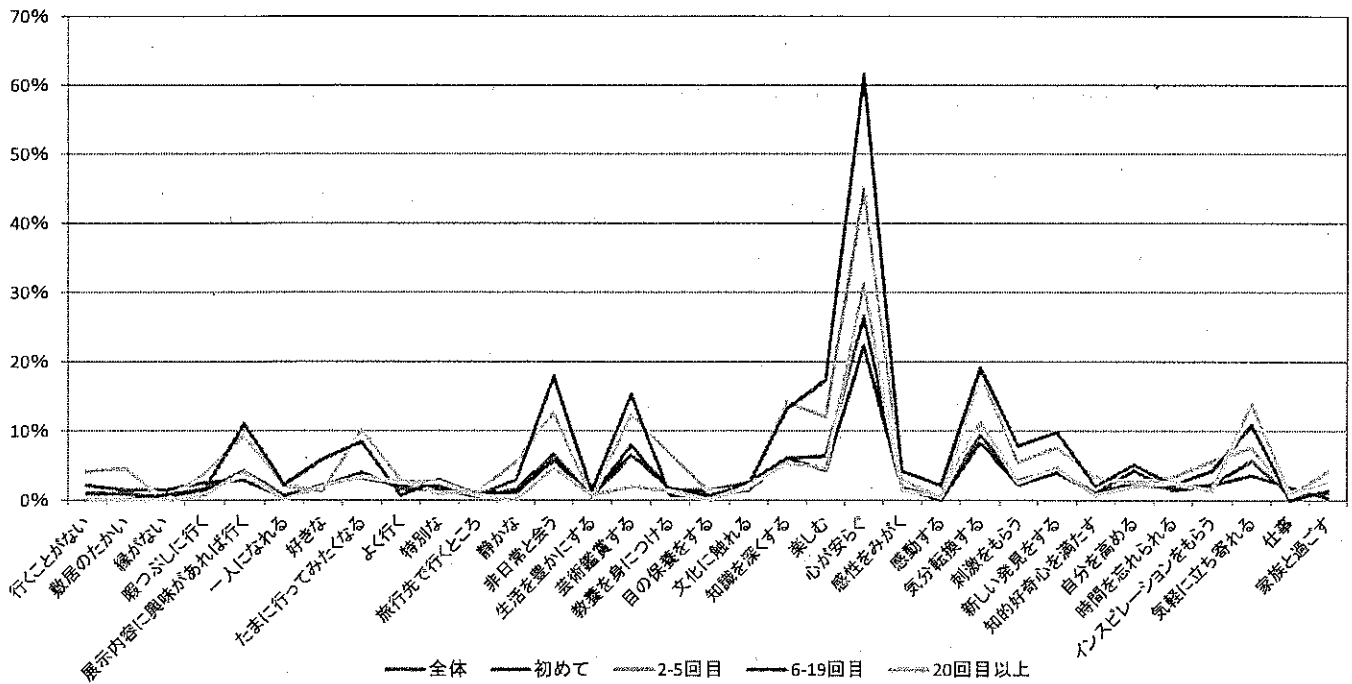
単位：%

年齢による比較は、<19歳以下>では、「心が安らぐ」21.7%、「知識を深くする」14.9%、「芸術鑑賞する」10.9%、「楽しむ」6.3%、「静かな」「新しい発見をする」5.7%の順になっている。<20-30歳代>では、「心が安らぐ」34.9%、「非日常と会う」19.4%、「気分転換する」16.0%、「芸術鑑賞する」10.9%、「新しい発見をする」「気軽に立ち寄れる」10.3%の順になっている。<40-50歳代>では、「心が安らぐ」61.1%、「気分転換する」28.6%、「非日常と会う」14.9%、「楽しむ」「気軽に立ち寄れる」12.6%の順になっている。<60歳以上>では、「心が安らぐ」36.6%、「気分転換する」9.7%、「楽しむ」8.6%、「気軽に立ち寄れる」8.0%、「知識を深くする」5.1%の順になっている。<全体>との差異は、<19歳以下>では2位「知識を深くする」14.9%、5位「静かな」「新しい発見をする」5.7%となっている。<20-30歳代>では、5位「新しい発見をする」「気軽に立ち寄れる」10.3%となっている。<40-50歳代>では、4位「気軽に立ち寄れる」12.6%となっている。<60歳以上>では、3位「楽しむ」8.6%、4位「気軽に立ち寄れる」8.0%、5位「知識を深くする」5.1%となっている。

<来館回数による比較>

分類	全体	初めて	2-5回目	6-19回目	20回目以上
件数(件)	1,017	277	310	276	150
行くことがない	1.0	2.2	4.1	0.0	0.0
敷居のたかい	0.9	1.4	4.6	0.0	0.0
縁がない	0.5	1.4	0.0	0.8	0.0
暇つぶしに行く	1.5	2.5	3.8	1.6	0.7
展示内容に興味があれば行く	4.2	2.9	9.3	11.1	4.0
一人になれる	0.7	0.4	2.1	2.2	0.0
好きな	2.0	2.2	1.3	6.0	2.0
たまに行ってみたくなる	4.0	3.2	10.2	8.4	3.3
よく行く	1.6	2.2	3.0	0.7	2.7
特別な	1.6	2.2	0.9	2.9	2.7
旅行先で行くところ	0.6	1.1	1.2	0.7	0.7
静かな	1.6	1.1	5.5	2.9	0.0
非日常と会う	6.7	5.8	12.7	17.8	4.7
生活を豊かにする	0.6	0.7	0.4	1.5	0.7
芸術鑑賞する	6.6	7.9	12.4	15.3	2.0
教養を身につける	1.7	1.4	6.8	0.8	1.3
目の保養をする	0.8	1.4	1.3	0.7	0.0
文化に触れる	1.5	2.5	1.7	2.1	2.0
知識を深くする	6.1	6.1	14.2	13.2	5.3
楽しむ	6.4	4.3	12.0	17.4	4.7
心が安らぐ	26.5	22.4	45.1	61.6	31.3
感性をみがく	1.8	1.8	3.0	4.3	1.3
感動する	0.5	0.0	0.4	2.1	0.7
気分転換する	9.4	8.3	18.2	19.2	11.3
刺激をもらう	2.9	2.2	5.5	7.8	2.7
新しい発見をする	4.3	4.0	7.6	9.9	4.7
知的好奇心を満たす	1.1	1.1	3.3	2.0	0.7
自分を高める	2.6	4.3	2.5	5.2	2.0
時間を忘れられる	1.7	1.4	3.4	2.2	2.7
インスピレーションをもらう	2.3	2.2	5.5	4.3	1.3
気軽に立ち寄れる	5.7	3.6	7.6	10.9	14.0
仕事	0.8	1.8	0.9	0.0	0.7
家族と過ごす	1.1	0.4	4.1	1.5	2.7

単位：%



	全体		初めて		2-5回目		6-19回目		20回目以上	
	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合
1位	心が安らぐ	26.5	心が安らぐ	22.4	心が安らぐ	45.1	心が安らぐ	61.6	心が安らぐ	31.3
2位	気分転換する	9.4	気分転換する	8.3	気分転換する	18.2	気分転換する	19.2	気軽に立ち寄れる	14.0
3位	非日常と会う	6.7	芸術鑑賞する	7.9	知識を深くする	14.2	非日常と会う	17.8	気分転換する	11.3
4位	芸術鑑賞する	6.6	知識を深くする	6.1	非日常と会う	12.7	楽しむ	17.4	知識を深くする	5.3
5位	楽しむ	6.4	非日常と会う	5.8	芸術鑑賞する	12.4	芸術鑑賞する	15.3	楽しむ 非日常と会う 新しい発見をする	4.7

単位：%

来館回数による比較は、＜初めて＞では、「心が安らぐ」22.4%、「気分転換する」8.3%、「芸術鑑賞する」7.9%、「知識を深くする」6.1%、「非日常と会う」5.8%の順になっている。＜2-5回目＞では、「心が安らぐ」45.1%、「気分転換する」18.2%、「知識を深くする」14.2%、「非日常と会う」12.7%、「芸術鑑賞する」12.4%の順になっている。＜6-19回目＞では、「心が安らぐ」61.6%、「気分転換する」19.2%、「非日常と会う」17.8%、「楽しむ」17.4%、「芸術鑑賞する」15.3%の順になっている。＜20回目以上＞では、「心が安らぐ」31.3%、「気軽に立ち寄れる」14.0%、「気分転換する」11.3%、「知識を深くする」5.3%、「楽しむ」「非日常と会う」「新しい発見をする」4.7%の順になっている。＜全体＞との差異は、＜初めて＞では4位「知識を深くする」6.1%、5位「非日常と会う」5.8%となっている。＜2-5回目＞では、3位「知識を深くする」14.2%となっている。＜20回目以上＞では、2位「気軽に立ち寄れる」14.0%、4位「知識を深くする」5.3%、5位「非日常と会う」「新しい発見をする」4.7%となっている。

(2) 展覧会または当美術館についてのご指摘やご意見

この展覧会または当美術館についてのご指摘やご意見等がありましたら、ご自由に記入ください。とたずねたところ、384件の自由意見があり、分類・性質別に整理をし掲載する。(重複を割愛)

自由意見の分類・性質別件数

	1			2			3			4			5		
	今回の展覧会			企画全般			展示方法			施設・環境			運営・スタッフ		
	A 感想	B 要望	C 苦情	A 感想	B 要望	C 苦情	A 感想	B 要望	C 苦情	A 感想	B 要望	C 苦情	A 感想	B 要望	C 苦情
アニマルワールド	57	8	3	10	20	1	12	8	2	13	2	11	7	16	2
美少女の美術史	50	20	2	6	20	0	3	4	0	5	6	6	4	6	2
静岡県立美術館 コレクション展 風景解剖学	29	4	1	4	11	0	4	2	0	5	2	8	2	5	1
全 体	136	32	6	20	51	1	19	14	2	23	10	25	13	27	5

単位：件

【今回の展覧会】 A感想

- 解説文が親しみやすく結構でした。(女性/60歳代)
- 企画展も水辺のアートもロダンも見応えのあるものだった。久しぶりに良い展示だった。(女性/20歳代)
- 作品数がやや多く、やや疲れた。(男性/60歳代)
- 主として若冲を展示される時に遠路はるばる来ております。今後も同じ気持ちですが、風景画の時に来てみたいです。(男性/60歳代)
- いろいろな日本画家の墨絵がすばらしかったです。またいろいろな企画展をお願いします。(女性/30歳代)
- テーマ設定の仕方はおもしろいと思います。日本絵画の展覧会があればまた来ます。(男性/20歳代)
- これからもがんばってください。(女性/50歳代)
- とても中味があり良かった。(男性/50歳代)
- 今回の展覧会は思っていたよりとても良かった。(男性/40歳代)
- 観点を示し表現されているのが良かった。(女性/60歳代)
- 良かったです。子ども向きと勘違いしていました。予想外に good。(女性/60歳代)
- 展覧会テーマが若冲の絵から発展していますが、もう少し深く掘り下げては？(男性/50歳代)
- 企画が子どもにもおもしろいのと夏休みに当たるので、低学年の子どもが多かった。とても良いと思います。(女性/70歳以上)
- 良い作品を見せていただいて感謝です。(男性/70歳以上)
- アニマルワールドの企画はとても良かった。(女性/40歳代)
- 今回の展覧会はポスターを見た時に、鳥獣戯画の類が多いのかなと思った。(男性/30歳代)
- 若冲が好きなのでおもしろかったです。(女性/20歳代)
- 動物が好きで絵も好きなので良かった。(男性/40歳代)

- ゆったり観られて良かった。好きな作者の絵は何度観ても良いものです。(女性/60歳代)
- 微笑ましいものも多くて楽しかったです。見飽きない作品が多かったです。(女性/40歳代)
- 動物という観点からの展示がおもしろかった。ポスターの絵が良かった。(男性/40歳代)
- 思いがけない作品が観られて良かった。蘆雪のかわうそや犬がかわいかった。(女性/50歳代)
- 多くの動物の作品を集めてすばらしかった。(男性/60歳代)
- 子どもたちにもいろいろな展示を見せてあげたいです。(女性/30歳代)
- 前にテレビで伊藤若冲の絵を見ました。今日は本物を見ました。(男性/12歳以下)
- 自分の好きな画家の絵が観られて満足しました。(女性/40歳代)
- 展覧会のチラシのインパクトが強かったです。とても楽しかったです。(女性/13~19歳)
- キャプションが興味深い。上から目線ではなく親しみやすい。(女性/50歳代)
- すばらしい企画です。貴重な作品に出会えました。(男性/60歳代)
- 学芸員さんの熱意を感じた。(男性/60歳代)
- 猫がいる場所を教えてくださいました。(女性/40歳代)
- カードの裏の絵の実物を見ることができました。(女性/60歳代)
- アニマル展は子どもたちが嬉しそうに観ていました。良い展示だったと思います。(女性/50歳代)
- 今回は色彩が豊かな作品が多く、もっと何度も見に来れば良かったと思いました。(女性/50歳代)
- ボランティアの方とお話ししなかったら、蘆雪の「人物花鳥図巻」が大発見だと気が付きませんでした。(男性/40歳代)
- とても楽しかったです。つれあいが野鳥に詳しいので鳥たちのことを教えてもらいながら楽しめました。(女性/60歳代)
- 事前に調査不足かもしれませんが、目が悪くなったせいか細かい作品がよく見えない。拡大するものを持参する必要が今回はあったと思った。(男性/60歳代)
- 動物だけでなく植物の描写にも目がいききました。動物と植物の関係性からも見えてくることもありそうです。(女性/40歳代)
- 動物に関していろいろな作品があって楽しめました。海外の作品や近代~現代の作品がもう少しあればもっと良かった。(女性/30歳代)
- 今回の絵のコメントがいつもと違っていておもしろかった。(女性/30歳代)
- 個人蔵が多く、動物と人との関係がおもしろく思いました。子どもさんにもとっつきやすいと思います。(女性/40歳代)
- 図録が完売だったのが、嬉しくもあり寂しくもあり。明日で最終日だったので実見できて本当に嬉しかったです。企画者に感謝の気持ちでいっぱいです。(女性/20歳代)
- チラシの若冲の絵を見て心惹かれるものがあり、また動物絵画を見るのは心和む感じがして好きなので、ぜひ見に行きたいと思って足を運びました。今日一日だけでも来る時間があって良かったです。(女性/30歳代)
- 好きな若冲や他の作家の作品の知らなかった物にも出会えた。楽しかった。東京から遠かったが、来てみて良かった。(女性/60歳代)
- けやきがきれい。今回のアニマルワールドは、もっと猫がいたらもっと嬉しかったです。でもすばらしかった。(女性/40歳代)
- とても興味深くおもしろい展示でした。解説もとっつきやすかったです。(女性/30歳代)
- 年齢的な理由で、アニメやいわゆるマンガチックのものが身近になかったせいか興味がうすかったが、

- 絵画的なものは楽しめた。(女性/60歳代)
- 孫がもう少しゆっくり見てくれるとよかったのに、それが残念でした。(女性/60歳代)
 - 全体的におもしろかったが、パンフレット等はちょっとキッチュよいか。(男性/40歳代)
 - 今回のものに関心が持てたので来ました。(女性/40歳代)
 - 展覧会の解説が名文だった。じっくり考えたい少女論のことについて書いてあったのだが、図録になく、解説文のみコピーがほしかったが、無理とのことで全文書き写した。2時間かかった。(男性/40歳代)
 - 萌え系のアニメものが多かった。(女性/13~19歳)
 - ちょっと引き気味に見に来ましたが、深く広く扱っていて非常におもしろかった。(男性/40歳代)
 - 静岡は時折来ることがあるので、機会があればまた来たいと思います。(男性/40歳代)
 - 美少女を普段とはまた違う視点からとらえることができた。内面を垣間見た気がした。(男性/40歳代)
 - 名古屋には来ないのですか？そうしたら再度行きます。(女性/20歳代)
 - とても楽しくてポップで好きな展覧会でした。(女性/13~19歳)
 - とても興味のわきやすいテーマでした。様々なジャンルの物が観られておもしろかったです。(女性/20歳代)
 - 今回の展示を前から楽しみにしていました。普段目にするのでできない作品をたくさん観られたし、内容も新鮮で、また来たいです。(女性/20歳代)
 - 若者向けのものが多かったように思います。私個人、絵よりも物の方が好きです。(女性/20歳代)
 - 動画を流している作品がいくつかありましたが、やはり一つの画面で一つの作品の方が観やすいと思います。(男性/20歳代)
 - 中原淳一や夢二ほか、質の高い作品がありましたが、ポスターからはそれがわかりませんでした。(女性/60歳代)
 - 初めて来たが、良いと思う。(男性/30歳代)
 - 昔の美人画から近代~現代のマンガ・アニメまで長い時間を一つのテーマから眺めることができ興味深かったです。友達にもぜひ勧めたい。(女性/13~19歳)
 - 日本人が昔から現実的に女の子を描かないというのがわかっておもしろかったです。(男性/30歳代)
 - 今回の内容はとても幅広く、とても楽しめました。(女性/40歳代)
 - 今回のテーマは男であったゆえにあまり興味がなかった。しかし美術館にはまた来る予定。(男性/30歳代)
 - とても良い。ゆっくりできます。(女性/70歳以上)
 - 美少女をテーマにしたものは初めてだったので、とても良い経験ができました。ありがとうございました。(女性/13~19歳)
 - 大学生ですが、たまたまポスターを見てこの企画を知ることができました。それがなかったら存在を知らなかったかもしれません。街のポスターなど、広報をもっと行うことでたくさんの人に知ってもらえるのではないかと思います。(女性/20歳代)
 - 見る順路がはっきりしない。区分が混在しているように感じた。テーマが美少女だから、それが良いのかなとも思う。(女性/60歳代)
 - 今回の展示は若者も惹きつける良い題材だったと思う。いつもよりも年齢層が低く感じた。(男性/20歳代)
 - 今日は88歳の母と来ました。大正15年生まれでテニスをしていたので、テニスの美少女を見られて

良かったです。(女性/50歳代)

- なかなか奇抜なセンスで好きです。(女性/20歳代)
- 堅いイメージのあった美術館のイメージが変わった。(女性/20歳代)
- とても楽しい展覧会でした。中学生の時に見た「風景ルルル」という展覧会が今でも心に残っています。その時のような新しさ、優しさ、楽しさのある展覧会だったと思います。(女性/20歳代)
- 本展の内容は「オタク系」で、見に行くのには多少勇気が必要だったが、学芸員の方が良い企画をされているのがわかり、見応えがあった。ただ「美少女なんているわけじゃないじゃない」のうたい文句と企画内容が合致しなかった。(女性/30歳代)
- 今回の美少女展みたいなテーマもやることに驚きました。またやってほしいです。(男性/20歳代)
- 今日は友人と3人で来ました。特におもしろそうな企画展だったので行きましたが、とても大きい建物で内容も濃いと感じました。またレディスデーやお話をしながら観ても良いという日を作っている点は愛知にもあると良いなと思いました。(女性/20歳代)
- まわりにいる方が見るのに邪魔な感じがしなかった。「こんなものなの？」と興味をひかれました。おなかいっぱい感じです。おもしろかった。(女性/50歳代)
- 美術に関しては知識もあまりないので、好きか嫌いかの判断でしか見ることができないが、今回の展示の仕方には興味を持って観ることができた。説明がわかりやすかったのかも。(女性/50歳代)
- 非日常を味わえて良かったです。(男性/30歳代)
- あまり期待しないで訪れたが、切り口が新鮮で良かった。(女性/60歳代)
- 風景画はあまり好きではなかったので、理解できるようになれば楽しいと思って今回来てみましたが、さっぱりわかりません。この展覧会がどうのこうのと言うより、私に下地がないように思いました。(女性/50歳代)
- 所蔵品に良い物が多くて、いつも驚く。(男性/60歳代)
- 風景画ということで、広重の絵など身近な場所があったりして興味深かったです。(女性/50歳代)
- 空、雲の色の使い方が勉強になりました。(女性/70歳以上)
- おもしろいと思います。美術を知らない人でも楽しめるのはとても素敵だと思います。(女性/20歳代)
- ポスターの画があるかと思いましたが、作品としてはないと言われた。(女性/50歳代)
- 今日行って関心が深まりました。絵画の様々な角度から見たのも良かったです。(女性/20歳代)
- 70歳を過ぎてから油絵を描くので、その参考にしたいから今日の講演会は大変良かった。(男性/60歳代)
- キャプションFの解説文一つひとつの切り口が良かった。あの解説文あってこそ、この展示の良さがでると思った。今後たくさん「風景」の展示を楽しみにしています。(女性/20歳代)
- とてもキレイ。(男性/13~19歳)
- 実際に来ておもしろいテーマだと感じました。ウォーキングのついでに寄ったのですが、風景画を分解して、それぞれのテーマで分類し観せるとするのは新たな楽しみ方ですね。何か発想のきっかけになりそうです。芸術が日常にとけこめるテーマ、それでいて超点ともつながっている企画を希望します。(男性/40歳代)
- 風景画に興味があったのでとても楽しめました。今後も自然をテーマにした展覧会があればぜひ訪れたいです。(女性/13~19歳)
- 落ち着いて静かに鑑賞できて良い。(男性/60歳代)
- 解説文に誤記があった。(男性/60歳代)

- 内容はおもしろかったのに、CMが少なかったと思います。(女性/50歳代)
- おもしろい取り上げ方だと思います。日本の山水画に描かれているのが男性ばかりだと思いました。女性の描き方は、ある一方的な目線を感じます。今度はそんな視点で絵をひも解いていただけたらなと思います。(女性/50歳代)
- 絵に対してもっとわかるとおもしろい。(女性/60歳代)
- 大変満足しました。ありがとうございました。(男性/50歳代)
- おもしろい趣向でした。(女性/50歳代)

【企画全般】 A感想

- 近くに美術館があって本当に幸せだと思います。私は美術芸術には詳しくないので、美術館が企画したのを見に来て新しい世界、知識、感動をもらっています。(女性/50歳代)
- おもしろい企画があるので楽しみにしています。(男性/50歳代)
- ロダンの作品がたくさんありとても良かった。絵の方も楽しく観られた。(男性/13~19歳)
- 楽しい企画が組まれていてとても良いです。(男性/50歳代)
- 絵の具や粘土で子どもが身近に美術を感じられて良い。(女性/30歳代)
- 美術書を手取る部屋もあり嬉しい。美術を五感で味わうことこそ美術館の役割であって、現代社会の中で重要な使命を担っていると思います。最近では漱石展のテーマが良かった。芸大美術館と本館で2回楽しみました。(女性/50歳代)
- 静岡市美術館の企画はなじみやすいですが、県立美術館の企画はかたく、難しいと感じます。(男性/40歳代)
- 次回の美少女展も楽しみにしています。(女性/30歳代)
- 昨年草間さんの展示会は伺えませんでした。すばらしい企画だったと思います。海外の方もいらっしゃるのでも英文の案内が必要だと思います。(女性/50歳代)
- 企画、展示を楽しみにしています。(男性/60歳代)
- ロダンの「地獄の門」を改めて観たいと思っていたので満足です。(女性/30歳代)
- 作品を見てまわった後のロダン体操、気持ち良かったです。(女性/30歳代)
- 独自の意欲的な企画を打っていて感心します。財政的には大変でしょうが、このまま美術館らしくあってほしいです。(男性/40歳代)
- 次の石田徹也さんの企画も楽しみです。(女性/50歳代)
- ロダン館がすばらしかった。(女性/40歳代)
- ロダン展の折、お茶のサービスがあり大変感激した。(女性/70歳以上)
- 今回の企画はとてもおもしろく、美術館全体で取り組んだ感があります。残念なことは、県立美術館でなければできないこの企画を、多くの人に伝えきれていないことです。(男性/50歳代)
- 最近、県美に来たいと思う企画が少なく残念です。東京へ行くことが多いです。(女性/50歳代)

【展示方法】 A感想

- ラウンジや椅子などゆっくり座って見ることができて良かった。(女性/50歳代)
- リーフレットがそれぞれに置いてあり、新しい感じ。今回は大作が多かったので、今回の配置のようにソファがあると、離れた位置からゆっくり眺めることができてとても良いと思いました。(女性/40歳代)

- エジプト展で美術品を壊さないように。(男性/50 歳代)
- ロダン館の展示空間がおもしろかった。ロダン体操もおもしろかったです。(女性/40 歳代)
- 他の美術館ではヘッドホンの説明で回るのですが、こちらでは一つひとつ説明があったのでよくわかり楽しみました。(女性/60 歳代)
- 展示品のすぐ下や横にそれぞれ説明があり、わかりやすい。(女性/30 歳代)
- 見やすくて良いと思います。(女性/30 歳代)
- 説明の上の一言が気が利いていた。(女性/50 歳代)
- いつでもビデオが見られたら嬉しい。(女性/70 歳以上)
- 解説が楽しく書いてあり、楽しみながら観ることができました。(男性/30 歳代)
- 座れる所があって良かった。映像があってわかりやすい。(女性/12 歳以下)
- 座って休む場所が所々にあり、ゆったりできて良かったです。(女性/40 歳代)
- 行きやすい所に巡回してくれて良かった。(女性/40 歳代)
- 視点を選んで配列したり、説明されたりして学べるところが良かった。(男性/50 歳代)
- 順路通りに歩くと、絵の説明が逆位置にある個所が気になりました。(女性/60 歳代)
- 車椅子のため、絵が低く展示してあり見やすかった。(男性/60 歳代)
- 一つの作品に説明が必ずついていて、関心を深めながら鑑賞できた。(女性/20 歳代)

【施設・環境】 A 感想

- クーラーが効いていて、とても動きやすく見学できた。(女性/12 歳以下)
- 広くて静かです。(女性/60 歳代)
- 駐車場が遠い所しか空いていないと、坂道のため少しきつい。(男性/50 歳代)
- 空間が広くて良いと思います。(男性/60 歳代)
- 森の中を散策しながらリフレッシュできます。(女性/50 歳代)
- 交通の便が良くないので、つい来る回数が減ってしまう。(女性/40 歳代)
- 坂が多いですが、きれいで快適です。(女性/20 歳代)
- 美術館の存在を知ってから年に1～2回来ています。環境も良くて、私のお気に入りの美術館の一つです。少し遠いけれどこれからも来ると思います。スタッフの方も親切です。(女性/50 歳代)
- 美術館の周りに自然がたくさんあって、これからの季節が楽しみです。(女性/30 歳代)
- お弁当を食べる所はありますか？(女性/60 歳代)
- 立地も館内もゆったりとしていて、見やすい美術館です。(女性/50 歳代)
- 通路が広くて利用しやすい。(女性/50 歳代)
- 静岡市立美術館のようにもっとアクセスが良い所があれば、もっと頻回に来られるのにとおもいます。
(女性/40 歳代)
- 環境が良く、美術館までのアプローチも気に入っている。(男性/70 歳以上)
- 美術館に続く道も好きです。(女性/30 歳代)
- 広くて予想以上に多くの作品があり良かったです。ポイントカードや次回の割引も使いたいです。(女性/20 歳代)
- 雰囲気や環境を含めすべて好きです。これからもずっと来続けたいです。(女性/20 歳代)
- 電車で来たのですが、電車の中では静岡市美術館のポスターが多かったように思いました。(女性/20 歳代)

【運営・スタッフ】 A感想

- NHK 日曜美術館に取り上げてもらえれば良いと思う。(男性/60 歳代)
- キッズアートプロジェクトの印を押してくださる方の対応がとても素敵でした。(男性/40 歳代)
- 藤枝市なので、あまり情報がないのが残念です。(女性/40 歳代)
- 他の方ももっと利用すればと思う。(女性/60 歳代)
- 子どもにも鑑賞しやすい美術館になってきていると感じます。(女性/40 歳代)
- 関西でもっと PRすると良いです。(女性/50 歳代)
- 大学生以下が無料で鑑賞できるなど、芸術や文化を様々な人に知ってもらおうという意志が感じられて嬉しかったです。展覧会もおもしろい視点でみる事ができて良かったです。(男性/20 歳代)
- 良い美術館です。(男性/40 歳代)
- 学生証を持ち寄らずに来てしまったのですが、素早い対応をしてくださって気持ち良く作品を楽しめました。(女性/13~19 歳)
- 学芸員が楽しそうでない。(男性/30 歳代)
- ボランティアガイドさんによる説明が良かった。(男性/60 歳代)
- 子ども向けのパンフレットなどが充実してきており、とても良いと思いました。(男性/20 歳代)
- ロダン美術館に入れなかったのが残念でした。(女性/30 歳代)

【今回の展覧会】 B要望

- 名前負けしている作品が多い。良い品を選んでほしい。(男性/50 歳代)
- 芸術を観覧するという意味ではとても内容の深い物と思いましたが、夏休みということもあり「アニマル」というテーマから子どもも多く来館されると思いますので、一部で子ども向けの内容の展示物があっても良いと思いました。(男性/30 歳代)
- もっと多く見られるようにしてほしい。(男性/40 歳代)
- 展示の順番ですが、樹花鳥獣図屏風が一番初めに見られるので、目的が一瞬で達成される。有名なものは最後の方が良いのでは。後半の印象が薄い。(女性/30 歳代)
- 若冲の象の屏風絵はガラスの継ぎ目の黒色が気になった。ガラスの継ぎ目のない所で見たいと思いました。(女性/60 歳代)
- アニマルについて日本画が中心であったが、洋画の動物がもっとあった方が良い。白黒の世界よりも色のついた方が良い。(男性/60 歳代)
- もう少し作品を間近に鑑賞したかったです。(男性/20 歳代)
- 1970~1990 年代の作家の作品や海外作家との比較があっても良かった。(男性/40 歳代)
- こういった現代文化に合った企画展をまたやってほしい。(男性/13~19 歳)
- 昭和初期の少女誌の中も見られたら良かったと思います。(女性/50 歳代)
- 各作品のマテリアル、原画かコピーかなどのキャプションがほしかった。(男性/50 歳代)
- 今回の展覧会にグッズ販売がないのが非常に残念です。ポストカードなどがあれば良かったのに。(女性/40 歳代)
- 美少女がテーマでしたので、おおた慶文氏の展示があっても良かったのでは。(女性/50 歳代)
- 今回の展覧会のように、身近なテーマのものなじみやすいです。また企画してください。(女性/50 歳代)

- フィギュアの隣、クワガタと少女の絵の向かいの4点の絵に何の説明書きもなかったので少し驚いた。早急に何か付けた方が良い。(女性/40歳代)
- フィギュアは必要なかった。もう少し大正、昭和の美少女が見たかった。(女性/40歳代)
- 「美少女戦士セーラームーン」などアニメ作品の類の展示もほしかった。「美少女の美術史」は青森県美術館でも見たことがあるが、青森開催よりも展示が少なめの印象を受けた。館内まるごと「美少女」の展示の方が良かったのではないかと思う。(男性/40歳代)
- 昭和50年代の「なかよし」「りぼん」などのマンガ画の作品をもっと見たかったです。(女性/40歳代)
- もう少し現代アートの要素を増やしても良いと感じた。(男性/20歳代)
- 図録販売はしないのですか？(男性/30歳代)
- 野口謙蔵「虹の風景」を見たかったです。(男性/40歳代)
- 伊藤若冲なども展示してほしかった。(男性/70歳以上)
- 館内絵画の見方に関するトークがありましたが、質問形式より、見方の説明、個性、物語性、この絵画の優れた所、作者の心情、観賞の上で参考になる情報がほしい。(男性/70歳以上)

【企画全般】 B 要望

- ギリシャ神話を題材にした絵画などのルネサンス時代の企画展。(女性/20歳代)
- 子どもが興味を持つような展覧会をやってください。(男性/12歳以下)
- 若冲を大きくやってほしい。(男性/30歳代)
- 日本の作品以外のもを重点的にしたアニマルワールドを見たい。(男性/30歳代)
- いろいろなジャンルの展示をお願いします。(女性/50歳代)
- 曾我蕭白展はやりませんか？(女性/20歳代)
- 2016年若冲展をお願いします。(女性/50歳代)
- 家族で楽しめるものがあると嬉しいです。(女性/40歳代)
- またいつか、ミホミュージアムの象鯨図屏風を揃えて展示してほしい。(男性/40歳代)
- 今後も日本画や漆芸を取り上げていただきたいと思います。(男性/50歳代)
- 印象派の絵画を見たい。(男性/60歳代)
- 7歳の息子と初めて一緒に美術館を観ることができました。子どもも楽しんでおり、来て良かったです。夏休みは「親子の美術展」のような企画を期待しています。(男性/40歳代)
- 古典水墨画の展覧会もお願いします。(女性/60歳代)
- 伊東深木などの美人画を展示してほしい。(女性/60歳代)
- もっと現代の物を見せてください。現代の作家を中心にするなど、静岡の美術館の個性というか主張、目的を。(女性/70歳以上)
- 西洋絵画の展示が少ないので、年に1回ぐらいあると良いです。(女性/40歳代)
- もう一段高いハードルをクリアする意識を見せてほしい。(男性/40歳代)
- 東京都現代美術館のような堅苦しくない現代アート展をもっとやってほしい。(男性/30歳代)
- 接点があるような身近な題材で展覧会をしてほしい。(男性/20歳代)
- 若冲、堀文子を展示してほしい。(女性/40歳代)
- 「ロボ美」や今回の「美少女の美術史」のようなものは都市でやっていることが多いので、またこのような展覧会をやってほしいと思いました。(女性/20歳代)
- 明治～昭和初期の日本の美術を取り上げてください。(男性/40歳代)

- 企画展以外の説明が不足していたり、わかりづらかったりしました。新しくしてくれたらもっと楽しめると思います。(女性/20 歳代)
- 以前の「ロボットと美術」展のような機械と人間、芸術の関係性に目を向けた企画をぜひもう一度。(男性/20 歳代)
- 風景画などにこだわらないで新しいものをどんどん紹介してください。草間彌生展などすばらしい。(女性/50 歳代)
- エジプト展またやってください。(女性/13~19 歳)
- 江戸~明治~大正のものをもっと見てみたい。(男性/40 歳代)
- 今回のような、既存のジャンルにとらわれない企画を望む。(男性/60 歳代)
- 「美少年展」も見てみたいです。(女性/13~19 歳)
- 地域柄ということもあると思いますが、都心開催されているような大きな展覧会を開催してほしい。今回の展覧会は関心をもたれる方が限られるのではないのでしょうか。小学生や中学生向けワークショップをより充実し、絵画などをもっと身近に感じられる場にしてほしい。(女性/40 歳代)
- またこのような現代アートやポップカルチャーを取り上げてください。(女性/30 歳代)
- 江戸絵画の展覧会をもっとやってほしい。(男性/20 歳代)
- 版画家山口源の作品が沼津市に寄贈されているが、沼津では小さい美術館に数点展示されているが全容は見られない。ぜひ展覧会を開いてほしい。(男性/60 歳代)
- NHK 日曜美術館やぶらぶら美術・博物館などに上げられる企画展をやって下さい。(女性/50 歳代)
- 機会があればシュルレアリスム展をやっていただけると嬉しいです。(女性/20 歳代)
- 子どもも触れたりできるような楽しめる展覧会があると良いなと思いました。(女性/40 歳代)
- また古今東西の美術を展示して下さい。(男性/30 歳代)
- SPAC や演奏家とのコラボのコンサートの開催、とても楽しみです。今後も SPAC、グランシップとの連携した行事を企画して下さい。(男性/50 歳代)
- 横尾忠則が見たい。(女性/30 歳代)
- 若冲の屏風をまた見たいです。(女性/50 歳代)
- 工芸品の展覧会も多くしたい。(男性/60 歳代)
- 屏風絵・日本画が好きなので、もっとやってほしいです。(女性/30 歳代)

【展示方法】 B 要望

- 音声ガイドが欲しい。(女性/40 歳代)
- 暗いので、字のサイズがもう少し大きいと音声ガイドがない時に助かる。(男性/40 歳代)
- 絵画の常設スペースをもう少し広げてほしい。(男性/50 歳代)
- ガラスの反射で作品が見づらいことがありました。小さな作品はもう少し前方に展示してほしい。(女性/40 歳代)
- 絵に当てる光を考えてほしい。(男性/40 歳代)
- 説明のイヤホンなどがあると嬉しいです。(女性/50 歳代)
- 作品名と解説の掲示位置を工夫してほしい。(女性/30 歳代)
- 静岡県立美術館に限った話ではないですが、なんとか露出展示を増やしてもらいたいです。照明とガラスで作品がうまく見えない、見えにくい状態です。自然光で見たいです。館内はきれいで展示室の中も椅子が多く親切だと感じました。ありがとうございます。今回の展覧会は楽しく拝見しました。

図録が売り切れで残念です。(女性/40歳代)

- 小さいフィギュアなど目線の高さに展示されていると見やすかったと思います。鑑賞の邪魔にならない程度に音楽が流れていても良いと思います。(女性/40歳代)
- レシーバーがあると良い。(男性/40歳代)
- 見る順番がもう少しわかりやすいとありがたいです。(女性/20歳代)
- 近づいて見ていたら怒られたので、拡大鏡などがあると便利だと思いました。(女性/20歳代)
- 説明文は作品の上面につけてほしい。字が小さい。(男性/70歳以上)
- 音声解説をもっと導入してほしい。例えば作品展の主催者とか、縁のある人、造詣のある人などの解説。(男性/20歳代)

【施設・環境】 B要望

- 冷房が効きすぎです。入口辺りから段々温度を上げていくということではできませんか。(女性/50歳代)
- 駐車場が近い場所にもっと多くあると良いと思います。(女性/40歳代)
- 駐車場がもう少しわかりやすいと嬉しいです。(女性/30歳代)
- 駐車場の開く時間を早くしてほしい。早めに来て散歩したい。(男性/40歳代)
- 足が少し悪いので、途中ソファなどがもう少しあれば良いなと思いました。(女性/40歳代)
- ロダンの音が大きく、ゆっくり見ることができない。音が大きくても良いが、もう少しやさしい選曲をお願いしたいと思いました。(女性/40歳代)
- バスの本数を増やしていただくとありがたいです。美術館そのものは素敵です。(男性/20歳代)
- 特に入口付近の照明が少し暗いのでは。LEDライトを検討してみたいかでしょうか。(男性/50歳代)

【運営・スタッフ】 B要望

- 料金が安いと良いです。(女性/60歳代)
- お子さんがごねて大きな声を出していました。他の方の迷惑になっていました。残念です。託児室を作ってほしいです。(女性/40歳代)
- インターネットで開館時間を調べようとホームページを開いたのですが、なかなか目的のページにたどりつけずに少々イラッとききました。もっとわかりやすい所での表示を希望したいです。(女性/40歳代)
- 今のまま静かな落ち着いた美術館であってほしい。企画展はおもしろい良いものを。(女性/60歳代)
- 静岡市美術館の山本二三展は、広告がたくさんあったので良いなと思えたので、このアニマルワールドももっと広告した方が良かったと思った。(男性/13~19歳)
- サポーター制度はどうなっていますか？公募してください。(女性/40歳代)
- スマートフォンでの情報閲覧や一部収蔵品の閲覧ができると便利。(男性/40歳代)
- 年齢で入館制限を作ってほしい。(女性/30歳代)
- 孫と一緒に来館が多いので、自由に話をしながら見られる日を増やしてほしいです。(女性/50歳代)
- ロダン館で知らずにメールをしてしまった。他の人に白い目で見られたので、わかりやすく指示、表示してほしい。(女性/40歳代)
- 2人以上の私的会話はカード指示などで注意できないでしょうか。(女性/60歳代)
- 素晴らしい作品を広く多くの人に鑑賞してほしいから、もっと広く宣伝広告した方が良い。(女性/60歳代)

- 開場時間の 15 分ぐらい前に館内に入場させていただいたら、外の暑さが厳しい日など身体的に助かります。(女性/60 歳代)
- 教育普及活動の充実。(女性/20 歳代)
- 県民にサービスがあると嬉しい。ポスター販売があると嬉しい。(女性/40 歳代)
- 個人的に伊藤若冲先生が好きなので、多くの作品を見たいと思います。海外の展覧会の場合、シルクスクリーンやリトグラフの販売もしてほしいです。(女性/40 歳代)
- 先のイベント内容をインターネットで詳しく見たい。(女性/30 歳代)
- 静岡新聞で紹介され、展示内容が娘 2 人と見るのにちょうど良いと思いました。前売券の発売場所がわからず、慌てて前日に調べました。チラシに書かれていると良いと思いました。(女性/40 歳代)
- 混む時はすごいので対処を考えてほしい。(女性/40 歳代)
- 入場料の支払いをカードで。(男性/30 歳代)
- 美術館情報の雑誌やテレビ・新聞などを見るが、この美術館の広告をあまり見ない。もう少し宣伝しても良いのかと思う。(女性/60 歳代)
- 情報発信をこまめにしてほしい。(女性/70 歳以上)
- 学芸員さんの魅力を発信してほしい。ふれあえるひと時をぜひ。(女性/50 歳代)
- 年間入場券があればありがたい。(男性/60 歳代)
- 今回ではないが、時々話し声がうるさい人がいる。入場時にマナーとして、どこかに記載して頂けると嬉しいです。(男性/40 歳代)
- 対話形式のガイドツアーへの努力に敬意を表します。本日の方は、もう少し話術をスキルアップして下さい。メモを見なくてもすむように。(男性/60 歳代)
- 職員の方によるトークをやっている時は、あらかじめ入口でわかると良いかもしれません。静かに見たい人にとって、気持ちの準備も要るので。(女性/30 歳代)

【今回の展覧会】 C 苦情

- 今回の展示で若冲の樹花鳥獣図屏風の右隻に柱がかかっているのが残念だった。(女性/40 歳代)
- 若冲の屏風をメインに見に来たのに、ガラスの縁の黒いラインで、いつも感じる感動を感じる事ができなかったのが残念でした。(女性/40 歳代)
- 図録の売り切れが残念。若冲に関する書籍不足が不満。(女性/60 歳代)
- 素材について不明で困った。(男性/60 歳代)
- 想像していたよりもずっと興味深い内容でした。多様な作品が集められながら、その選択に筋が通っていて良い企画だったと思います。一つ残念だったのは、ある作品で音声が大音量でたれ流しにされていたこと。展示上必要だったのはわかりますが、他の作品を鑑賞する上で障害でしかありません。ヘッドフォンを用意するなどの対応をしていただきたかったです。(男性/30 歳代)
- 説明の言葉が難しいところがあってわかりにくかった。(女性/30 歳代)

【企画全般】 C 苦情

- 次回何が展示されるのかよくわからない。(男性/70 歳以上)

【展示方法】 C 苦情

- ガラスの向こう側に展示物があり、場所によってはガラスに反射する光で見づらいところもあった。

(女性/30 歳代)

- 作品がガラスから遠い。福島のプライスコレクションは目の前で鑑賞できた。(男性/40 歳代)

【施設・環境】 C 苦情

- 静かすぎる。まれに息がつまりそうになる。広報がうまくない。(男性/20 歳代)
- エレベーターの表示がわかりづらいです。たまたま骨折をしていたため階段は少し辛かったです。(女性/30 歳代)
- チケット受付とロッカーが1階と2階に離れているのは不便。(女性/30 歳代)
- 近くの駐車場がいつもいっぱい。(男性/60 歳代)
- JR や静鉄から美術館までの標識や案内が少なく、たどり着くのに不便に感じました。(男性/60 歳代)
- 蛍光灯が切れかけているような場所があった。一部空調の音が気になる。(女性/30 歳代)
- 天井の換気装置のうるような音が、無風状態の時もかなり気になる。(女性/60 歳代)
- 冷房が効きすぎているように感じた。(女性/50 歳代)
- 自販機がない。(男性/20 歳代)
- 2階展覧会入り口の大便トイレが狭い。(男性/40 歳代)
- 緑が多いのは良いけれど、入り口がわかりにくい。(男性/40 歳代)
- 駅からバスに乗りたかったのですが、バス停位置・時間を調べるのにいろいろ外部サイトを見たりと大変でした。(女性/40 歳代)
- 駅から入館までのアクセスがややわかりにくかった。(女性/30 歳代)
- ロダン展でスタッフが作品に近くて落ち着かない。駐車場がせまい。(男性/13~19 歳)
- エアコンの設定温度が高く感じました。(男性/20 歳代)
- 学生の団体がうるさい。静かに観てほしい。(男性/40 歳代)
- 美術品の保護という理由もわかりますが、とにかく暗い。作品の細部が見えません。コピーでも良いので、明るい場所でゆっくりと見たいです。(女性/40 歳代)
- 蛍光灯の光が作品に映って見にくい所がありました。(男性/60 歳代)
- 交通が不便。シャトルバスがあれば利用します。坂道は年をとったらすべらないか不安。文化後進県と言われる静岡を何とかする基地になって下さい。(女性/50 歳代)

【運営・スタッフ】 C 苦情

- 土産、グッズの価格が高い。(男性/40 歳代)
- ロダン館内で、あるスタッフの方がすれちがう時に睨みつけるのはいかがなものかと思います。(女性/40 歳代)
- コンサートの練習は閉館時間にすべき。うるさくて集中して見ていられなかった。音響の設備が整っているのか不明ですが、館内に歌声が響きすぎ頭が痛くなった。出演者は当然のように練習していたが、来館者のじゃまをしているという意識を持って行動すべきです。(男性/40 歳代)
- じっとしているのも大変だろうけど、スタッフさんのあくび、いねむりが気になりました。(女性/30 歳代)
- フリートークとなっていました、誰もいないのに注意されました。(女性/50 歳代)

10 佐々木先生のレクチャー「美術館評価のあり方をあらためて考え直す」

レクチャー「美術館評価のあり方をあらためて考え直す」の要旨

2014年12月18日に静岡県立美術館において、北海道大学大学院文学研究科の佐々木亨先生が「美術館評価のあり方をあらためて考え直す」というテーマでレクチャーを行った。以下にレクチャーの要旨を紹介する。

本日のレクチャーの目次

1. 過去2回の講義内容
2. 「未来館者」調査からわかったこと
3. 評価の新たな枠組み（1）－美術館の価値から考え直す－
4. 評価の新たな枠組み（2）－企業のCSRから考え直す－

1. 過去2回の講義内容

これまで、静岡県立美術館の評価に関して、以下のような2回のレクチャーをしてきた。1回目は、2011年11月10日に「静岡県立美術館評価システムのバージョンアップに向けて」と題して、評価導入の経緯を確認した上で、これまでの評価活動を振り返り、現行の評価システムのバージョンアップに向け、ODA（政府開発援助）や医療機関での評価事例を紹介した。2回目は、2013年12月11日に「評価アンケートの設問設定とデータ活用の方法」というテーマで行った。そこでは、現行の評価システムから得ることができるデータをより深く分析し、さらなる新しい知見を知るための分析方法を提示した。

このように、1、2回目のレクチャーでは、現行の評価システムを改善することが前提であった。しかし、本日のレクチャーでは、「美術館評価のあり方をあらためて考え直す」と題して、現行の評価システムの枠組みをいったん否定し、新たな枠組みを構築する場合、どのようなものが考えられるかを提案する。図で言うと、いままでの評価は利用者を対象とする〈第1の交換〉の状況をモニタリングし、評価してきた。しかし、本日提案する新たな枠組みでは、地域社会とミュージアムとの間でやりとりされているミュージアムの価値に注目する。つまり、地域社会とミュージアムとの間で成り立っていると思われる〈第2の交換〉の実態をどのように把握し、評価をどのように行うかということがテーマである。

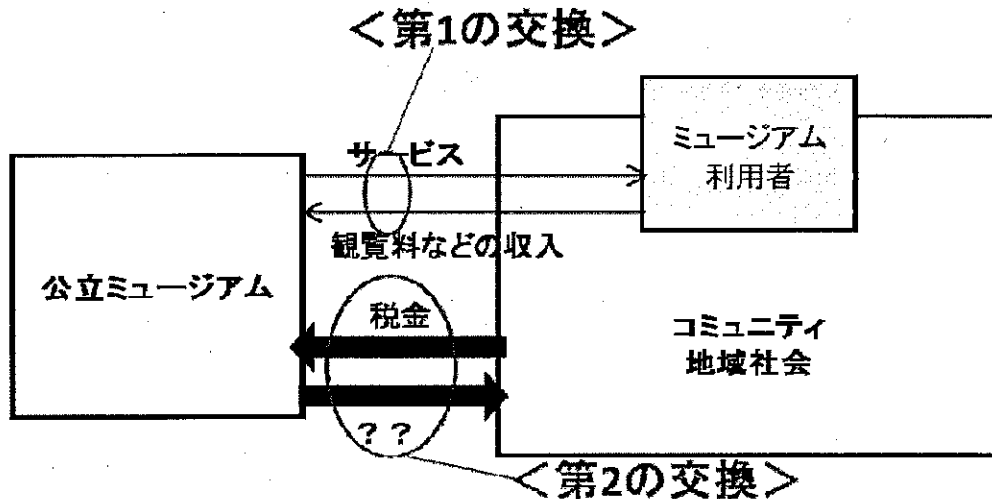


図 公立ミュージアムと利用者・コミュニティとの間における交換関係

2. 「未来館者」調査からわかったこと

<第2の交換>に注目するようになったきっかけは、2012年1月に実施した、18～39歳の県民1500人を対象にしたネットアンケート調査結果であった。この調査では、静岡県を東部・中部・西部・伊豆の4地域にわけ、各地域の18～39歳の人口比を1500サンプルに反映させ、東部339人、中部468人、西部554人、伊豆139人からデータを収集した。

ここでは、調査結果のうち、「県民の来館経験の有無」、「県民の美術館の捉え方」の2つを紹介する。

(1) 調査結果1：県民の来館経験の有無

①「行ったことがある」44.3%、②「名前は知っているが、行ったことがない」39.9%、③「名前も聞いたことがなく、行ったこともない」15.7%となり、約55%の県民が静岡県立美術館に来館したことがなかったことがわかった。県立美術館が立地する中部では、来館したことがない県民は約30%であったが、東部および西部では約65%、伊豆では約75%であった。

現行の評価システムは、主に①「行ったことがある」人を対象に行ってきたものであり、これまで県立美術館に来館したことのない約55%の県民は、直接の評価対象になってこなかった。このことは、県立美術館として、①以外の県民に関心を寄せてこなかったということができるのではないかと。

つまり、利用者と県立美術館だけでなく、来館経験がある県民も含めた地域社会と県立美術館との関係性をあらわす<第2の交換>の実態を捉えることが、まずは重要であることがわかった。<第2の交換>に対する評価は、その先にある活動と考える。

(2) 調査結果2：県民の美術館の捉え方

ネットアンケートでは、以下のような記述式の設問を2つ作り、()内に自由に回答してもらった。

(a) 「美術館は、私が () ところです。」

(b) 「静岡県立美術館は、私が () ところです。」

(a) では、一番多い回答が「心が安らぐ」19.5%で、次いで「<なし>」(<なし>とは、まったくイメージがわからないという回答) 14.4%、「芸術鑑賞する」9.9%と続いた。

一方、(b) では、「<なし>」が一番多く32.5%、次いで「心が安らぐ」10.8%、「行くことがない」

8.3%という結果になった。さらに、来館経験別のクロス集計で、①行ったことがある人、②名前は知っているが、行ったことがない人、③名前も聞いたことがなく、行ったこともない人において、多い順にみると、

①「<なし>」20.6%、「心が安らぐ」18.6%、「芸術鑑賞する」9.6%

②「<なし>」39.6%、「行くことがない」13.5%、「行きたい」10.4%

③「<なし>」47.9%、「行くことがない」13.1%、「よくわからない」10.2%

という結果となった。

このことから、一般的な美術館イメージより、静岡県立美術館に関する美術館イメージの方がかなり希薄であることがわかる。特に、②名前は知っているが、行ったことがない人、③名前も聞いたことがなく、行ったこともない人において、この傾向が顕著である。

なお、別途分析した詳細なデータから、①行ったことがある人では、開館回数が増えるほど「<なし>」が減少し、来館5回目以降では「<なし>」がなくなることがわかった。

この2つの調査結果から、すべての県民にとって、特にこれまで静岡県立美術館に行ったことがない約55%の県民にとって、静岡県立美術館はその県民一人一人の中で、いったいどのような価値を持っているのか、またはいないのか。もし、持っているとしたら、どんな価値があるのかを地域社会という視点から顕在化させ、県立美術館に興味・関心がない県民にも、その価値を理解してもらえるような説明をする必要があると、あらためて考えた。それが、先の図のなかの<第2の交換>の実態を明らかにすることである。

3. 評価の新たな枠組み(1) -美術館の価値から考え直す-

ミュージアムの価値を、経済学者のディヴィッド・スロスビーは『文化経済学入門』(日本経済新聞出版社2002)のなかで経済的価値と文化的価値に区分して記している。これと同様の区分は、ミュージアム界でも従来から存在していた。つまり、個々のコレクションが持つ「学術・文化的価値」、ミュージアムがあることで創出される所得と雇用、活動に伴う経済波及効果などの「経済的価値」、コミュニティ全体への便益である「社会的価値」である。ジョン・ホールデンは講演「民主主義社会における文化の価値」(福原義春編『地域に生きるミュージアム』現代企画室2013に所収)のなかで、「学術・文化的価値」を「本質的価値」とし、「経済的価値」と「社会的価値」を併せて「手段的価値」と呼んだ。さらに、ミュージアムに備わっている、集団で助け合う社会の意識を強める場、または地域やコミュニティへの愛着を深める場としてのミュージアムの価値を「共同体的価値」と呼んでいる。

ホールデンの言う本質的価値は、ミュージアムに来ることで利用者が享受することができる価値であり、先の図でいう<第1の交換>の右向きの矢印に当たる要素である。そして、手段的価値とは、ミュージアムと地域社会の間で起こっている<第2の交換>の右向きの矢印に当たる要素である。さらに、ミュージアムに備わっている共同体的価値とは、図では示されていないが、ミュージアム利用者が地域社会やコミュニティに与える価値ではないかと考える。

静岡県立美術館における評価の新しい枠組みを考える際、まずは、この<第2の交換>において生じている手段的価値を顕在化させ、県立美術館に興味・関心がない県民にも理解してもらえるような形で説明する。このことが、評価の新しい枠組みを提示する第一歩になるのではないかと。

ところで、ミュージアムにおいて手段的価値を創出している事業の例は枚挙に暇がない。例えば、岩手県立博物館などにおける東日本大震災時の「文化財・標本レスキュー」、北名古屋歴史民俗資料館

などにおける「回想法」への資料活用、滋賀県立琵琶湖博物館などにおける「参加型調査」を通じた環境意識の向上などを挙げるができる。

なお、手段的価値を測定する有力な手法として、SROI (Social Return on Investment : 社会的投資収益) 分析【別紙1】などがある。

4. 評価の新たな枠組み(2) - 企業のCSRから考え直す -

新たな枠組みの検討の際、有効なもう1つの道筋として、ISO 26000で定義されている「組織の社会的責任」に基づいて、静岡県立美術館における手段的価値を顕在化し、明らかにする方法があるのではないかと。

組織の社会的責任とは、CSR (企業の社会的責任) レポートにおいて多くの企業によって採用されている枠組みであり、「人権」、「労働慣行」、「環境」、「公正な事業慣行」、「消費者課題」、「コミュニティへの参画・コミュニティの発展」「組織統治」の7つの観点から、組織の社会に対する責任を記述するものである。

(参照 URL : http://iso26000.jsa.or.jp/_inc/top/iso26000_tool/1.gaiyou.pdf)

なお、【別紙2】の図5にあるように、我が国のCSRでは、社会課題の解決とは直接的な関係を意識できない事業活動領域(a)と、事業活動の収益の一部を公益に活用するが、事業活動への貢献は期待しない領域(b)とは別ものであることが多く、両者を統合することがCSRのあるべき姿であるとされている。ミュージアムは本来、そこで実施される事業活動が高い公益性を帯びているはずであるので、両者の統合は容易であると考えられる。

PPT p1

評鑑に関する基礎 3 2014.12.24

美術館評価のあり方をあらためて考え直す

佐々木 亨
 (北海道大学大学院文学研究科)
 sasaki@let.hokudai.ac.jp

PPT p2

目次

1. 過去2回の講義内容
2. 「未来館者」調査からわかったこと
3. 評価の新たな枠組み(1)
 - 美術館の価値から考え直す-
4. 評価の新たな枠組み(2)
 - 企業のCSRから考え直す-

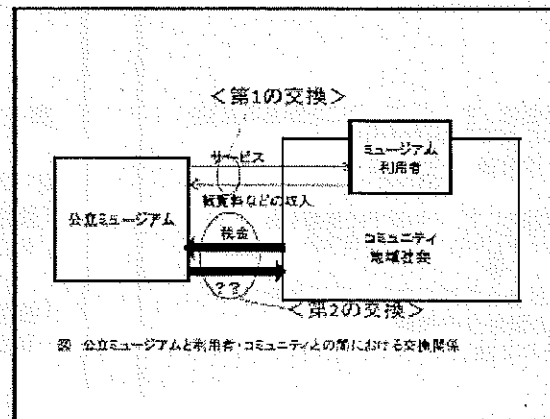
PPT p3

1. 過去2回の講義内容

- 1 『静岡県立美術館評価システムのバージョンアップに向けて』2012.11.30
 ①評価導入の経緯
 ②評価活動の整理する(旧評価委員会報告書と様々な資金)の
 ③評価士資格講習での気づき(新たな評価手法の紹介)
 ④現在評価システムのバージョンアップに向けて(概要)
- 2 『評価アンケートの配信設定とデータ活用方法』2013.12.11
 ①調査手法データを活用した調査分析
 ②数値・美術館の全高での位置・力の測定に関する分析手法
 ③調査実施時期(会期・休館・終了直前)によるデータの違い

本日 『美術館評価のあり方をあらためて考え直す』2014.12.18
 表行の評価の枠組みを整理し、新たな枠組みを構築する場合、どのようなものがあるかを考える。

PPT p4



PPT p5

表1-1 調査結果

調査項目	割合 (%)	調査項目	割合 (%)
1. 評価の必要性	95.0	1. 評価の必要性	95.0
2. 評価の目的	25.0	2. 評価の目的	25.0
3. 評価の方法	10.0	3. 評価の方法	10.0
4. 評価の主体	10.0	4. 評価の主体	10.0
5. 評価の時期	10.0	5. 評価の時期	10.0
6. 評価の費用	10.0	6. 評価の費用	10.0
7. 評価の成果	10.0	7. 評価の成果	10.0
8. 評価の課題	10.0	8. 評価の課題	10.0
9. 評価の期待	10.0	9. 評価の期待	10.0
10. 評価の今後の展望	10.0	10. 評価の今後の展望	10.0

PPT p6

2. 「未来館者」調査からわかったこと

- 18~39歳県民、1500人対象(2012年1月実施)
- ネットアンケートを活用(楽天リサーチ委託)
- 静岡県を東部、中部、西部、伊豆の4地域にわけ、各地域の18~39歳の人口比を1500サンプルに反映
 →東部:339人、中部:468人、西部:554人、伊豆:139人

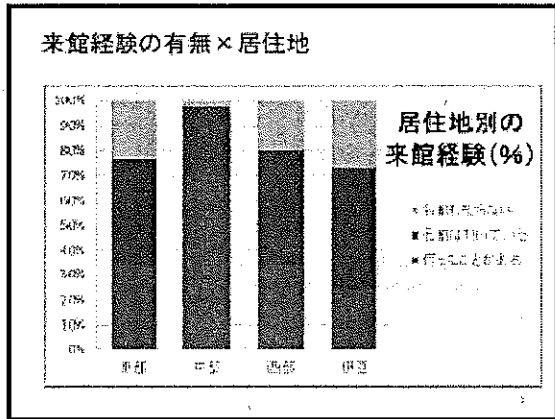
PPT p7

調査結果1: 来館経験の有無

①行ったことがある。(44.3%)
 ②名前知っているが、行ったことがない。(39.9%)
 ③名前も聞いたことがなく、行ったこともない。(15.7%)

約55%の県民が来館したことがない。

PPT p8



PPT p9

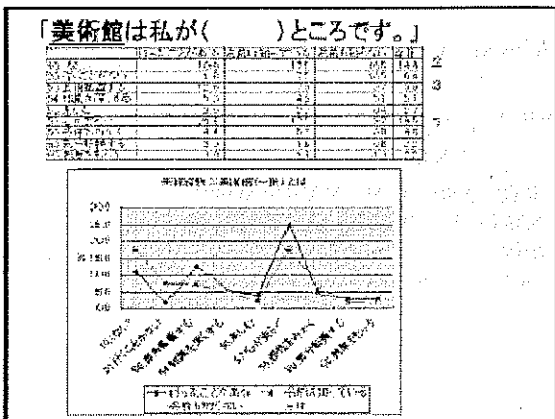
- ・ 現行の評価は、主に①(行ったことがある人)を対象に行われてきた。
→ <第1の交換>
- ・ 今後の課題として、これまでに来館したことのない約55%の県民と、どう向き合つか。
↓
来館経験がある県民を含めた地域社会と美術館との関係性の問題
→ <第2の交換>

PPT p10

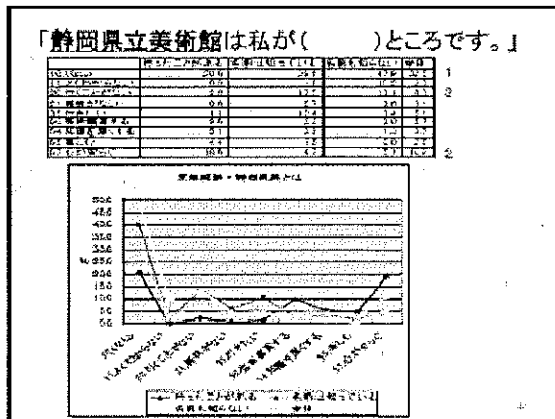
調査結果2: 美術館の捉え方

2つの設問:
 「美術館は、私が()ところです。」
 「静岡県立美術館は、私が()ところです。」

PPT p11



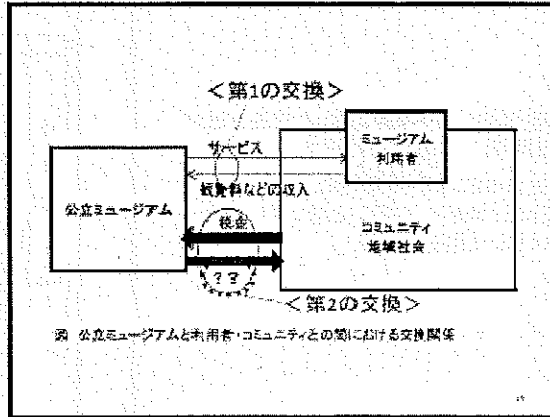
PPT p12



PPT p13

- 一般的な美術館イメージより、静岡県立美術館に関する美術館イメージの方が希薄。
- 特に、②(名前は知っている)、③(名前も聞いたことがない)において、この傾向が顕著。
- ①(行ったことがある)では、10,11,20を合わせると23%ほどあるが、開館回数が増えるほど減少し、来館5回目以降はなくなる(別途詳細データより)。

PPT p14



PPT p15

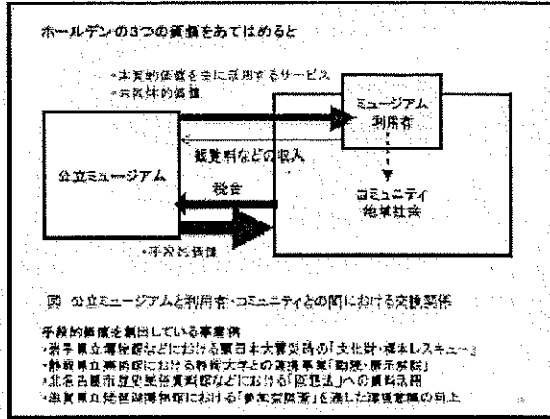
3. 評価の新たな枠組み(1) —美術館の価値から考え直す—

美術館の価値		ミュージアムがもたらす価値の範囲	
経済的価値	公共財	社会的価値	コミュニティ全体への普及
文化的価値	芸術作品 資料・工芸品	教育的価値	知識の普及の機会、伝達手段の普及
	資料・工芸品の 複製・デジタル化	社会的価値	様々なコレクションの提供

ホールデン2013	
本質的価値	歴史的な資料や芸術作品自体が持つ本質的価値の範囲
手段的価値	本質的価値を得つしむを、別の目的を達成するための手段として
経路的価値	経路の過程に発生する価値
共同体的価値	集団で助け合う社会の意識を強める場、地域やコミュニティへの寄与が認められる価値

ティヴィット・スミススピー「文化経済学入門」日本経済新聞出版社、2002、pp.65-75
 ブレン・ホールデン「見えない美術館における文化的価値」環境経営編「地域に生きたるミュージアム」現代社会賞、2013、pp.57-63

PPT p16



PPT p17

- ### 手段的価値の測定法として有力な手法
- SROI (Social Return on Investment: 社会的投資収益) 分析
 - 組織によって創出された社会的価値、環境的価値、経済的価値を把握・推計・報告する手法
 - SROI分析の4段階
 - ①評価対象の設定とインパクトマップ作成
 - ②社会的成果・価値(アウトカム)指標の設定とデータ収集
 - ③社会的便益・社会的費用の推計とSROI比率の推計
 - ④SROI分析報告書の作成と提言
 - (別紙1参照)
- 塚本一也他編著「社会貢献によるビジネス・イノベーション」丸善出版、2012

PPT p18

- ### 4. 評価の新たな枠組み(2) —企業のCSRから考え直す—
- CSR (企業の社会的責任, corporate social responsibility): 企業が利益を追求するだけでなく、組織活動が社会へ与える影響に責任をもち、ステークホルダー(利害関係者)である消費者、投資家、地域社会などからの要求に対して適切な意思決定をすることを指す。それに関するレポートが「CSRレポート」
 - ISO26000に定義された「組織の社会的責任」(7項目)

- CSRの理想的な形:事業活動の成長と社会的な課題解決への貢献との統合
- しかし、社会的によい活動(例えば、寄付、メセナなど)の「ホチキス綴じ」となっているケースも少なくない(別紙2参照)。

事業活動	社会的な課題解決	両者の統合
① 社会貢献活動の推進	② CSR活動の推進	③ 両者の統合
④ 社会貢献活動の推進	⑤ CSR活動の推進	⑥ 両者の統合
⑦ 社会貢献活動の推進	⑧ CSR活動の推進	⑨ 両者の統合
⑩ 社会貢献活動の推進	⑪ CSR活動の推進	⑫ 両者の統合
⑬ 社会貢献活動の推進	⑭ CSR活動の推進	⑮ 両者の統合
⑯ 社会貢献活動の推進	⑰ CSR活動の推進	⑱ 両者の統合
⑲ 社会貢献活動の推進	⑳ CSR活動の推進	㉑ 両者の統合
㉒ 社会貢献活動の推進	㉓ CSR活動の推進	㉔ 両者の統合
㉕ 社会貢献活動の推進	㉖ CSR活動の推進	㉗ 両者の統合
㉘ 社会貢献活動の推進	㉙ CSR活動の推進	㉚ 両者の統合
㉛ 社会貢献活動の推進	㉜ CSR活動の推進	㉝ 両者の統合
㉞ 社会貢献活動の推進	㉟ CSR活動の推進	㊱ 両者の統合
㊲ 社会貢献活動の推進	㊳ CSR活動の推進	㊴ 両者の統合
㊵ 社会貢献活動の推進	㊶ CSR活動の推進	㊷ 両者の統合
㊸ 社会貢献活動の推進	㊹ CSR活動の推進	㊺ 両者の統合
㊻ 社会貢献活動の推進	㊼ CSR活動の推進	㊽ 両者の統合
㊾ 社会貢献活動の推進	㊿ CSR活動の推進	㋀ 両者の統合

右の7つの項目に該当する「社会的な課題」を解決するために、美術館ではどんな事業活動が可能か?

1. 概要

静岡県立美術館の業務評価業務の概要について報告する。

評価業務の目的と意義について述べる。

2. 評価業務

3. 結果

4. 結論

本報告書は、静岡県立美術館の業務評価業務の概要について報告するものである。評価業務の目的と意義について述べる。評価業務の目的は、美術館の業務の現状を把握し、その改善を図ることである。意義は、美術館の業務の透明性を高め、その質を向上させることである。

評価業務の内容は、美術館の業務の現状を把握すること、その改善を図ること、その成果を報告することである。評価業務の方法は、アンケート調査、インタビュー、資料調査などである。

評価業務の結果は、美術館の業務の現状を把握し、その改善を図ることができたこと、その成果を報告することができたことである。

結論として、美術館の業務評価業務は、美術館の業務の透明性を高め、その質を向上させることに貢献している。今後も、美術館の業務評価業務を継続して実施していく必要がある。

静岡県立美術館評価業務 報告書

平成 27 年 3 月

発行 静岡県立美術館

〒422-8002 静岡市駿河区谷田 53-2

TEL 054-263-5755

委託先 株式会社浜名湖国際頭脳センター

〒431-1207 浜松市西区村櫛町 4598 番地の 9

TEL 053-484-4002

【平成 26 年度第三者評価委員での意見と対応状況】

〔1〕 達成目標等に対する二次評価

基本方針	意見	対応状況
A	多様性に富んだ社会を実現するため、展覧会の全体構成の評価が必要である。	展覧会構成とその評価については、「静岡県立美術館中長期計画」に基づいた展覧会の中長期展望を策定したうえで、短期的な展覧会構成を検討していく。また、効果的な評価方法についても併せて検証していく。
	美術作品を保存し、継承していく役割についても評価の対象とすべきである。	今後、評価指標の見直しの中で検討していく。
	目標設定が妥当であったかどうかという自己評価も含め、その原因の分析評価が必要である。	目標設定については、過去5年間の実績を基準にして、必要な見直しを図るとともに、県の文化政策に照らして、新たな目標を設定していく。
	県民が求めている展覧会を美術館が把握しているのか見直す必要がある。	地域、学校、団体等から美術館への意見を伺うタウンミーティング（年2回開催）で、展覧会、教育普及、館のサービス等様々な要望を把握している。
	観覧者数目標値は過去5年の平均値とするなど、現実的な設定とすべきである。	観覧者数については、過去の実績をもとに、より現実的な数値設定を行っていく。
	なぜ近代美術を県立美術館が取り上げるのか、その展覧会の意義をアピールすべきである。	かつての近代美術ブームに比べて、現在、その集客力や影響力は小さくなりつつある。近代美術が、現代社会において、どのような価値を創造したのを併せて検討していきたい。
	他の美術館・大学と連携することにより何が強化されたか自己評価すべきである。	近年、他の美術館との連携した企画展の開催、大学と連携した様々なプログラムを実施しているが、今後は、戦略的な計画・方向性について、最も効果的な方法を検討していく。
	鑑賞教育を中心とした教育普及の	鑑賞教育については、現在、過渡期

	成果は、具体的な自己評価の記載が求められる。	にあり、評価方法が確立していない現状がある。今後、その手法についても検討していく。
B	移動美術展はマンネリ化しており、地域の要求に沿って開催されたい。	これまでの名品展から、学芸員によるテーマ展示に内容を改善し、また施設のファシリティを考慮しつつ、できる限りの優品を出品するようにした。今後は、自治体や関係団体との様々な連携を図っていく。
C	広報戦略については、静岡らしさの表現も含め、具体的に何をやるべきか検討が必要である。	平成 25 年度から「県立美術館中長期計画(H26～H33)」を作成しており、その中で静岡県立美術館や静岡にゆかりのある作家の展覧会等の開催や広報を盛り込み実施していく。
	カリエール展など、ロダンに関する理解を含める併設企画をすべきである。	ロダンについては、企画展、ロダン館の活用も含めて、今後、様々な取組を検討していく。
D	ミュージアムショップは設置場所・内容等他館の事例を分析して検討されたい。	施設リニューアル検討をしている中で、先進他館の事例を評価し、ショップの展開についてもリニューアルの要素として検討していく。
	アクセスバスの便数削減について、バス会社に申し入れを行うべきである。	かつてバス会社に増便の申し入れをしたところ、乗降者数が少ないことを理由に断られた経緯がある。美術館利用者数の増加対策と併せて、今後、バス会社への協力を依頼していく。

〔2〕 県庁の支援体制に対する一次評価

意見	対応状況
日本で唯一のロダン館を、県の誇りとして全国に知らしめるべきである。	「ロダンウィーク」の継続的な実施等により、平成 29 年度のロダン没後 100 年に向けたロダン館の活性化を図っていく。
県立美術館の存在感をより高めると共によりよき経営戦略の実現を期待する。	他の県立施設との連携を強化することで県立美術館のプレゼンスの向上を図っていく。

平成 26 年度 設置者の取組状況

(1) 第 3 期文化振興基本計画の推進

平成 26 年 4 月策定の第 3 期文化振興基本計画において定めた美術館が果たすべき役割等について、美術館と協働して推進している。

(2) 中長期計画の推進支援及びプレゼンスの向上

平成 26 年 4 月策定の「県立美術館中長期計画」を推進するため、美術館職員とともに、本計画の内容や将来展望について共通認識を持ち、計画的な取組みを支援するとともに、他の県立施設や周辺施設との連携を強化し美術館のプレゼンスの向上を図っている。

(3) 美術館の会議等への出席

- ・月 1 回開催されている美術館企画運営会議に文化政策課長が出席して情報共有を図っている。
- ・美術館の広報委員会や施設環境整備委員会に職員が出席し、県庁が持つ広報媒体の情報提供や技術支援を行った。

(4) 中学生の美術館展覧会鑑賞推進事業の推進

中学生を対象とする鑑賞事業の実施にあたり、教育委員会を通じて県内の全中学校に趣旨や実施方法について情報提供するとともに、バスによる送迎業務を行った。

内容に関する問合せ先

静岡県文化・観光部文化政策課

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町 9 番 6 号

TEL 054-221-3506

静岡県立美術館総務課

〒422-8002 静岡県静岡市駿河区谷田 53 番 2 号

TEL 054-263-5755

